

目 次

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	…p. 3
（1）学生確保の見通し	…p. 3
① 定員充足の見込み	…p. 3
（ア）定員変更の必要性	…p. 3
1) 音楽教育を通じた人材養成にもとづく必要性	…p. 4
2) 産学官との連携の推進にもとづく必要性	…p. 5
（ア）地域からの要請と連携	…p. 6
（イ）大学間連携	…p. 8
（ウ）官公庁等との連携	…p. 8
（エ）国際社会との連携・協力	…p. 9
（オ）オンラインを通じた音楽教育・社会貢献	…p. 9
3) ユニバーサル段階における学生受入れへの対応	…p. 10
4) 高等学校教員からのヒアリングにもとづく対応	…p. 11
5) 音楽領域の拡大にもとづくコース設定	…p. 12
6) 定員超過是正と志願者増への対応にもとづく必要性	…p. 15
7) 客観的データに基づく見込み	…p. 17
② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	…p. 24
（ア）人口推移並びに大学進学等の状況	…p. 24
（イ）音楽学部（音楽系統）の大学進学等の状況	…p. 26
（ウ）本学の入学志願動向並びに定員確保の状況	…p. 27
（エ）受験対象者等へのアンケート調査	…p. 29
（2）学生確保に向けた具体的な取組状況	…p. 32
① 本学主催の各種イベント	…p. 32
（ア）オープンキャンパス	…p. 32
（イ）受験準備講習会	…p. 33
（ウ）体験レッスン（地方講習会）	…p. 33
（エ）入試徹底指導＆相談会	…p. 33
（オ）学校説明会＆相談会	…p. 33
（カ）一般選抜直前対策講座	…p. 33
（キ）Musical Cocktail	…p. 33
（ク）平日個別見学・体験レッスン	…p. 34
（ケ）ワンデーセミナー	…p. 34
（コ）受験ステーション “クロスアーツ”	…p. 34

② 高校内ガイダンス・会場ガイダンス等の進学相談会への参加…	p. 34
③ 高校訪問	…p. 34
④ 学校案内、リーフレット、入学試験要項、 ホームページの作成	…p. 34
⑤ 学生支援方策	…p. 35
（ア）本学独自の奨学金制度	…p. 35
（イ）特待生制度	…p. 35
2. 人材需要の動向等社会の要請	…p. 36
（1）人材の養成に関する目的 その他の教育研究上の目的（概要）	…p. 36
（2）社会的、地域的な人材需要の 動向を踏まえたものであることの客観的な根拠	…p. 37
① 社会における人材の需要と本学の特性	…p. 37
② 新たな音楽領域に対応した人材育成	…p. 39
③ 産学官との連携の推進	…p. 42
④ 定員増加に関するニーズ調査	…p. 44

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

本学は音楽学部音楽学科の単科大学であり、音楽家としての基本的な演奏技術・表現方法を修得し、プロフェッショナルを目指すことを目標の一つに掲げるとともに、音楽を通じた学びにより豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することを教育研究上の目的にしている。このような人材育成は、文部科学省による教育政策はもとより、国の施策及び地域社会からの要請に資するものであり、我が国の将来を展望する長期的な視点に立った人材育成目標と言える。

その一方で本学は私立大学として安定的に持続性を有した経営を行っていくことを必要としていることから、各種の統計データ及び本学の志願状況、本学に対する調査（アンケート）から中長期的な計画のもと学生確保の見通しをもって定員を設定した。

① 定員充足の見込み

本学は、下記に示すような社会的、地域的、政策的な人材需要を踏まえ、本学の教育研究活動をより広げ、推進する必要があるとの考えから、多様な音楽分野を志す高校生の要望に応え、さらなる人材輩出を行うとともに、私立大学として持続性を保持するための安定的な財政基盤を築くことを目的に学生募集の観点も踏まえて入学定員の変更を計画した。

本学は、これまでも定員の変更を認可申請してきたが、その後も本学への志願者数・入学実績が好調であり、社会情勢や各種統計データやアンケート等による分析も踏まえると、再び、定員数を改める必要があるとの認識に至った。そして、その具体的規模については、本学を取り巻く様々な状況と統計調査やデータを分析のうえ、近年の志願者数の増加と推計による中長期的な視点も考慮し、学生募集活動の状況と効果も踏まえ、60名の増員とし、590名の入学定員を設定することとした。

(ア) 定員変更の必要性

本学は、昭和42年の音楽学部設置当初、音楽学科に4つの専攻（作曲、器楽、声楽、音楽教育）を設置する組織構成として出発した。設置から今日まで教育研究の対象となる音楽分野の領域を広げ、令和5年度には、作

曲、音楽・音響デザイン、ピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器、電子オルガン、ジャズ&アメリカンミュージック、現代邦楽、ロック&ポップス、声楽、ミュージカル、バレエ、声優アニメソング、ダンス、ワールドミュージック、音楽教育、音楽環境創造、メディアアーツの多彩な 19 コースとなる予定である。

これまでも本学は、音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成してきた。今後も更なる発展を遂げるため、高等教育機関として音楽領域の教育研究活動を積極的に推進し、継続的に充実・発展、拡張させていく必要があると考えており、以下のような状況にもとづき、早急に対応が必要なことから学生定員を増加させることとした。

1) 音楽教育を通じた人材養成にもとづく必要性

本学では、教育活動を通じた学びの中で「音楽の力」を育み、「成長する力」と「協働する力」を身につけることを可能にしている（資料1）。

この「音楽の力」を育むため、本学では充実した教育課程と豊富な指導陣が専門的な学修をサポートしている。教育環境の特徴としては以下の事項となる。

(ア) 「レッスン・合奏・合唱・室内楽等、多様な実技系授業」

優れた指導陣が個々の感性を磨き、技術や技能を高めることができる。

(イ) 「一人ひとりの興味や個性に応じた自由なカリキュラム設計」

将来どうなりたいか、そのためにはどんな授業を受ければよいかを自分で考え、目的に合わせたカリキュラムを選択できる。

(ウ) 「演奏会の企画から開催まで実践を通して学ぶ演奏会実習」(令和5年度より「社会実践演習」に名称変更)

指導教員の下で自主的に演奏会の企画、交渉、運営等の演奏会制作に取り組み、最終目標としてコンサートを行う。

(エ) 「年間 200 回以上の演奏会」

聴衆の前での多くの演奏（発表）機会が成長のための大きな糧となる。

※令和2年度は COVID-19 対策の為、基本的に非公開、YouTube 配信などを利用して 150 回程開催した。令和3年度は、COVID-19 対策を整え

た上で、音楽学部 167 本、音楽研究科 26 本の主催演奏会を開催し
(2022 年 1 月 31 日時点)、その内 38 本を YouTube で配信すること
で、広く一般に公開した(資料 2、資料 3)。

(オ)「多彩なジャンル」

自由な発想で音楽を学べる環境を整え、専門以外の様々なジャンルの
音楽や知識と出会い、視野の広い教養を身につけることが可能。

「成長する力」「協働する力」については、個人で取り組むこと、又は、
グループで取り組むことにより身につけるものである。「成長する力」とは、
音楽分野においても個人で学修する過程において、目標の設定、課題の設
定、課題克服に向けた計画の立案、計画の実行と進捗チェック、節目での
成果確認、新たな目標と課題の設定を行うことにより自己分析力、課題解
決力、持久力・耐久力、メンタルマネジメント力(精神力)を身につける
ことができる。「協働する力」についても、音楽活動を行うグループで学修
する過程において、集団活動の目標やルールの確認、目標実現に向けた役
割の自覚と遂行、集団活動の阻害要因(課題)の認識、集団活動の中での
課題への対処、節目での目標や役割の達成度の確認、新たな目標の設定と
集団の選択を行うことにより社会人として必要なコミュニケーション力、
状況把握力、柔軟性と忍耐力、規律・礼儀を身につけることができる。

本学の授業は、レッスン、アンサンブル系、講義、演奏・実習、演奏会実
習など、その多くが少人数・双方向型で行う実践的なものである。学生一
人ひとりの将来目標から課題を設定し達成のための取り組みから結果に至
るプロセスを指導し、その各段階において評価を受ける仕組みを整えてい
る。

こうした中で、学生は音楽の「専門的知識の一方向的な伝授」に留まるこ
となく「社会から求められている能力」を授業の中で身につけることがで
きる。本学は、このような音楽教育を通じて社会に有為な人材を多数養成
することがますます重要になると考えている。

2) 産学官との連携の推進にもとづく必要性

平成 30 年 11 月中央教育審議会「2040 年に向けた高等教育のグランドデ
ザイン(答申)」(以下「2040 年グランドデザイン」という)(資料 4)で、
大学連携について、「地域のニーズに応えるという観点からも充実し、それ
ぞれの高等教育機関の強みや特色を活かした連携や統合が行われていくこ
と」を、これからの高等教育改革の実現すべき方向性として示されている。

また、産業界との協力・連携については、「高等教育が提供する学びのマッチングが必要不可欠」「大学内外の資源を有効活用していくことは重要」「学外の協力を得ていくための産業界等との協力関係、連携関係を充実させていく必要がある」としている。更に、地域との連携について、「それぞれの地域の社会、経済、文化の活性化のリソースや、特色・誇りの源泉であるとともに、地域産業や新規の企業立地における好条件となり、更には地域における国際交流の推進、国際化への対応への直接的な拠点ともなる」と結んでいる(資料 4)。

このような地域社会との交流や産業界との連携について、本学は、「社会連携・社会貢献ポリシー」を定め進めている(資料 5)。社会連携の推進については、音楽の探究による主体的な学びの実践を尊重し、社会連携を適切かつ効果的に推進することとしている。また、行政・地域団体・大学との連携については、以下のように演奏会等を通じた地域との交流や教育研究成果の提供により社会貢献を実施すること、音楽活動や研究活動により地方自治体の政策形成への関与をさらに推進すること、地域社会の活性化と発展の担い手となる豊かな人間性と実行力を兼ね備え自立した人材を育成することとしている。

(ア) 地域からの要請と連携

地方自治体等の施策立案、実施に対する積極的な支援策とし、本学の立地する川崎市と様々な連携により社会貢献を実施している。その一つとして、「音楽を中心とした活力とうるおいのある地域社会作り」を目指す「音楽のまち・かわさき」推進協議会への参画がある(資料 6)。本学はこの運動の主旨に全面的に賛同し、川崎市と様々な連携を行っており、学長が副会長として参画するほか、運営委員会に教職員 4 名が参加し、基本的な施策立案、実行支援を展開している。川崎市の文化芸術振興に関する事項の審議や文化アセスメントを実施している川崎市文化芸術振興会議には、教員 1 名が参画している。川崎市長からは、本学の地域貢献並びに今後の活動に強い期待が寄せられている。具体的には、本学は音楽によるまちづくりの推進役として平成 16 年に設立された「音楽のまち・かわさき」推進協議会の一員として、積極的に文化振興事業に参画するなど、教育機関の有する専門的知識やノウハウを活かし、多大なる貢献を果たすこと、音楽鑑賞や身近に楽器に触れる機会の提供、音楽家や文化芸術を支える人材の育成及び次世代の担い手である青少年が身近に文化芸術を体験できる場づくりなどの文化芸術活動において川崎市との

連携が期待されている。そのほか、川崎市教育委員会とは「子どもの音楽活動推進事業」の一つ、「ジュニア音楽リーダー育成事業」への協力を行っている。これは本学の学生および卒業生が、川崎市内の吹奏楽部に所属する中学生を指導するというもので、「音楽のまち」を将来にわたり支えていく子ども達の情操教育の一翼を担っている社会貢献活動であるが、音楽大学である本学への興味関心を喚起させる、長期的かつ安定的な学生確保の方策の一つとしても位置付けている。この活動に派遣した本学の学生・卒業生の人数は、平成 29 年度～令和元年度は毎年度 40 名、令和 3 年度は 45 名となっている（令和 2 年度はコロナにより中止）。また、参加した中学生の人数は、平成 29 年度は 255 名、平成 30 年度は 246 名、令和元年度は 224 名、令和 3 年度は 244 名となっている（資料 7）。これらの成果もあり、規模充実策の一環である今回の定員変更の計画に対して、川崎市長から依頼の文書が提出されている（資料 8）。

また、大学のキャンパス所在地である川崎市高津区では、「高津区音楽のまち推進事業」に参加している。これは、「地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る」ことを目的としている。この中で、本学と市民が協力して企画運営を行い、市民グループが企画や準備に携わる参加型の音楽祭「高津区民音楽祭」を開催している。本学からは運営委員として教職員 2 名が参加し、企画運営の助言・運営協力に携わっている。また、「高津区音楽のまち推進事業」の事業の一つである「子どもの音楽文化体験事業」への協力を行っている。これは、区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与することを主な目的としている。具体的には、川崎市高津区役所と協働して、子ども文化センター等へ本学の学生、卒業生を派遣するほか、例年、本学講師によるオペラ公演の開催、本学にて開催している演奏会への区民無料招待や、子どもを対象としたパーカッションの演奏体験を行うワークショップへの協力、未就学児を対象としたリトミック体験（本学卒業生・在学学生を講師として派遣）を実施してきた。令和 2 年度においては、COVID-19 の影響により中止、令和 3 年度は規模を縮小し、身近な場所での音楽体験などを開催し、音楽体験を通じた子どもの情操教育の一翼を担った（資料 9）。

その他、音楽大学としての特性を活かし、学外組織との連携、地域交流、国際交流事業への貢献を行うため、社会連携・社会貢献委員会を設置し、派遣演奏会などについての、地域・社会からの要望に応じてい

る。同委員会にて、社会貢献活動について、実施や参加の有無等についての審議・決定、定期的な報告、活動についての検証を行い、地域の活性化、情操教育の涵養など、様々な活動を推進している。令和3年度は、COVID-19の影響により、神奈川県の実請に応え、自粛傾向にあったが、東京オリンピックテコンドー競技会など、依頼に応じて11件の派遣演奏会を行った（資料10）。

(イ) 大学間連携

「2040 年グランドデザイン」では、「大学の多様な『強み』の強化」で、「大学として『強み』や『特色』を明確にした上で、それらを伸ばしていくために」大学間の連携・統合を進めていくことが方策の一つとして示されている（資料4）。本学における大学との連携としては、学校法人昭和大学と平成29年2月に包括連携協定を締結した。医学と芸術という異なる分野を専門とする双方の大学の「強み」や「特色」を活かしながら連携を行っている。「至誠一貫」を建学の精神とする昭和大学には感性の涵養を、本学には、身体構造理解や体幹トレーニングの方法などについて、互いの専門分野で培った研究成果を提供し合っており、相互の教員・学生に与える影響は計り知れないものがある。令和元年度までは昭和大学スポーツ運動科学研究所と共同研究の実施や、式典での演奏協力、昭和大学病院においてロビーコンサートを開催していた（資料11）。昭和大学とは、相互に教員を派遣し、それぞれの研究領域に係る科目の教授を行っている（資料12）。COVID-19の影響で令和2年度から令和3年度は活動を自粛しており、昭和大学リカレントカレッジ入学式への演奏者としての講師派遣のみを行った（資料13）。

(ウ) 官公庁等との連携

平成27年より、高津警察署の依頼を受け、本学教員がミュージカルを創作し、学生が演じることで、110番通報の適正利用と特殊詐欺被害防止の広報活動に協力している。これは、JR武蔵溝ノ口駅の南北自由通路で、通報の適切な利用を呼びかける創作ミュージカルを、ミュージカルコースの学生が披露して広く市民に周知するものである。その貢献に対し、高津警察署長よりミュージカルコースに対し、感謝状が授与されている。令和3年においてはCOVID-19の影響により、110番適正利用と特殊詐欺被害防止を呼びかけるミュージカルを収録し、YouTube配信等による啓発活動の一端を担った。また、同活動において、本学学生が高津署か

ら一日警察官を委嘱された（資料 14）。

（エ）国際社会との連携・協力

本学における国際化への対応、国際交流に係わる方針については、「社会連携・社会貢献ポリシー」に定めている通りであり、令和元年度初頭の教授会に於いても、学生の海外研修旅行や海外教員招聘プログラムなど、国際交流の促進を図る姿勢が打ち出されている。COVID-19 の影響下にある現状に於いても、同ポリシーに示す通り、この姿勢は変わるものではない（資料 15）。

現在、バークリー音楽大学とは単位互換に関する協定を結んでおり、令和 2 年 5 月にはタイ王国・マヒドン大学音楽学部と提携し、教職員・大学院・学部生の交流・交換、学術材料・公開情報・その他の情報の交流・交換、文化活動・イベントの交流・交換等に同意し、今後の学術交流と連携を育むことを取り決めた。他にもアメリカ、中国の大学との提携を進行中である（資料 16、資料 17）。

国際交流として、令和 2 年 8 月に中国の中等日本語教育の発展を推進し、中国の学生の日本語総合運用能力を高めるため、「中等日本語課程設置校工作研究会」と共同で「日中友好の声を届けよう」をテーマとする「洗足音楽大学」杯～目指せ！電脳アフレコ王～を開催した（資料 18）。

（オ）オンラインを通じた音楽教育・社会貢献

総務省の社会生活基本調査（平成 28 年）によれば、趣味・娯楽として、楽器の演奏を行っている者（10 歳以上）は 1,200 万人に達しており、本格的に楽器を演奏したいという潜在的需要は高いと推測される。本学では音楽を勉強したい、という意欲を持つ人のために平成 19 年 4 月に「洗足オンラインスクール・オブ・ミュージック」（以下オンラインスクール）を WEB 上に開講し、音楽理論やソルフェージュの教材を開発してオンラインでの学修機会を無償で提供している（資料 19）。同時に本学への入学予定者に向けて、入学までの期間を有意義に学習しながら過ごせるように入学前教育ソフトウェアを提供している（資料 20）。令和 2 年度には、延数 1,069,671 人の受講者数であった。「伝統音楽デジタルライブラリー」と題した本学教員等による伝統邦楽器の演奏、また奏法についての解説を配信し、加えて本学学生による演奏の映像を配信している（資料 21）。

これらのコンテンツは年々増加している留学生のために、中国語版コンテンツページも公開し、「楽典」「聴音」などを提供している（資料 22）。

令和 2 年以降、COVID-19 の感染拡大防止のため、ICT を活用した教育がより重要視されている昨今、本学学生のみならず、広く社会に向けて音楽への理解を深める機会としている。

3) ユニバーサル段階における学生受入れへの対応

「2040 年グランドデザイン」では、「高等教育が目指すべき姿」として「予測不可能な時代にあって、高等教育は、学修者が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献していくため、学修者にとっての『知の共通基盤』となる。このような視点に立ち、『何を学び、身に付けることができるのか』を中軸に据えた多様性と柔軟性を持った高等教育への転換を引き続き図っていく必要がある。」と結論付けている(資料 4)。

前述の楽器の演奏を行っている者 1,200 万人のうち、約 700 万人は 20 歳以上 60 歳未満であり、これに対して、本学では、WEB 出願による入学者選抜、また、外国人留学生入学選抜を実施するなど、柔軟な入試対策を実行することにより、COVID-19 による入学者減などのマイナス要素を回避したのみならず、令和 3 年度については、18 歳時以外の学生 150 名を受入れており、今後多様な入学機会と人材育成の場を広く提供していく。

図表 令和 3 年度年齢別入学者数

年齢	入学者数	編入学(3 年次)	合計
18	490	0	490
19-20	109	4	113
21-30	39	5	44
31-40	1	0	1
41-50	1	0	1
50-60	0	0	0
合計	640	9	649

以上のように、本学は、音楽大学である特色・利点を活かしながら、多様な活動を通じて地域社会との連携、他大学との連携、国際連携などを図りながら課題解決に取り組んでおり、教育研究の成果を適切に社会に還元し、地域社会の芸術文化醸成の一助を為しており、スケールメリットを活かすことで、今後多様な場面で強力な社会連携・社会貢献を進め、多様

な学生を受け入れるべく規模の拡大を目指すものである。

4) 高等学校教員からのヒアリングにもとづく対応

高校生を送り出す側である高等学校の教員に対し、本学に対する評価や定員変更に対する聞き取り（ヒアリング）を行った。定員の増加に対しては、18 歳人口の減少やコロナ禍から驚きの意見も見られたが、「世の中のニーズに応えているのだなと思う。現代の音楽を上手く扱っている。」、「率直に言うと、攻めましたねという感じ。需要が有るのだな、と思った。」、「勢いが有るのだなと思う。気がついたら一流大学になっていたんで、人が増えて当然だと思う。」、「さすがアグレッシブ、よほど勝算があるのだろう。プラスの材料でしかない。」、「その分沢山取ってくれるので嬉しい。色々なコースの人気があるのだから、当然。」など本計画の妥当性や好意的な意見を得た。

また、本学のイメージや教育に対しては、「幅広い音楽の分野について学べる大学。熱心な教育をしている。著名な講師の方が多い。」、「時代を先取りしているイメージが有る。」、「とても懇切丁寧な指導をしてくれる。音大では最高峰。」、「施設が広い。設備が充実している。環境が整っていてきれい。様々なコースがある。興味が湧くような授業内容。」、「コンピューター音楽が人気。国立は数が少なく、クラシックの傾向が強いので洗足に流れる。」、「クラシックからポップス、ジャズまで様々な音楽の分野に一早く対応していた大学であり、生徒の需要、今の時代に合った授業を展開している。」、「演奏会の質が非常に高い。」、「自分のやりたいことができる。施設設備が充実している。」、「音楽を志向する生徒にはとっつきやすい。従来、音楽をするのは小さい頃から習わなければというのが有ったが、そうでないジャンルを取り扱っている。」、「習いたいレッスンの先生がいること。オケ、アンサンブルがいっぱい有ること。」といった本学が特色としている部分について、評価や共感を得られた（資料 23）。なお、これらの結果は、別途実施したアンケート調査における本学に対する魅力についての回答と同じような傾向でもあり、本学の教育展開が評価を得ていること、学生募集における訴求ポイントがしっかりと伝わっていることが確認できたと言える。

この結果を含め、本学の教育内容や音楽大学として長年にわたって蓄積した高等学校との信頼関係は定員変更後の学生募集上有利に働くものと考えている。

図表 ヒアリングにおける主な意見

○洗足学園音楽大学の第一志望者は本学のどのような特徴を評価しているか

自分のやりたいことができる。施設設備が充実している。吹奏楽やアンサンブルに力を入れている等。
受験科目が選べる。自分の特性に合わせられる。基礎科目については、入ってから学べば良いと思っている。
声優アニメ、ミュージカル等新しい物を採り入れている。
習いたいレッスンの先生がいること。オケ、アンサンブルがいっぱい有ること。
学びたい事が多く有る。
有名な先生がいる。環境が良い。
クラシック系はアカデミックさを評価。コンテンポラリー系は斬新さに期待。
とにかく楽しい。
華やかなところ。大人数のオケ等、好きな事が出来る。
音楽を志向する生徒にはとっつきやすい。従来、音楽をするのは小さい頃から習わなければというのが有ったが、そうでないジャンルを取り扱っている。
良い先輩がいる。

○本学の定員増加計画に対してどの様に感じるか

コロナの影響もあり、音楽人口が減少し、他の学校（高校も含めて）が生徒募集に苦労している中で、定員増をすることに驚いている。正直、他の大学は、かなりの生徒をとられてしまうのではないかと危惧しているかもしれない。
これから確実に子供が減るのに凄い勇気だなと思う。
世の中のニーズに对应しているのだと思う。現代の音楽を上手く扱っている。
一般入試が狭い門のイメージが強いので、そのチャンスが広がれば良い。
率直に言うと、攻めましたねという感じ。需要が有るのだな、と思った。
ある程度手応えが有るのでしょう。順調なのですね。
勢いが有るのだと思う。気がついたら一流大学になっていたのでは、人が増えて当然だと思う。
さすがアグレッシブ、よほど勝算があるのだろう。プラスの材料でしかない。
少子化の中で大変だなと思う。コロナになってから楽器を止める子が多く、それもマイナス。これ以上減らなければ良いなと思う。
その分沢山取ってくれるので嬉しい。色々なコースの人気があるのだから、当然。
喜ばしい事。

5) 音楽領域の拡大にもとづくコース設定

本学は、4つの専攻（作曲、器楽、声楽、音楽教育）から出発し、継続的に音楽分野の領域を広げてきたが、令和5年度には、19コースとなる。これらは、社会における音楽の位置づけや活用、音楽領域の方向性や拡張・動向、さらには高校生の志向性などを調査分析して計画的に設定している。具体的には、作曲、ピアノ、管弦楽といったクラシックコースの志望者減少に対処すべく、以下のようなコースを設定してきた。

第4次産業革命の到来ともいわれる昨今、IoT（Internet of Things）や人工知能（AI）に代表される技術革新が叫ばれているが、本学では、ITを代表するコースとして「音楽・音響デザインコース」（資料24）を平成元年に開設した。本コースの人材育成の目的は、新しい意味としての作曲＝音楽制作を中核として、作曲・編曲、デスクトップミュージック、録音、

音響、映像等を含む広範な領域を網羅しながら、学生個々が最も得意とする分野について、特に深く研鑽を積める授業科目・設備・環境を整備して、現代社会における音楽業界・音楽関連産業の中に自分の居場所を見出し、獲得できる人材を育成することである。このコースについては、特にここ数年、入学者数や本コースによる演奏会入場者数の増加が顕著であり、就職についても令和2年度就職率81%と、高い水準を示し、その活躍の分野としては、メディアコンテンツ分野における音響効果、イベント制作、コンサート演出などとなっている。卒業生の中には、在学中よりTVドラマの作曲などを手掛け、平成28年度、平成30年度、令和3年度にそれぞれ川崎市アゼリア輝賞を受賞した音楽家や、平成29年度レコード大賞最優秀アルバム賞を受賞したバンドの作曲家・キーボード奏者など、近年、有為の人材を輩出している。

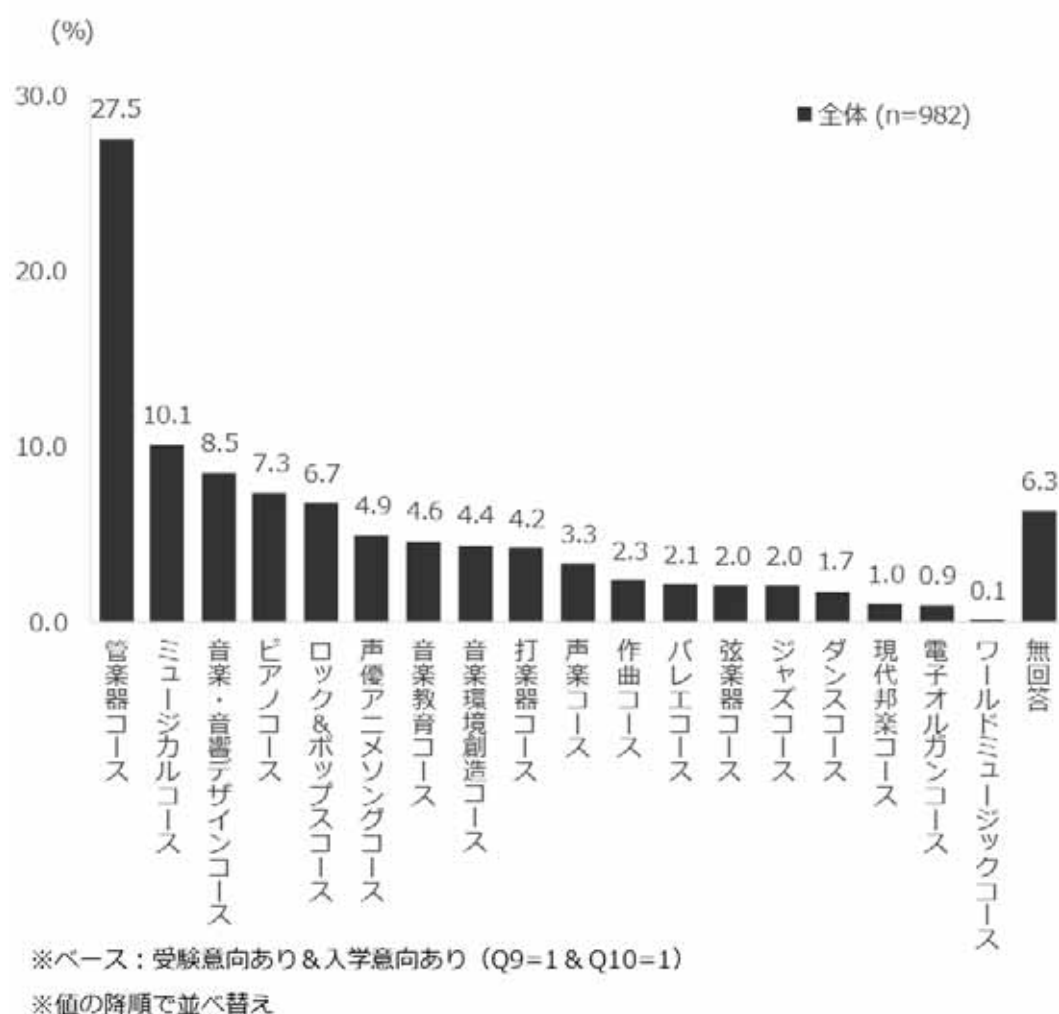
そのほかの新たなコースとしては、平成28年度から「声優アニメソングコース」を開設している（資料25）。コースの目標としては、クールジャパンを代表する分野となっている日本独自の芸術文化、ポップカルチャーシーンに、「声・音声」を軸とした能力を活かして進出することを目指す。声優、アニメソング、ボーカロイド、動画と音楽のコラボレーション、基本的なスタジオワーク等、多様な分野やそれらの周辺の教養を包括した授業科目・施設・環境を整備して、自分が目指す分野に向かってセルフ・プロデュースを展開できる人材を育成することである。音楽大学では日本で初めて開設された声優アニメソングコースはメディアからも注目を集めており、地上波テレビ番組の取材も多く、すでに声優事務所に所属し、テレビアニメ作品やゲーム作品キャラクターとして声の出演など、活躍中の学生も在籍している。また、本学教員である有名アニメソング歌手のレコーディング参加や舞台出演、川崎市をフランチャイズとするプロスポーツチームの主催試合でのパフォーマンス出演など、外部の活動も精力的に行っている。

また、「自らの専門分野であるミュージカルに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現する」ことを人材育成の目的として、平成18年度に開設した「ミュージカルコース」（資料26）は、15年目を迎え、授業成果の発表の場としての演奏会の数、内容ともに充実し、特にここ数年、ミュージカル俳優として第一線で活躍する卒業生を多数輩出し、学生数の増加が顕著である。本学の公演や演奏会は、芸能事務所がスカウティングに来ているため、それにより業界大手の事務所に所属し、在学生・卒業生にはメジャー作品に主役として出演している者もいる。令

和3年度の入学者数90名、学生数335名、年間主催演奏回数51回を数え、様々な地域社会、産業界、公官庁からの要請に応えるなど、地域の芸術文化涵養の一翼を担っている。

上記の3つのコースは、下図のように別途実施したアンケートにおいて入学したいコースの上位にもあがっている。

図表 本学音楽学部へ入学意向者の希望コース



出典：『洗足学園音楽大学「音楽学部」～収容定員増に関する入学意向調査～結果報告書』

また、同アンケートにおいて、クラシックでは、管楽器を希望する学生が多く、この要因として、我が国を代表する管楽器の中心的存在の教員の指導が受けられること、合奏授業でもオーケストラ、吹奏楽はもちろんのこと、ブリティッシュブラス、サクソフーンオーケストラ等、他大学では例のない授業を立ち上げ、手厚い指導を行ってきたこと、更には演奏会に内外問わず名だたる指揮者を招聘したことも質の向上に繋がったと思わ

れる。本学の特色の一つである合奏系授業科目、アンサンブル系授業科目については、教員を複数配置している。本学では、学修成果を発表する場として年間 200 回を超える主催演奏会を開催しており、希望すれば 1 年次から実践を目指した合奏系授業科目を履修できる(資料 27)。2021 年度には、合奏系授業 9 科目のいずれかを延べ数 1,080 名の学生が受講しており、管楽器・弦楽器・打楽器コースなどの対象学生 582 名中、91.1%となる 530 名が履修している。この環境が一流プレイヤーの育成を促し、2019 年に開催された第 7 回アドルフ・サックス国際コンクールで、本学卒業生 2 名が、1 位・2 位を独占した。同コンクールはサクソフォンを発明したサックスの没後 100 年を記念して 1994 年に始まり、4 年に一度開催されており、クラシック・サクソフォンのコンクールとしては最高峰として知られている。同コンクール優勝者である本学卒業生は、2020 年度より本学教員を務め、2021 年、川崎市アゼリア輝賞も受賞している(資料 28)。

このように本学は人材育成の必要性や社会で求められる音楽分野の広がりに対応するとともに、音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対するため、引き続きニーズに応じてコースを計画的に設定し定員変更に対応させていく。

以上のような本学の多彩なコース設定は、前述の社会貢献と関係しているとともに、学生確保の面においても功を奏している。

6) 定員超過是正と志願者増への対応にもとづく必要性

本学では過去における 1.2 倍を超える定員超過是正のために平成 21 年度以降、定員超過抑制のための学生募集と入学者選抜を実施してきた。そのため、抑制前から最大で 3 割減と志願者数は大きく減少したが、超過率は認可申請が可能な数値にまで是正された。そこで規模の適正化を目的に当時の志願者数である 450～500 人規模に対応する定員(420 名)に変更し、その成果として平成 25 年度には、入学定員超過率は 1.02 倍まで低下した。

前述のように、この間の抑制策により志願者は減少していたが、その後は常に前年度比で志願者と志願倍率が増加し続けてきたことから、超過率は是正のためにも再び定員規模を改める必要があると考え、平成 28 年度に向けては、志願者数 500～550 人規模に対応するため、50 名増の定員変更、令和元年度に向けては、志願者数 600～650 人規模に対応するため 60 名増の定員変更と段階的に行った。その結果、超過率は抑えられたが、令和元年度の志願者・受験者は 700 人近くに達し、令和 2 年度はついに 700 人を超える志願者数・受験者数となり、この志願者の増加に対応するためには、

さらに定員規模を改める必要があると考え、令和5年度に向けてさらに60名増の定員変更を行うこととした。

図表 抑制期から前回定員変更前までの志願者、受験者、超過是正の状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
志願者数(実人数)	598	567	488	442	488	520	534	618	606	622	691	742	731
入学定員	330	330	330	330	420	420	420	470	470	470	530	530	530
志願倍率	1.81	1.72	1.48	1.34	1.16	1.24	1.27	1.31	1.29	1.32	1.30	1.40	1.38
受験者数(実人数)	582	555	475	437	483	515	528	607	602	613	684	729	727
定員超過率	1.29	1.27	1.23	1.18	1.02	1.12	1.12	1.17	1.16	1.18	1.09	1.09	1.20

その一方で、この間、本学は前述のような人材育成の必要性や社会で求められる音楽分野の広がりに対応するとともに、音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対して、ニーズに応じたコースを計画的に設定し、戦略的な学生募集活動を行ってきた。その結果、平成22年度以降落ち込んだ志願者数を徐々に回復させ、定員超過率を一定水準で保ちつつも、令和元年度以降は、700人を超える志願者・受験者を直近2年間に亘って維持するに至っている。全国の大学の音楽学部の入学志願者数及び入学者が減少傾向にあるなかにおいて、本学は、確実に志願者数・受験者数を回復させる改革と募集戦略を計画的に実施してきたと言える。

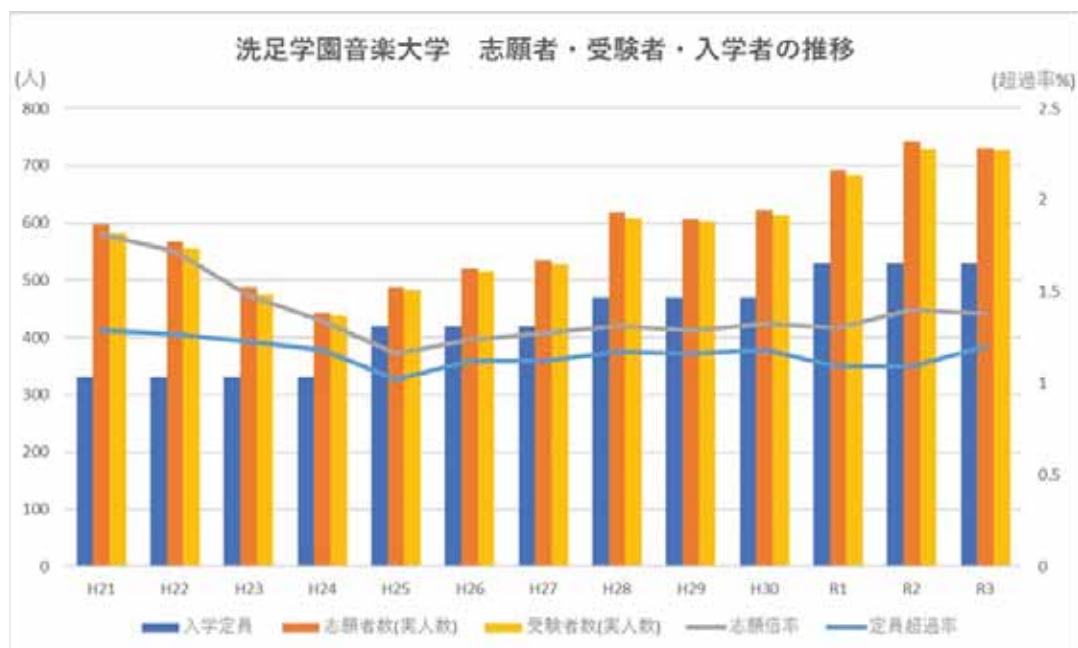
なお、音楽分野を志向する高校生は、志望度の高い大学に絞った志願をする傾向があることから、本学では、他大学との併願関係の構築をせず、高い志願倍率を目指すのではなく、早期より時間をかけ、能力や適性、学習に対する意欲、目的意識を有した本学を第一志望（専願）とする入学意向の高い高校生の確保に重点を置いた丁寧な総合型選抜（AO入試）中心の学生募集を行い、入試区分ごとの募集人員の配分も見直してきた。しかし、定員変更後のさらなる志願者数の増加、700～800人規模の志願者数に対して現在の定員では本学を第一に志向する高校生の進学希望に応じることが困難な状況に陥ることが明らかになってきた。

そこで、音楽に対して多様な志向をもつ高校生に門戸を拡大するため、増加が著しい近年の志願者数である700～800人規模（令和元年度691人、令和2年度742人、令和3年度731人）に対応するためには、早急に入学定員の増加が必要であるとの考えに至り、あわせて本法人及び本学は、定員変更後、定員管理を適正に行う処決をした。

なお、今後の人口推移並びに大学進学等の状況、音楽学部（音楽系統）の大学進学等の状況といった各種の統計データの分析とともに、本学自身

の学生確保の実績と見込みや卒業後の進路の見通しについての定量的な調査（資料 29、資料 30、資料 31、資料 32）を実施した結果、今後も引き続き志願者を集め、卒業生の進路確保を見通していくことが可能と見込んでおり、前述のような本学の学生募集戦略によれば、変更後の学生確保も確実に可能と考えている。

図表 本学の志願者、受験者、入学者の推移



以上のように本法人及び本学は、大学教育に対する高校生や社会及び地域からの様々な要請に応えるべく前述の観点から教育研究をさらに展開し、今後もより多くの人材を輩出することで社会的責任を果たすことができると考え、志願者増に対応した定員変更とした後は、定員管理を適正に行う処決をし、音楽学部の定員を増やすとの考えに至った。

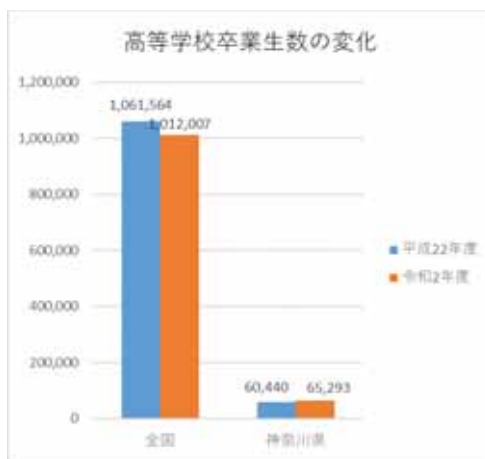
7) 客観的データに基づく見込み

定員の増加数については、学生募集の最大の母数となる 18 歳人口の推移を前提に、本学の立地する神奈川県の状況、他の音楽大学の学生募集状況と本学の志願者の比較分析並びに志願者数の実績を踏まえつつ、外部委託により実施したアンケート結果による検証を行い設定した。

18 歳人口の減少により、全国の高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生数、大学（学部）への入学志願者数は減少傾向にあるが、大学等進学率、私立大学志願者数、私立大学入学者数は、全体的に

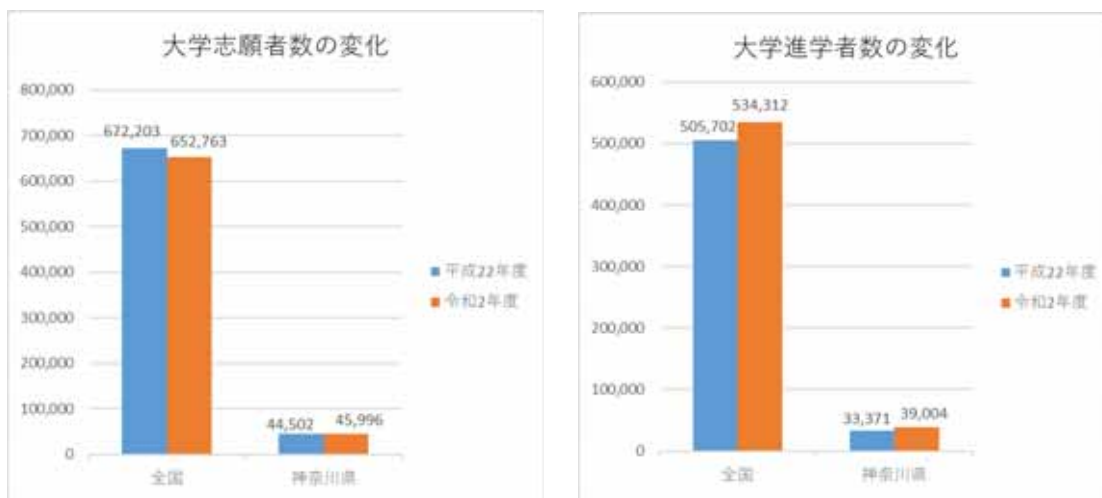
増加傾向にある。そのような状況下にあつて、本学の位置する神奈川県は全国平均値より何れも高い数値、比率、ポイント等であり、中長期的にも安定して入学者を確保できる環境にあると言える。

図表 高等学校卒業生数の変化



出典：文部科学省『学校基本調査』

図表 大学志願者・進学者の変化

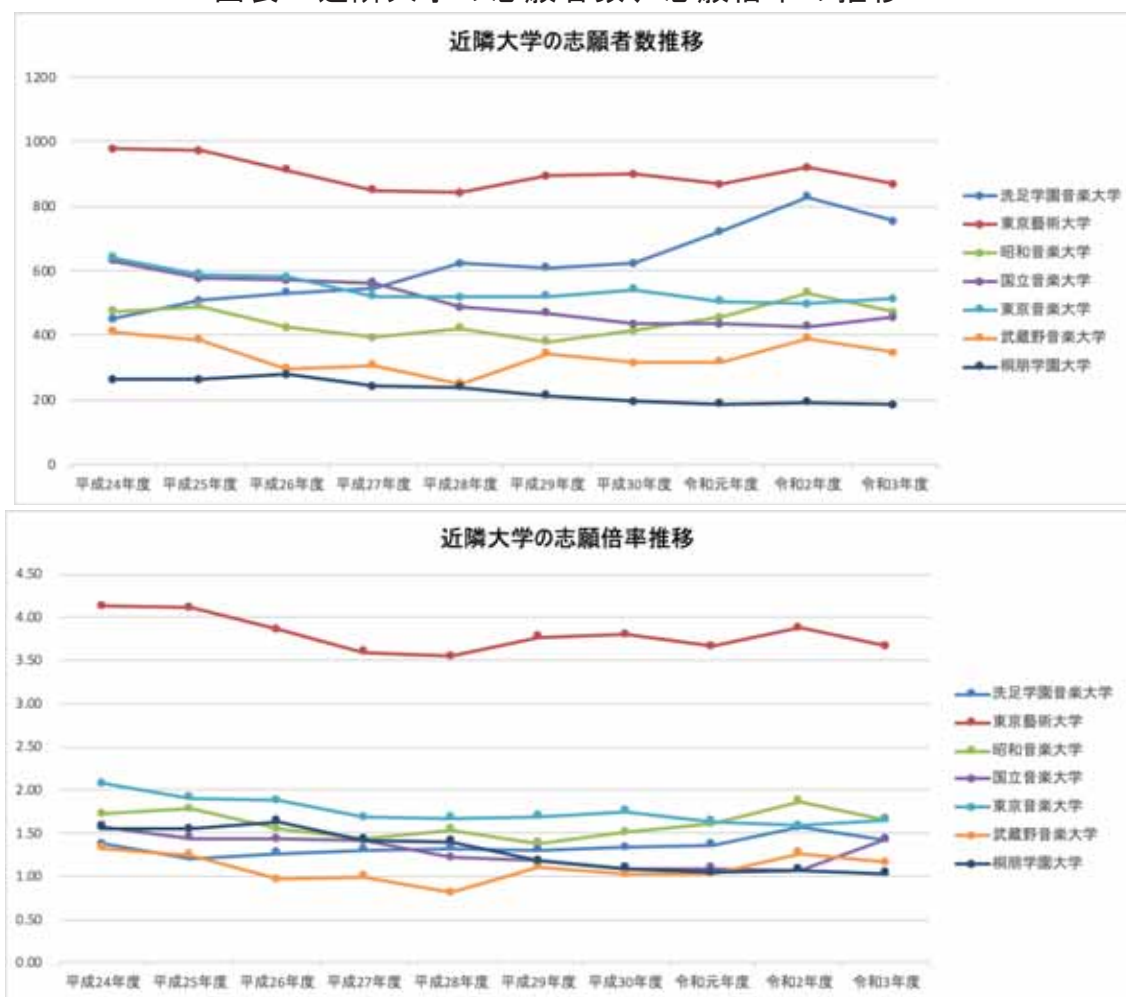


出典：文部科学省『学校基本調査』

また、本学と学生募集エリアが重なる近隣の大学で音楽学部(音楽系統)を設置している大学は、国立・私立合わせて6大学ほどある。これらの大学の過去10年間に亘る志願者の状況をみると低調ながら増減を繰り返し一定規模で推移しつつ、全国と同様に減少傾向にあるが、本学は平成25年度以降増加傾向にある。なお、志願倍率については、国立の東京藝術大学を除き、必ずしも高倍率で推移しているわけではなく、0.8倍～2.1倍の範囲内で推移し続けており、本学については、他大学と比較して安定的に推移している(資料33)。このように、厳しい募集環境下にあつても本学は、

一定規模以上の志願者層を確保し、近年では志願者数を増やしている。

図表 近隣大学の志願者数、志願倍率の推移



出典：音楽之友社『音楽大学学校案内』

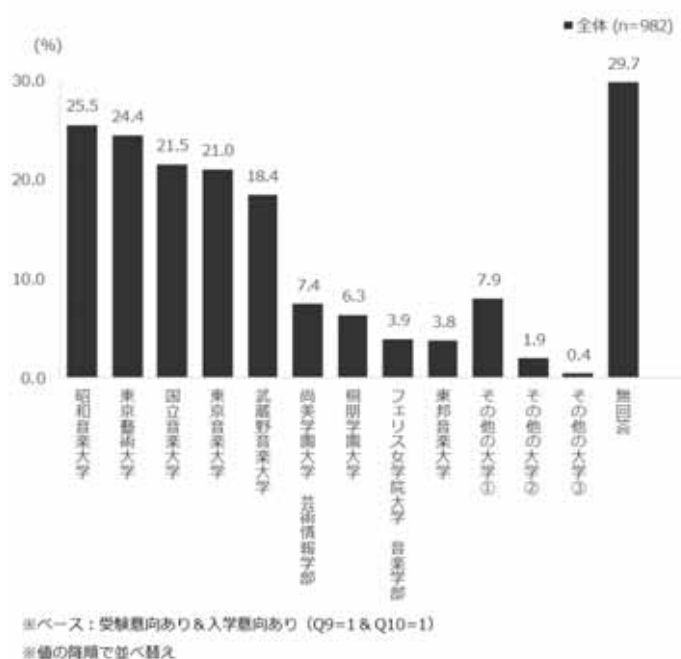
なお、音楽学部への入学希望者は、その専門性ゆえに他分野の学部学科と併願することではなく、自身の志向する音楽の学修に対応した学科やコースの有無、希望する講師陣、施設設備等の学習環境から志望校を選択している。そのため、比較的早い段階から各種の学校説明会や相談会への参加、入試対策の一環として当該大学の体験レッスンや講習会への参加を通じて自身の志向とのマッチングをはかることで志望校を決定している。したがって、結果的に複数の音楽大学を併願する可能性は低く、志望度の高い大学に絞った志願をする傾向があると言える。そのため、近隣大学の志願状況をみても、国立の東京藝術大学を除き、必ずしも高倍率という訳ではなく、入学定員に近い志願倍率を維持しながら推移する傾向がある。また、入学試験においては、学力試験だけではなく、実技試験が重要視されているため、必ずしも志願倍率の高さが志願者の学力試験のレベルを決定づけ

るわけではない。

そのようなことから、本学では、他大学との併願関係の構築をせず、高い志願倍率を目指すのではなく、早期より時間をかけ、能力や適性、学習に対する意欲、目的意識を有した本学を第一志望（専願）とする入学意向の高い高校生の確保に重点を置いた学生募集を行っており、一人ひとり異なった音楽の学修を志す学生を数多く受け入れることが可能となるよう、絶えず多様なコース設定を戦略的に行い、それらに必要となる多彩な講師陣を揃え、充実した魅力ある施設設備を整備している。すなわち、本学は同じ音楽学部であっても、他の大学にない音楽の領域を志向する高校生にも対応し、魅力ある大学づくりを行っており、入試においては総合型選抜（A0 入試）に代表される個別対応的な学生募集により選抜を行うことを特徴としている。

なお、別途実施したアンケートでは、本学への入学意向を示した回答者の本学以外に関心のある大学（学部）の状況を把握するための設問を設けたが、もっとも多い回答は「無回答」（29.7%）で、その数は292人と他の大学を上回っており、本学以外に関心のない回答者が相当数に達していることを確認しており、第一志望となる学生募集戦略と入試方式が機能していると言える。

図表 本学以外に関心を持っている音楽系の4年制大学（学部）



出典：『洗足学園音楽大学「音楽学部」～収容定員増に関する入学意向調査～結果報告書』

また、本学の学生募集における過去からの推移としては、1.2 倍を超える定員超過の是正のために抑制的な学生募集を展開した結果、平成 24 年度まで志願者数は大きく減少した。そして、入学定員を当時の志願者数である 450～500 人規模に対応する 420 名に増加させた平成 25 年度は、入学定員超過率を 1.02 倍まで低下させつつも、志願者数は前年度比 46 人増加（+10.4 ポイント）、平成 26 年度は前年度比 32 人増加（+6.6 ポイント）、平成 27 年度は前年度比 14 人増加（+2.7 ポイント）、平成 28 年度は前年度比 84 人増加（+15.7 ポイント）、平成 29 年度は前年度比 12 人減少（▲1.9 ポイント）、平成 30 年度は前年度比 16 人増加（+2.6 ポイント）、令和 1 年度は前年度比 69 人増加（+11.1 ポイント）、令和 2 年度は前年度比 51 人（+7.4 ポイント）、令和 3 年度は前年度比 11 人減少（▲1.5 ポイント）しており、昨年は減少したが志願者数は増加傾向にある。令和元年度に定員を増加させた後の志願倍率においても令和元年度 1.30 倍、令和 2 年度 1.40 倍、令和 3 年度 1.38 倍と上昇し続けている。

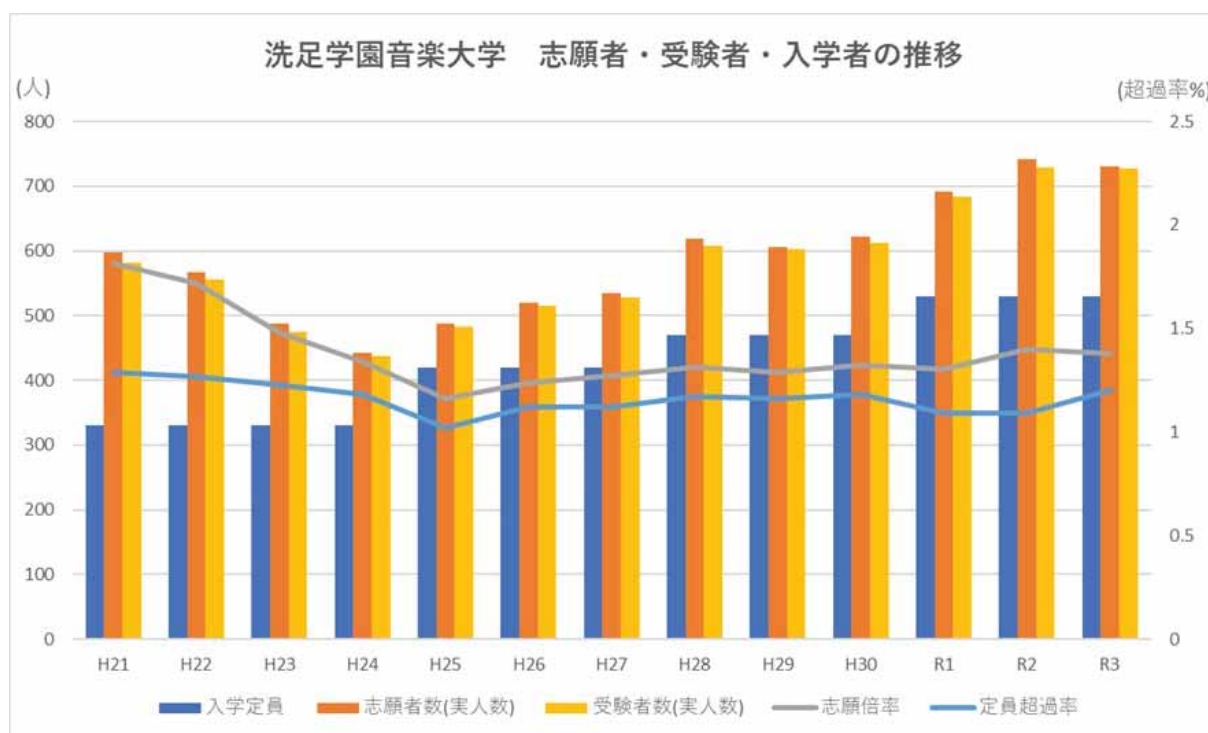
受験者は志願者に対して実人数で例年 10 人程度減少するに留まることから、志願者数と同様に増加傾向にあり、過去 5 年以上に亘り、定員変更後の 590 人を上回っている。この間の歩留率（合格者に対する入学者の割合）は、9 割を超えており、直近 4 年間で 95%を超えている。本学の受験倍率は高くないが、総合型選抜（A0 入試）と推薦選抜では歩留率が高く（約 98～99%）、一般選抜でも過去 10 年の平均で約 66%、令和 2 年度には 80%に達している（資料 37）。

このように規模の適正化を意図して定員を変更した令和元年度以降においても、前回定員変更時よりも志願者は増加している。このような中においても学生受け入れを抑制的に行うことは、本学自身の定員超過率を抑えることになると言えるが、社会で求められる音楽分野の広がりに対応することや音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対しては、門戸を狭めることになる。その一方で、定員管理を適正に行っていくことは、当然必要であるため、超過率是正のためにも定員規模を再び改めることにより対応することが適切との考えに至り、近年の延べ志願者数である 800 人規模に対応するため、令和 5 年度に向けて 60 名増の定員変更を行うこととした。

この間、本学は前述のような人材育成の必要性や社会で求められる音楽分野の広がりに対応するとともに、音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対して、ニーズに応じたコースを計画的に設定し、戦略的な学生募集活動を行ってきた。その結果、前述のように平成 22 年度以降落ち込んだ志願者数を徐々に回復させ、定員超過率を一定水準で保ちつつも、定員変更後の

令和元年度以降、ここ数年で最も志願者の多かった平成21年度以上の700人を超える志願者を直近2年間に亘って維持するに至っている。全国の音楽学部の入学志願者数及び入学者が減少傾向にあるなかにおいて、本学は、確実に志願者数を回復させる改革、募集戦略を計画的に実施してきたと言える。音楽分野を志向する高校生は、志望度の高い大学に絞った志願をする傾向があるため、本学では早期より時間をかけ、能力や適性、学習に対する意欲、目的意識を有した本学を第一志望となる高校生の確保に重点を置いた丁寧な総合型選抜（A0入試）中心の学生募集を行っているが、定員変更後の急激な志願者数の増加に対して、前回想定した600人規模の志願者数にもとづく現在の定員ではそれら本学を第一に志向する高校生の進学希望に応じることが困難な状況に陥ることが明らかになってきており、定員の変更を計画する過程において、各入試区分に応じた募集人員の配分も見直しながら定員管理を適正に行っていくことで、定員変更後の学生の確保も可能と考えている。

図表 本学の志願者、受験者、入学者の推移



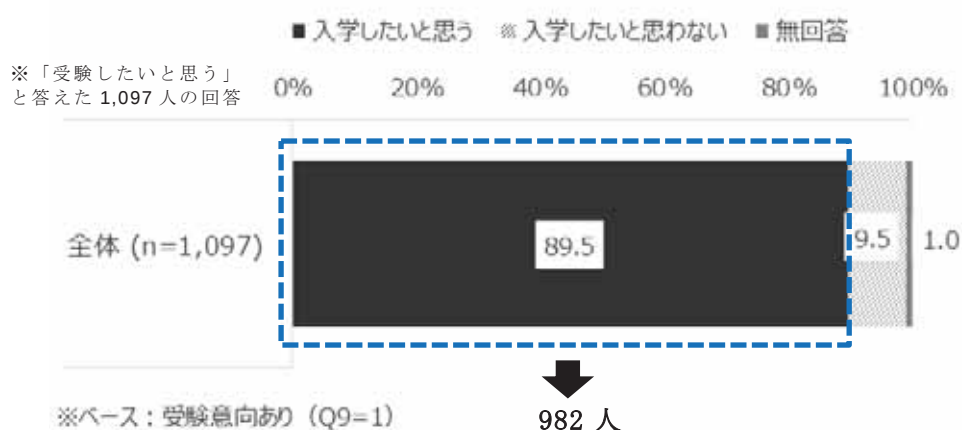
なお、今回の音楽学部の定員変更計画を策定するにあたっては、上述の統計的なデータのみではなく、本学自身の学生確保の見込みについて定量的なデータから検証することを目的として、進学意向に関するアンケートを学外の調査機関である株式会社大学経営コンサルティングに委託して実

施した。

その結果、多くの高校生が本学の特色に対して魅力があると回答しているとともに、有効回答者数 8,164 人中、13.4%にあたる 1,097 人が本学を「受験したい」との回答をしており、そのうち予定されている入学定員 590 人の 1.66 倍にあたる 982 人が本学への『入学意向』を示すという結果を得られた（資料 29、資料 30）。

なお、これらの入学意向者のうち、大学進学に進路を希望しているものは 832 人、そのうち私立大学の進学希望者に限定した場合でも 743 人と、大学の入学定員 590 名の 1.26 倍の入学意向者が見込まれている。また、「興味のある学問系統」として「音楽」を選んだ本学との併願者と目される音楽分野を志向する高校生のうちの本学への入学意向者（「受験したい」かつ「入学したい」）は、846 人であり、音楽分野を志向する高校生の 35.2% が本学の入学の意思を有しているほか、「興味のある学問系統」として「音楽」のみを選んだ者（「音楽」単一回答者）のうちの 44.2% にあたる 423 人が本学への入学意向を示しており、アンケートがサンプル調査であることを踏まえると調査対象以外の高等学校の潜在的な志願者も確保可能と考えている（資料 51）。

図表 本学音楽学部への入学意向



出典：『洗足学園音楽大学「音楽学部」～収容定員増に関する入学意向調査～結果報告書』

本学は、北海道から沖縄まで全国から学生を集めているが、志願者、入学者ともに近隣の上位 5 都道府県出身者が全体の 6 割以上であり、東京都と神奈川県出身者でほぼ半数を占めている。これは、本学が東京都と接する神奈川県北部の川崎市に位置し、J R 南武線の「武蔵溝ノ口駅」（令和元

年度の 1 日平均乗車人員 86,165 人（県勢要覧 2020（令和 2 年度版））と東急田園都市線及び大井町線の「溝の口駅」（令和元年度の 1 日平均乗車人員 156,952 人（県勢要覧 2020（令和 2 年度版）））が交差する通学圏が非常に広範囲に及ぶという交通の便の良さが影響していると言える。過去 5 年間の志願者・入学者の出身高校の動向に大きな変化はなく、近年の地元志向が強くなっている志願動向を踏まえても、通学主体を中心とした本学の志願者傾向は定員数の変更後も変わらないと見込まれる。

このような傾向を踏まえ、長期的かつ安定的に学生の確保を図ることができる見通しについて、本アンケートにおいて神奈川県に所在する高等学校に在籍している高校生に限定した進学意向から試算を行った（資料 34）。その結果、完成年度までの間、受験者数は 700 人規模で推移し、入学定員に対しては 1.1 倍前後の数として 661 から 688 人程度の進学需要が見込まれる。このように神奈川県に限った試算でも、入学定員を超える進学希望者を見込むことが可能であり、本学は隣接の東京都を含み全国からの志願者と入学者を確保していることから、長期的かつ安定的な学生確保について十分に見込めるものと考えられる。

本学では、定員超過の是正を目的として抑制的な学生募集を行った時期があるが、前述のとおり社会的・地域的な人材需要に応じることを目指しており、学生募集では第一志望となる高校生の確保に努め志願者数を増加させており、その要望に応えるためには、定員超過を押さえつつも積極的な受け入れ態勢を整える必要があると考え、これまで述べた学生確保の見通しも踏まえ、60 名を増加させ 590 名の定員を設定することとした。

以上のように、人口推移並びに大学進学等の状況、音楽学部（音楽系統）の大学進学等の状況、本学の入学志願動向並びに定員確保の状況、受験対象者等へのアンケートといった客観的なデータによる重層的な分析から、中長期的な観点からも音楽学部音楽学科の入学定員 590 名を確保することは可能であると言える。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

（ア）人口推移並びに大学進学等の状況

令和 2 年 10 月 1 日現在の全国の総人口は、約 1 億 2614 万 6 千人で、令和元年 10 月から令和 2 年 9 月までの 1 年間におよそ 2 万 1 千人（0.02%）減少している。人口増減は平成 27 年から令和元年までに 92 万 8 千人（0.73%）減少し、平成 17 年に戦後初めて前年を下回った後、増減を繰り返し、令和 2 年は 2 万 1 千人の減少となり、昨年は減少幅が縮小したもの

の、平成 28 年度以降大きく減少している。神奈川県の総人口は、約 923 万 7 千人で、1 年間に 3 万 9 千人増加し、全国では減少しているのに対し、増加し続けている。

大学への入学対象の最大の母数となる、令和 2 年 10 月 1 日現在の全国の 18 歳人口は、約 117 万 2 千人で、平成 22 年 10 月 1 日現在と比較すると約 5 万 1 千人減少（▲4.2 ポイント）している。これに対して、令和 2 年 1 月 1 日現在の神奈川県の 18 歳人口は、84,061 人で、平成 22 年 1 月 1 日現在と比較すると 4,640 人増加（+5.8 ポイント）となっており、全国とは逆に増加していることがわかる。

令和 2 年 3 月の全国の高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者数は、1,012,007 人で、前年度より 25,277 人増加しているが、平成 22 年 3 月と比較すると 49,557 人減少（▲4.7 ポイント）している。一方、令和 2 年 3 月の神奈川県の高等学校卒業者数は、65,293 人で、前年度より 391 人減少しているものの、平成 22 年 3 月と比較すると 4,853 人増加（+8.0 ポイント）となっており、神奈川県は 18 歳人口と同様に全国の傾向と異なり、増加傾向にある。

受験者となる令和 2 年 3 月の全国の大学（学部）への入学志願者数は、全体で 652,763 人、男子 358,141 人、女子 294,622 人で、平成 22 年 3 月と比較すると、全国で 19,440 人減少（▲2.9 ポイント）、男子 28,218 人減少（▲7.3 ポイント）、女子 8,778 人増加（+3.1 ポイント）となっている。一方、令和 2 年 3 月の神奈川県の大学（学部）への入学志願者数は、全体で 45,996 人、男子 25,224 人、女子 20,772 人で、平成 22 年 3 月と比較すると、全体で 1,494 人増加（+3.4 ポイント）、男子 453 人減少（▲1.8 ポイント）、女子 1,937 人増加（+10.3 ポイント）となっている。全国においては 10 年前と比較すると男子の数値が大幅にマイナスとなっているが、神奈川県においては男子の数値がマイナスとなっているものの、女子の志願者数が増加している。

実際の入学者である令和 2 年 3 月の全国の大学（学部）進学者数は、全体で 534,312 人、男子 277,514 人、女子 256,798 人で、平成 22 年 3 月と比較すると、全国で 28,610 人増加（+5.7 ポイント）、男子 6,005 人増加（+2.2 ポイント）、女子 22,605 人増加（+9.7 ポイント）となっている。一方、令和 2 年 3 月の神奈川県の大学（学部）進学者数は、全体で 39,004 人、男子 20,282 人、女子 18,722 人で、平成 22 年 3 月と比較すると、全体で 5,633 人増加（+16.9 ポイント）、男子 2,501 人増加（+14.1 ポイント）、女子 3,132 人増加（+20.1 ポイント）となっている。全国においては 10 年

前と比較すると全体で増加しているが、神奈川県においては全国を上回っており、男子も女子も大学（学部）進学者数が増加している。

以上による、令和 2 年 3 月の大学（学部）進学率（全卒業者数のうち大学進学者の占める比率）は、全体で 52.8%、男子 54.2%、女子 51.4%で、10 年前と比較すると全体で 5.2 ポイント上昇している。一方、神奈川県の大学（学部）進学率は、全体で 59.7%、男子 61.7%、女子 57.8%で、10 年前と比較すると全体で 4.5 ポイント上昇している。神奈川県の大学進学率は、全国平均・男子平均・女子平均の進学率を 10 年前と比較すると、何れもポイントが高い状況にある。

また、令和 2 年度の全国の私立大学志願者数は、3,834,862 人、平成 23 年度と比較すると 624,810 人増加（+19.5 ポイント）となっている。令和 2 年度の神奈川県の私立大学志願者数は、136,595 人、平成 23 年度と比較すると 28,341 人増加（+26.2 ポイント）となっており、全国と比較するとポイントが高い状況にある。同様に令和 2 年度の全国の入学者数は、494,213 人、平成 23 年度と比較すると 12,254 人増加（+2.5 ポイント）している。ただし、令和 2 年度の神奈川県の私立大学入学者は、22,485 人、平成 23 年度と比較すると 1,069 人減少（▲4.5 ポイント）となっており、全国で入学者が増加しているのに対し、神奈川県は減少している。

資料 35 のとおり、総人口、18 歳人口、高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者数、大学（学部）への入学志願者数、大学進学者数、大学進学率（全卒業者数のうち大学等進学者の占める比率）、私立大学志願者数、私立大学入学者数という、学生募集上の母集団として、本学の位置する神奈川県は全国と比較して優位な状況にあることがわかった。また、本学の入学者の多くを占める女子の志願者、進学者の割合が高いことも優位性を高めると考えられる。

（イ）音楽学部（音楽系統）の大学進学等の状況

令和 3 年度の音楽学部の学生数は、全体で 15,834 人、私立 14,065 人、平成 29 年度と比較すると全体で 333 人増加（+2.1 ポイント）、私立 318 人増加（+2.3 ポイント）となっている。音楽学部の志願者数は、全体で 6,854 人、私立 5,548 人、平成 29 年度と比較すると全体で 176 人増加（+2.6 ポイント）、私立 269 人増加（+5.1 ポイント）となっている。音楽学部の入学者数は、3,999 人、私立 3,576 人、平成 29 年度と比較すると 485 人増加（+2.2 ポイント）、私立 97 人増加（+2.8 ポイント）している。音楽学部の学生数、入学志願者数並びに入学者は増加傾向にある（資料 36）。

本学と同様に音楽学部を設置し、東京都と神奈川に所在するため志願者のマーケットが競合する関係にある近隣 6 大学の過去 10 年間の志願者の状況をみると低調ながら増減を繰り返し一定規模で推移しつつも、全国と同様に減少傾向にあるが、本学は平成 25 年度以降増加傾向にある。なお、志願倍率については、国立の東京藝術大学を除き必ずしも高倍率で推移しているわけではなく、0.8 倍～2.1 倍の範囲内で推移し続けており、本学については他大学と比較して安定的に推移している（資料 33）。このように、厳しい募集環境下にあっても本学は、一定規模以上の志願者層を確保し、近年では志願者数を増やしている。

（ウ）本学の入学志願動向並びに定員確保の状況

本学の平成 24 年度～令和 3 年度にかけての志願者数、受験者数、入学者数、定員超過率は、平成 25 年度以降増加傾向にある。志願者数については平成 25 年度は前年度比 46 人増加（+10.4 ポイント）、平成 26 年度は前年度比 32 人増加（+6.6 ポイント）、平成 27 年度は前年度比 14 人増加（+2.7 ポイント）、平成 28 年度は前年度比 84 人増加（+15.7 ポイント）、平成 29 年度は前年度比 12 人減少（▲1.9 ポイント）、平成 30 年度は前年度比 16 人増加（+2.6 ポイント）、令和元年度は前年度比 69 人増加（+11.1 ポイント）、令和 2 年度は前年度比 51 人増加（+7.4 ポイント）、令和 3 年度は微減したが、全体的には増加傾向にある。平成 25 年度に定員を増加させた後の志願倍率においても平成 25 年度 1.16 倍、平成 26 年度 1.24 倍、平成 27 年度 1.27 倍、平成 28 年度 1.31 倍、平成 29 年度 1.29 倍、平成 30 年度 1.32、令和元年度 1.30、令和 2 年度 1.40、令和 3 年度は 1.38 と微減したものの、この 10 年間においては上昇している。

受験者は志願者に対して実人数で例年 10 人程度減少するに留まることから、志願者数と同様に増加傾向にあり、過去 5 年以上に亘り、定員変更後の 590 人を上回っている。この間の歩留率（合格者に対する入学者の割合）は、9 割を超えており、直近 4 年間で 95%を超えている。本学の受験倍率は高くないが、総合型選抜（AO 入試）と推薦選抜では歩留率が高く（約 98～99%）、一般選抜でも過去 10 年の平均で約 66%、令和 2 年度には 80%に達している（資料 37）。

もともと、過去における 1.2 倍を超える定員超過を是正するために抑制的な学生募集と学生受け入れ策を講じたため平成 24 年度まで志願者が減少し志願倍率も低下したものの、当時の志願者数である 450～500 人規模に対応する定員（420 名）に変更したことで積極的な学生募集を展開する

ことが可能となり、定員変更後の平成 25 年度には、入学定員超過率は 1.02 倍まで押さえつつ、その後は、志願者数と受験者数を押し上げることに成功してきている。

その結果、令和 2 年度はその時点から過去 10 年間で最も志願者数と受験者数が多く、このままの学生受け入れでは、再び定員超過率を高めてしまう恐れがあると考え、800 人規模の延べ志願者に対応し、超過率を是正するため令和 5 年度に向けて 60 名増の定員変更を行うこととした（資料 33）。

この間、本学は前述のような人材育成の必要性や社会で求められる音楽分野の広がりに対応するとともに、音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対して、ニーズに応じたコースを計画的に設定し、戦略的な学生募集活動を行ってきた。その結果、平成 22 年度以降落ち込んだ志願者数を徐々に回復させ、定員超過率を一定水準で保ちつつも、定員変更後の令和 2 年度以降はここ数年で最も志願者の多かった平成 21 年度以上の 700 人を超える志願者を直近 2 年間に亘って維持するに至っている。全国の大学の音楽学部の入学生志願者数及び入学者が減少傾向にあるなかにおいて、本学は、志願者数を回復させる改革と募集戦略を計画的に実施してきたと言える（資料 33）。もともと、音楽分野を志向する高校生は、志望度の高い大学に絞った志願をする傾向があるため、本学では、この傾向を捉え、他大学との併願関係の構築をせず、高い志願倍率・受験倍率を目指すのではなく、早期より時間をかけ、能力や適性、学習に対する意欲、目的意識を有した本学を第一志望（専願）とする入学意向の高い高校生の確保に重点を置いた丁寧な総合型選抜（A0 入試）中心の学生募集を行っており、その数を維持・増やすことで学生を確保している。そのため、現状の志願者数を確保できれば、受験者数や選抜機能、入学者の確保（定員充足）に支障はなく、この傾向を過去 10 年間に亘って継続できており、定員変更後の 590 人の入学定員に照らしてみても、引き続き同様の見通しがあると考えている。また、本学では、川崎市教育委員会の「子どもの音楽活動推進事業」の一つ、「ジュニア音楽リーダー育成事業」への協力を行っている。これは本学の学生および卒業生が川崎市内の吹奏楽部に所属する中学生を指導するというもので、「音楽のまち」を標榜する川崎市を将来にわたり支えていく子ども達の情操教育の一翼を担っている社会貢献活動であるが、音楽大学である本学への興味関心を喚起させる、長期的かつ安定的な学生確保の方策の一つとしても位置付けている。この活動に派遣した本学の学生・卒業生の人数は、平成 29 年度～令和元年度は毎年度 40 名、令和 3 年度は 45 名と

なっている（令和２年度はコロナにより中止）。また、参加した中学生の人数は、平成２９年度は２５５名、平成３０年度は２４６名、令和元年度は２２４名、令和３年度は２４４名となっている（資料７）。

以上のように、志願者数と受験者数に大きな差が無く、受験者数（実人数）でみても、定員変更後の５９０人を上回る受験者を安定的に確保でき、直近２年間のような７００人を超える規模の志願者数・受験者数に対して、現在の定員では本学を第一に志向する高校生の進学希望に応じることが困難な状況に陥ることが想定されるため、定員変更に伴い各入試区分に応じた募集人員の配分も見直し、学生の確保に努めるとともに、定員管理を適正に行う処決をしている（資料３８）。

なお、本学は、北海道から沖縄まで全国から学生を集めているが、都道府県別（出身高校）志願者数は、近隣の上位５都道府県で全体の約６０％、都道府県別（出身高校）入学者数でも同様となっており、特に東京都と神奈川県出身者ではほぼ半数を占めている（資料３９）。これは、本学が東京都と隣接する神奈川県北部に位置する川崎市に設置されており、川崎駅と東京都の立川駅を結び都心からの放射状路線と交差（ＪＲ：東海道線・京浜東北線・横須賀線・湘南新宿ライン・武蔵野線・中央線・青梅線、東急：東横線・目黒線・田園都市線・大井町線、小田急：小田原線、京王：京王線・相模原線、多摩モノレール）する環状路線の一つとなっているＪＲ南武線の「武蔵溝ノ口駅」（令和元年度の１日平均乗車人員８６，１６５人（県勢要覧２０２０（令和２年度版））と神奈川県大和市の中央林間から東京の渋谷（渋谷から都心を通過する東京メトロ、埼玉県・栃木県・群馬県方面へ向かう東武線直通）を結ぶ東急田園都市線及び大井町線の「溝の口駅」（令和元年度の１日平均乗車人員１５６，９５２人（県勢要覧２０２０（令和２年度版））を最寄り駅とする通学圏が非常に広範囲に及ぶ交通の便の良さが影響していると言える。この立地もあり、過去５年間の志願者・入学者の出身高校の動向に大きな変化はなく、本学の通学圏を中心とした志願者傾向は定員数の変更後も変わらないと見込まれる。

（エ）受験対象者等へのアンケート調査

音楽学部の新定員変更計画を策定するにあたり、学生確保の見込みについて定量的なデータから検証することを目的として、令和３年６月から１１月末にかけて、本学へのオープンキャンパス参加者・学校説明会参加者、進学実績にもとづき在籍者が多い東京都と神奈川県を中心にその隣接県を含む都道府県に所在する高等学校に在籍している高校生（開設年度の受験対

象者である現2年生)を対象とした進学意向に関するアンケートを学外の調査機関である株式会社大学経営コンサルティングに委託して実施した(資料29、資料30)。

回答者の属性は、女性が約68.7%、高校所在地の約51%が東京都と神奈川県であり、首都圏の一都三県では65%強を占め、本学の留学生を除く志願者・入学者の状況とほぼ一致している。

調査結果としては、有効回答者数8,164人中、7割を超える高校生が本学の特色に対して魅力があると回答しており「一人ひとりの興味や個性に応じた自由で充実したカリキュラムで、音楽の力を高める」、「世界的な音楽家をはじめとする豪華で多彩な講師陣から技術や表現力など直接指導が受けられる」が上位を占める。

そして、回答者の13.4%にあたる1,097人が本学を「受験したい」との回答をしており、そのうち入学定員590人の約1.66倍にあたる982人が本学への『入学意向』を示している。なお、これら本学への入学意向者のうち、大学進学に進路を希望している者は832人、そのうち私立大学の進学希望者に限定した場合でも743人と、入学定員590名の約1.26倍の入学意向者が見込まれている。

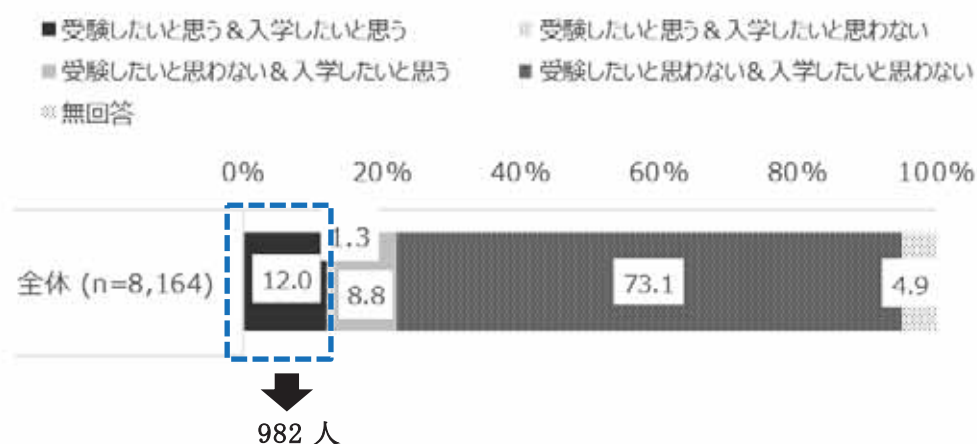
前述のとおり、音楽分野を志向する高校生は、志望度の高い大学に絞った志願をする傾向があるが、当然、音楽大学(音楽学部)の中から志望校を選択すると考えられる。アンケートにおいて「興味のある学問系統」として「音楽」を選んだ者は、2,402人であり、この数を本学との併願者を含む音楽分野を志向する高校生の数と捉えた場合、そのうちの本学への入学意向者(「受験したい」かつ「入学したい」)は、846人であり、音楽分野を志向する高校生の35.2%が本学の入学の意思を有している。また、「興味のある学問系統」として「音楽」のみを選んだ者(「音楽」単一回答者)は958人となるが、そのうちの44.2%にあたる423人が本学への入学意向を示しており、音楽分野において、本学の優位性が示された結果となっている(資料51)。なお、前述のとおり、本学では、他大学との併願関係の構築をせず、高い志願倍率を目指す学生確保ではなく、本学を第一志望(専願)とする入学意向の高い高校生の確保に重点を置いた総合型選抜(A0入試)中心の学生募集を行っているため、本学を志望する高校生には併願者もともと少なく、一般選抜において併願によって入学意向者が減少する場合も、歩留率が高いことからその影響は少ない状況にある。アンケートにおいて、本学への入学意向を示した回答者に本学以外に関心のある大学(学部)の状況を尋ねた質問でも、もっとも多い回答は「無回答」(29.7%)で、

その数は 292 人と他の大学を上回っており、本学以外に関心のある大学のない回答者が相当数に達していることから、第一志望となる戦略が機能し、本学は同じ音楽大学（音楽学部）の中でも、競合優位性を有していると言える。なお、アンケートがサンプル調査であることを踏まえると調査対象以外の高等学校の潜在的な志願者も想定されることが可能と考えている。

また、本学の多彩なコースに対しては、我が国を代表する管楽器の中心的存在の教員から指導を受けられることや他大学では例のない合奏授業を立ち上げ、手厚い指導を行ってきたこと、高等学校における吹奏楽部の影響を受けて管楽器コースへの入学希望が最も多いが、本学が特色としているコースである、「ミュージカルコース」、「音楽・音響デザインコース」、「ロック＆ポップスコース」、「声優アニメソングコース」にも希望者が多く、多様な志向の学生に対応可能なコース設定の妥当性が確認できた。

本学は、以上のような学生募集方策と学生確保の見通しをもって、過去の 10 年間に亘って定員未充足となることなく、確実に受験者数（実人数）・入学者数の実績を積み上げてきており、変更後の定員設定の妥当性や長期的かつ安定的な学生確保の見通しが十分見込めると考えている（資料 29）。

図表 本学音楽学部への受験意向別入学意向



出典：『洗足学園音楽大学「音楽学部」～収容定員増に関する入学意向調査～結果報告書』

また、長期的かつ安定的に学生の確保を図ることができる見通しについて、本アンケートにおいて神奈川県に所在する高等学校に在籍している高

校生に限定した進学意向から試算を行った（資料 34）。その結果、完成年度までの間、受験者数は 700 人規模で推移し、入学定員に対しては 1.1 倍前後の数として 661 から 688 人程度の進学需要が見込まれる。このように神奈川県に限った試算でも、入学定員を超える進学希望者を見込むことが可能であり、本学は隣接の東京都を含み全国からの志願者と入学者を確保していることから、長期的かつ安定的な学生確保についても十分に見込めるものと考えられる。

（２）学生確保に向けた具体的な取組状況

音楽学部の学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）に従って、さまざまな個性、創造性を持ち、一人ひとり異なった音楽の学修を志す学生を数多く受け入れるために、適切な学生募集を実施している。

募集活動は、学校案内、入試情報、入学試験要項などを作成し、受験生に配布しているほか、入試情報、入学試験要項はホームページに掲載し詳細に案内している。また、オープンキャンパス、受験準備講習会（春期・夏期・秋期・冬期）、体験レッスン（地方講習会）、学校説明会＆相談会、入試徹底指導＆相談会、進学相談会、個別に高校訪問、説明会等も実施している。そのほか、進学先選びの条件として、学生確保に資すると考える学生支援として、独自の奨学金や特待生の制度を設け、募集活動を推進している。

これらの募集活動は、実体験を通して音楽学部の教育研究活動や教員の指導方法、その背景にある教育理念・目的やアドミッション・ポリシーなどを理解させることを主な目的とするとともに、高校生等に対する適切な情報提供となっており、その魅力的内容も相まって、確実な入学者の確保に繋がっている。

また、令和 2 年度・3 年度には、COVID-19 対策として、接触を避けたい受験生にも公平に情報提供出来る様に「入試イベントのオンライン化」を導入した。WEB 体験レッスン、オンライン個別相談会、WEB オープンキャンパス等を導入し、来校型と同内容・同水準の機会を提供した。受験準備講習会も、対面式に加えてオンライン式を導入した。

① 本学主催の各種イベント

（ア）オープンキャンパス

「大学を知る」「コースを知る」「施設を見る」「大学のレッスンを体験する」「学食を楽しむ」を標榜し、オープンキャンパスでは、高校 1 年生以上を対象に、Welcome 演奏、学校説明会、個別体験レッスン、コース別イベン

ト、保護者説明会、キャンパスツアー、個別相談会、学食体験、コース別交流会を実施している。

令和元年度から令和2年度において、各13回開催し、それぞれ3,400人、1,800人、2,300人程度が参加している（資料40）。

（イ）受験準備講習会

高校1年生以上を対象に、受験準備のための講習会を毎年春期、夏期、秋期、冬期4回開催している。

入学試験の傾向を知る上で最も効果的なプログラムを用意しており、入学試験の科目である楽典・聴音の講義、実技レッスン、入試説明会、個別相談を実施している。また、夏期、冬期受験準備講習会では、特別講座としてバンドクリニック・ライブ体験、を実施している。令和3年度は、延べ526人の参加があり、令和4年度も同様に開催予定である。

（ウ）体験レッスン（地方講習会）

高校1年生以上の受験生を対象に、北海道から九州まで、体験レッスン、入試実力診断、個別相談会を実施している。

令和3年度は、札幌、いわき、仙台、宇都宮、銀座、新潟、魚津、松本、静岡、浜松、名古屋、大阪、熊本、福岡の14都市で開催した。

（エ）入試徹底指導&相談会

受験を考えている高校生を対象に、楽典・聴音模擬試験・解説、実技・面談カウンセリング、個別相談会を実施している。

例年5月～12月の期間に8～10回開催している（資料41）。

（オ）学校説明会&相談会

学校説明会、キャンパスツアー、個別相談会を実施している。

（カ）一般選抜直前対策講座

一般選抜の受験を考えている高校生を対象に、楽典、聴音、主科実技レッスン、個別相談を実施。

（キ）Musical Cocktail

ミュージカルコースのグループレッスン、オーディションによって選抜された個性的な学生とミュージカルコース教員によるヴォーカルコンサー

トを開催。キャンパスツアーとグループレッスン、コース説明などを実施している。

(ク) 平日個別見学・体験レッスン

オープンキャンパス等のイベントに参加できない高校生を対象に、個別見学、体験レッスンを実施、土日祝日を除き随時受付対応している。

(ケ) ワンデーセミナー

ピアノコースと演奏家養成プログラムについての説明会や、演奏家養成プログラム在籍学生によるミニコンサート、個別体験レッスンを行っている。

(コ) 受験ステーション “クロスアーツ”

本学を志願する高校生以上を対象とし、専門実技レッスン、楽典・聴音の授業で、受験期にこそ身につけたい技術、音楽性、知識、ソルフェージュの基礎力を高めていき、大学の一流講師陣がきめ細かくサポートしている。「対面式」と「オンライン式」、どちらでもご自分の環境に合わせて選べ、年2回の「実力テスト」や「プログレスコンサート」で自己チェック。また学内のコンサートで音楽経験ができる。

② 高校内ガイダンス・会場ガイダンス等の進学相談会への参加

令和3年度高校内ガイダンスへは、338校のガイダンスを実施し、同様に会場ガイダンスは、北海道から九州の地域において69会場のガイダンスを実施するなど進学相談に対応している。

③ 高校訪問

指定校推薦入学試験の対象である指定校や志願者実績のある高校を中心に高校訪問を行っている。令和3年度は390校を訪問している。また、吹奏楽に重点を置いて力を入れている高校へ本学教員が演奏指導を行う「管打楽器クリニック」を開催している。

④ 学校案内、リーフレット、入学試験要項、ホームページの作成

学長メッセージ、カリキュラム、コース紹介、施設紹介、学内サポートシステム、学納金、奨学金等を説明している学校案内を作成しているほか、受験準備講習会の要項、オープンキャンパス・体験レッスン等のリーフレット、

入試情報、入学試験要項を作成して受験生に配布している。

また、同様の内容については、ホームページにも告知して募集活動を実施しており、その他各コースの授業紹介や指導陣紹介、トピックスを掲載するなど本学の魅力を伝えるようにしている。

⑤ 学生支援方策

入学後の学生への支援が、中長期的な学生募集のうえで重要であることから、本学では、以下のような経済的支援の制度を設け実施している。

(ア) 本学独自の奨学金制度

※すべて「給付型奨学金」

奨学金名	対象	所属	人数(人)	金額
前田記念奨学金	学業成績優秀かつ心身共に健康で他の学生の模範となり得る人物	学部・大学院	学部：108 院：5	10万円
前田記念音楽奨励賞	学外の音楽コンクールに入賞した者	学部・大学院	15	3万円
前田記念留学生奨学金	本学を卒業又は修了後、1年以内に音楽を学ぶため外国に留学する者	学部・大学院	1	50万円
外国人留学生奨学金	音楽を学ぶ学生として熱意を持ち、本学での留学経験を基にグローバルな音楽文化向上に貢献する志がある者	学部・大学院1年・学3編入	10	30万円
ITスキル向上支援奨学金 (2020年度より開始)	ITスキル向上を支援するため、コースが認める講習会に合格した者	学部1年SC・SS	SC：49 SS：30	15万円
資格取得支援奨学金 (2021年度新規)	対象の資格（ITパスポート、Microsoft オフィス、アドビ認定アソシエイト）を取得した者	学部・大学院	100（上限）	4万5千円（上限）

※SC：音楽・音響デザインコース SS：音楽環境創造コース

(イ) 特待生制度

ミュージカルを専攻する学生を対象に「ミュージカル特待生」制度を設けて支援している。この制度は、単なる経済支援ではなく、本学及び音楽の発展に寄与する有望な学生を支援するとともに特待生が模範となる学生として他の学生に影響を与えることで、学内の活性化が図られることも目的としている（資料42）。

「ミュージカル特待生」

【目的】

本学の充実した施設と独自のメソッドを活かし、新たな才能の発掘・育成を行う

【対象者】

ミュージカルコース学生

【募集人数】

若干名

【特待条件】

授業料・施設費の1/2(年間 995,000 円)を4年間免除

【令和3年度実績】

応募者37名、合格者3名

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は、大正13年、創設者の前田若尾が東京府荏原郡平塚村（現在の品川区小山2丁目付近）に設立した平塚裁縫女学校を起源とし、「若き学徒をして、真の人生の目的に目覚めさせ、さらに人間の天職を悟らせ、謙虚にして慈愛に満ちた心情（謙愛の徳）を養い、気品高く、かつ実行力に富む有為な人物を育成する。」が、本学の建学の精神である。また、教育基本法及び学校教育法にのっとり、深く専門の学芸を教授研究し、その応用的能力を展開させるとともに、幅広く深い教養を培い、建学の精神に基づいて人格を陶冶し、謙愛の徳を備え、気品高く、国際的視野に立ち、実行力に富む人材を育成し、もって文化の向上に寄与することを目的としている。学校法人洗足学園は創立100年を迎えるが、建学の精神に基づく思想、大学の目的等については、今日においても普遍的であり、このような人材を連綿と育成し、輩出してきた実績からみても、その理念・目的は適切かつ的確であったと言える。

そして、今日のように社会構造が様々に変化し、価値観の多様化、高度化が進み、グローバル化する社会においても、本学は建学の精神、建学の精神に基づく思想、大学の目的等により、教育研究の充実、機能の高度化、教育の質の向上及びマネジメント改革を図り、独自化・個性化を推進してきた。

なお、単科大学である本学の人材養成及び教育研究上の目的は、学部学科の目的と同義であり、音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することであり、次にかかげる事項を具体的な教育目標としている。

- ① 音楽家としての基本的な演奏技術・表現技法を修得し、プロフェッショナルを目指すアーティストとしてスタートラインに立てる水準に達

すること。

- ② 世界の様々な地域、民族、時代の音楽を受容し理解することで、豊かなイマジネーションを醸成し、幅広い視野を持った人材となること。
- ③ 数多くの演奏会の企画・運営・実施に参加することで、実践を通して実社会への適応力、問題解決力、コミュニケーション能力を培うこと。
- ④ 教育指導者として、音楽を通じ、情熱と感動をもって次代を育てる教育知識・技術を修得し、豊かな人間性を涵養すること。

本学は、音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成してきた。今後においても、前述した定員増の必要性にみられるように、より多くの人材輩出することが必要であると考え、大学教育に対する社会からの様々な要請に応えるべく人材養成及び教育研究上の目的に沿って教育を展開していく。

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠

① 社会における人材の需要と本学の特性

本学は、音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成してきた。今後も更なる発展を遂げるため、高等教育機関として音楽領域の教育研究活動を積極的に推進し、充実・発展、拡張させていく必要があると考えており、音楽教育を通じて人材を多数養成することがますます重要になると考えている。これからの社会は、「基礎学力」「専門知識」に加え、多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力である「社会人基礎力」が求められている。これら、求められている「社会人基礎力」に対応するものとして、本学では、学びの中で「音楽の力」を育み、「成長する力」と「協働する力」を身につけることを可能にしている（資料1）。また、経済産業省では社会人基礎力の構成要素として3つの能力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）を打ち出している。本学では「協働する力」・「成長する力」を社会人基礎力の3つの能力と同様の概念と捉え、本学の教育課程の成果の一側面として学生のキャリア支援に役立てている。

具体的には「協働する力」をオーケストラや吹奏楽、合唱などの授業を通じて集団の中で課題を解決しながら自分の役割を遂行するといった能力を高める力と位置付けている。一方「成長する力」を、学生個々が専門楽器や専門分野に集中し、自己の目標や課題を設定しながら、計画性をもって課題解決に取り組む力と捉えている。

本学の授業は、レッスン、アンサンブル系、講義、演奏・実習、演奏会実習など、その多くが少人数・双方向型で行う実践的なものである。学生一人ひとりの将来目標から課題を設定し達成のための取組から結果に至るプロセスを指導し、その各段階において評価を受ける仕組みを整えている。こうした中で、学生は音楽の「専門的知識の一方的な伝授」に留まることなく、「社会から求められている能力」を授業の中で身につけることができる。

本学の卒業後の進路は、キャリア支援策をキャリアセンターが担っている（資料 43）。また、音楽業界を中心に様々な産業・経済・業界・企業の仕組みについて理解を深め、音大生として、社会に求められる能力やスキル、資質などに気づき、それらを自ら学べるようにすること、一般的な職種や仕事、働き方についての知識も得ることで、在学中から卒業後へのキャリアデザインを試みること、グループワークやディスカッションなどの共同作業をとおして、仲間とのより良いコミュニケーションのあり方などを習得する。「キャリアデザイン講座 1・2」（資料 44）を開講している。そのほか、また、演奏のための音楽力を身に付け、演奏会を開催するために必要とされるトータルのスキルを修得することを目的として、「演奏会実習」（令和 5 年度より「社会実践演習」に名称変更）（資料 45）を毎年 25～30 ゼミ開講しているが、この科目は、音楽大学に学ぶ学生のキャリア形成に直接関わる有用な科目となっている。

そのような活動の成果である大学（学部）の就職状況として、卒業生に対する就職者（非正規含む）の割合は、過去 3 年間で 64%～69%であり、令和 2 年度は短期雇用契約を含めると約 75%の学生が就職しており（資料 46）、全国の音楽学部と比較して高い割合になっている（資料 47）。

音楽大学である本学は、前述 2.（1）の教育目標の①や④に示されるような音楽に関連した卒業後の進路として、学校教員、音楽教室の講師、楽器店職員、楽団での演奏家、自衛隊音楽隊隊員、ミュージシャン、ミュージカル俳優、声優、作曲家、ゲーム音楽制作者、録音エンジニア、PA エンジニアなどの実績があり、卒業後に自宅で音楽教室を開く、地元で音楽を教えるなど、個人事業主の進路へ進む卒業生もいる。令和 4 年度にはロック&ポップスコース、電子オルガンコースの 4 名で結成されたバンドがレコード大賞新人賞

を受賞している。さらに、自衛隊音楽隊では、本学卒業生の吹奏楽能力と協働する力を評価されており、毎年一定数の卒業生が採用される結果となっている。

さらに、近年では学校教員へ進む学生も徐々に増えており、令和2年度教員採用試験の2次試験合格者が、過去5年間で最多の30名となった（資料48）。なお、令和2年度の採用実績（非正規含む）としては、卒業生を含め31名となっている。これら、音楽に関連した就職者は、過去3年間の就職者全体に対して約55%～70%となっている（資料52）。

ただし、本学では、音楽に関連した人材養成だけではなく、前述2.（1）の教育目標の②や③の音楽を学ぶ過程で培った「協働する力」・「成長する力」による「社会人基礎力」を発揮し、音楽に直接的な関わりのうすい公務員や一般企業にまで、卒業後の進路が多岐に亘る人材養成を行っている。音楽学部の卒業生が多様な職業に就いていることは意外と知られていないが、大内孝夫著『「音大卒」は武器になる』（2015年 ヤマハミュージックメディア）などにより音楽大学卒業生の多様なキャリア形成が紹介されており、本学の場合、一般企業としては、銀行、ホテル、保険会社、旅行会社、放送関係、アパレル業界、住宅不動産会社、人材派遣会社、百貨店などへの就職が挙げられる（資料46）。

このように、本学は音楽関係だけではなく、本学では社会が求めている「社会人基礎力」を教育課程、学生生活の中で様々な形で育み、音楽を通じて感性豊かで社会に有為な人材を多方面に亘り輩出している実績があり、過去3年間の「一般企業」への就職割合は、就職者全体に対して約30%～45%の割合を占めている。なお、本学は『音楽の強みでキャリア創造』をキーワードに、音楽を学ぶことで培われるコミュニケーション能力や主体性など、様々な強みを身に付けることが可能であること、それらの能力等が音楽分野以外のキャリア形成にも活かせることを自覚させ、更にキャリア支援に結び付ける道筋を示す様々なガイダンスを行っていることもあり、就職率は、音楽と関係がない企業・団体への就職を含め平成28年度60.6%から令和2年度75.0%へと順調に伸びており、この割合は、全国の音楽大学・音楽学部と比較して高い割合になっている（資料47）。

なお、音楽大学である本学は、ミュージカル等のオーディションにチャレンジしている卒業生がいるため、毎年、進路未決定者が一定数存在しているが、就職以外の進路として、例年10～15%の大学院や専門学校への進学者がおり、最終的に卒業生の8割程度は卒業後の進路が確定している（資料52）。

② 新たな音楽領域に対応した人材育成

「2040 年グランドデザイン」では、「高等教育が目指すべき姿」として「予測不可能な時代にあって、高等教育は、学修者が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献していくため、学修者にとっての『知の共通基盤』となる。このような視点に立ち、『何を学び、身に付けることができるのか』を中軸に据えた多様性と柔軟性を持った高等教育への転換を引き続き図っていく必要がある。」と結論付けている。また、高等教育が目指すべき姿として、「学生や教員の時間と場所の制約を受けにくい教育研究環境へのニーズに対応するとともに、生涯学び続ける力や主体性を涵養するため、大規模教室での授業ではなく、少人数のアクティブ・ラーニングや情報通信技術（ICT）を活用した新たな手法の導入が必要となる。」と述べている（資料 4）。

本学では、建学の理念「謙虚にして慈愛に満ちた心情（謙愛の徳）を養い、気品高くかつ実行力に富む有為な人材を育成」に基づき、「主体的な学び」の中で「音楽の力」を育み、「成長する力」と「協働する力」を身につけることを可能にしている。また、この「音楽の力」を育むため、特に近年、「少人数のアクティブ・ラーニングや情報通信技術（ICT）を活用した新たな手法」を伸長し、充実した教育課程と豊富な指導陣が専門的な学修をサポートしている。

また、政府（総務省）では、令和 3 年 6 月に「ポストコロナ時代におけるデジタル活用に関する懇談会」を行い、報告書を HP に掲載している（資料 49）。コロナの拡大に伴い、半ば強制的にデジタルサービスの活用が求められている状況、また、コロナ収束後も、デジタル活用にシフトした現状が、進化していくことへの予想、それに伴う問題点や課題が述べられている。学問の世界、音楽の世界でも、デジタル化の波は止めようもなく、特に、2020 年度以降、音楽の創作方法、表現方法、演奏会の在り方などが千変万化を遂げているが、本学の強みであるジャンルを超えた多様な音楽表現は、充分、新時代にも通用する特色を保持している。

本学は、4 つの専攻（作曲、器楽、声楽、音楽教育）から出発し、令和 5 年度には、19 コースとなる。

新時代に合致したコースとしては、まず、「音楽・音響デザインコース」が挙げられる（資料 24）。平成元年に開設したこのコースの人材育成の目的は、新しい意味としての作曲＝音楽制作を中核として、作曲・編曲、デスクトップミュージック、録音、音響、映像等を含む広範な領域を網羅しながら、学生個々が最も得意とする分野について、特に深く研鑽を積める授業科目・

設備・環境を整備して、現代社会における音楽業界・音楽関連産業の中に自分の居場所を見出し、獲得できる人材を育成することである。このコースについては、特にここ数年、入学者数や本コースによる演奏会入場者数の増加が顕著であり、就職についても令和2年度就職率81%と、高い水準を示し、その活躍の分野としては、メディアコンテンツ分野における音響効果、イベント制作、コンサート演出などとなっている。卒業生の中には、在学中よりTVドラマの作曲などを手掛け、平成28年度、平成30年度、令和3年度にそれぞれ川崎市アゼリア輝賞を受賞した音楽家や、平成29年度レコード大賞最優秀アルバム賞を受賞したバンドの作曲家・キーボード奏者など、近年、有為の人材を輩出している。このコースには、①ポップス、ゲーム音楽のクリエイターを育成するポップス&ゲーム系、②映画、アニメなどの映像音楽クリエイターを育成する映像音楽系、③レコーディングエンジニア、PA・SAエンジニア、音響効果、サウンドクリエイターを育成する音響技術系に分類される。ポップス&ゲーム系、映像音楽系、音響技術系それぞれに専門の指導陣を揃え、必要な知識を隈無く提供している。

令和元年度には、舞台スタッフ育成を目的の一つとして、音楽・音響デザインコースから派生した「音楽環境創造コース」を開設している(資料50)。本コースで「音響」、「照明」、「舞台監督」等技術的なアートマネジメント・スタッフワークを学び、照明技術関連、舞台機構調整技能関連の資格取得を目指すことで、市場や施策に対応することを想定している。

定員変更年度の令和5年度にはメディアアーツコースを新設するが、同コース開設に合わせて、これに相応しい設備・施設を整備した新校舎の建設を予定している。同コースのみならず、音楽・音響デザインコースや音楽環境創造コースと連携しインタラクティブな成果発表スペースも視野に入れて計画を進めている。コロナ後の新しい生活様式にもマッチした、音楽芸術提供をより充実させる施設を想定している。

そのほかの新たなコースとしては、平成28年度から「声優アニメソングコース」を開設している(資料25)。コースの目標としては、クールジャパンを代表する分野となっている日本独自の芸術文化、ポップカルチャーシーンに、「声・音声」を軸とした能力を活かして進出することを目指す。声優、アニメソング、ボーカロイド、動画と音楽のコラボレーション、基本的なスタジオワーク等、多様な分野やそれらの周辺の教養を包括した授業科目・施設・環境を整備して、自分が目指す分野に向かってセルフ・プロデュースを展開できる人材を育成することである。音楽大学では日本で初めて開設された声優アニメソングコースはメディアからも注目を集めており、地上波テレビバ

ラエティー番組の取材も多く、すでに声優事務所に所属し、テレビアニメ作品やゲーム作品キャラクターとして声の出演など、活躍中の学生も在籍している。また、本学教員である有名アニメソング歌手のレコーディング参加や舞台出演、川崎市をフランチャイズとするプロスポーツチームの主催試合でのパフォーマンス出演など、外部の活動も精力的に行っている。

また、「自らの専門分野であるミュージカルに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現する」ことを人材育成の目的として、平成 18 年度に開設した「ミュージカルコース」（資料 26）は、15 年目を迎え、授業成果の発表会の場としての演奏会の数、内容ともに充実し、特にここ数年、ミュージカル俳優として第一線で活躍する卒業生を多数輩出し、学生数の増加が顕著である。本学の公演や演奏会は、芸能事務所がスカウティングに来ているため、それにより業界大手の事務所に所属し、在学生・卒業生にはメジャー作品に主役として出演している者もいる。令和 3 年度の入学人数 90 名、学生数 336 名、年間主催演奏回数 52 回を数え、様々な地域社会、産業界、公官庁からの要請に応えるなど、地域の芸術文化涵養の一翼を担っている。

本学は人材育成の必要性や社会で求められる音楽分野の広がりに対応するとともに、音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対して、ニーズに応じたコースを計画的に設定し定員規模の変更を計画している。

今後も、多様性、柔軟性を武器に社会に有用な人材の育成を継続し、以て社会の芸術振興の一翼を担っていく。

③ 産学官との連携の推進

平成 30 年 11 月中央教育審議会「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(以下「2040 年グランドデザイン」という)(資料 4)で、大学連携について、「地域のニーズに応えるという観点からも充実し、それぞれの高等教育機関の強みや特色を活かした連携や統合が行われていくこと」を、これからの高等教育改革の実現すべき方向性として示されている。また、産業界との協力・連携については、「高等教育が提供する学びのマッチングが必要不可欠」「大学内外の資源を有効活用していくことは重要」「学外の協力を得ていくための産業界等との協力関係、連携関係を充実させていく必要がある」としている。更に、地域との連携について、「それぞれの地域の社会、経済、文化の活性化のリソースや、特色・誇りの源泉であるとともに、地域産業や新規の企業立地における好条件となり、更には地域における国際交流の推進、国際化への対応への直接的な拠点ともなる」と結んでいる(資料 4)。

このような地域社会との交流や産業界との連携について、本学は、「社会連携・社会貢献ポリシー」を定め進めている（資料 5）。社会連携の推進については、音楽の探究による主体的な学びの実践を尊重し、社会連携を適切かつ効果的に推進することとしている。また、行政・地域団体・大学との連携については、以下のように演奏会等を通じた地域との交流や教育研究成果の提供により社会貢献を実施すること、音楽活動や研究活動により地方自治体の政策形成への関与をさらに推進すること、地域社会の活性化と発展の担い手となる豊かな人間性と実行力を兼ね備え自立した人材を育成することとしている。

また、地方自治体等の施策立案、実施に対する積極的な支援策とし、本学の立地する川崎市と様々な連携により社会貢献を実施している。その一つとして、「音楽を中心とした活力とうるおいのある地域社会作り」を目指す「音楽のまち・かわさき」推進協議会への参画がある（資料 6）。本学はこの運動の主旨に全面的に賛同し、川崎市と様々な連携を行っており、学長が副会長として参画するほか、運営委員会に教職員 4 名が参加し、基本的な施策立案、実行支援を展開している。川崎市の文化芸術振興に関する事項の審議や文化アセスメントを実施している川崎市文化芸術振興会議には、教員 1 名が参画している。川崎市長からは、本学の地域貢献並びに今後の活動に強い期待が寄せられている。具体的には、本学は音楽によるまちづくりの推進役として平成 16 年に設立された「音楽のまち・かわさき」推進協議会の一員として、積極的に文化振興事業に参画するなど、教育機関の有する専門的知識やノウハウを活かし、多大なる貢献を果たすこと、音楽鑑賞や身近に楽器に触れる機会の提供、音楽家や文化芸術を支える人材の育成及び次世代の担い手である青少年が身近に文化芸術を体験できる場づくりなどの文化芸術活動において川崎市との連携が期待されている。そのほか、川崎市教育委員会とは「子どもの音楽活動推進事業」の一つ、「ジュニア音楽リーダー育成事業」への協力を行っている。これは本学の学生および卒業生が川崎市内の吹奏楽部に所属する中学生を指導するというもので、「音楽のまち」を将来にわたり支えていく子ども達の情操教育の一翼を担う社会貢献活動を行っている。この活動に派遣した本学の学生・卒業生の人数は、平成 29 年度～令和元年度は毎年度 40 名、令和 3 年度は 45 名となっている（令和 2 年度はコロナにより中止）。また、参加した中学生の人数は、平成 29 年度は 255 名、平成 30 年度は 246 名、令和元年度は 224 名、令和 3 年度は 244 名となっている（資料 7）。これらの成果もあり、規模充実策の一環である今回の定員変更の計画に対して、川崎市長から依頼の文書が提出されている（資料 8）。

また、大学のキャンパス所在地である川崎市高津区では、「高津区音楽のまち推進事業」に参加している。これは、「地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る」ことを目的としている。この中で、本学と市民が協力して企画運営を行い、市民グループが企画や準備に携わる参加型の音楽祭「高津区民音楽祭」を開催している。本学からは運営委員として教職員2名が参加し、企画運営の助言・運営協力に携わっている。また、「高津区音楽のまち推進事業」の事業の一つである「子どもの音楽文化体験事業」への協力を行っている。これは、区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与することを主な目的としている。具体的には、川崎市高津区役所と協働して、子ども文化センター等へ本学学生、卒業生を派遣するほか、例年、本学講師によるオペラ公演の開催、本学にて開催している演奏会への区民無料招待や、子どもを対象としたパーカッションの演奏体験を行うワークショップへの協力、未就学児を対象としたリトミック体験（本学卒業生・在学学生を講師として派遣）を実施してきた。令和2年度に於いては、COVID-19の影響により中止、令和3年度は規模を縮小し、身近な場所での音楽体験などを開催し、音楽体験を通じた子どもの情操教育の一翼を担った（資料9）。

その他、音楽大学としての特性を活かし、学外組織との連携、地域交流、国際交流事業への貢献を行うため、社会連携・社会貢献委員会を設置し、派遣演奏会などについての、地域・社会からの要望に応じている。同委員会にて、社会貢献活動について、実施や参加の有無等についての審議・決定、定期的な報告、活動についての検証を行い、地域の活性化、情操教育の涵養など、様々な活動を推進している。令和3年度は、COVID-19の影響により、神奈川県の実情に合わせ、自粛傾向にあったが、東京オリンピックテコンドー競技会など、依頼に応じて11件の派遣演奏会を行った（資料10）。

④ 定員増加に関するニーズ調査

音楽学部の新卒定員計画を策定するにあたり、本学卒業生の採用見込みの検討に関して、卒業後の具体的な進路や地域の人材需要の見通しなどを踏まえるために、令和3年11月から翌年2月にかけて、本学における音楽に関わる人材及び音楽以外にも関わる人材養成と多岐に亘る実際の就職状況を踏まえ、本学の卒業生の就職先として実績のある、あるいは想定される東京都及び神奈川県を中心とした全国の音楽業界を含む関連企業に対し本学の教育内容の社会における有効性、採用意向などの人材需要に関するアンケートを

学外の調査機関である株式会社大学経営コンサルティングに委託して実施した（資料 31、資料 32）。

調査における回答者の属性として、人事採用への関与については、8 割強が何らかの採用や選考にかかわっている。音楽との関連については「全体的に音楽に関係がある企業・団体」が 16.9%、「一部、音楽に関わる担当者がいる企業・団体」が 18.3%となっており、音楽に関わっている企業は 35.2%であった。また、回答企業の業種としては、製造業、情報通信業、卸売・小売業、医療・福祉、サービス業がそれぞれ 10～20%を占めている。これらのことから、今回の調査は、音楽関係以外の企業等からの回答も得られ、本学の養成する人材や卒業生の就職状況の傾向を踏まえている。

これらの企業等の一般的な採用状況として、1 年あたりの正規社員の平均採用人数は「1～4 名」が 44.6%で最も多く、次いで「0 名」が 18.7%と多い。本年度については、「昨年度並み」が 36.9%で最も多く、次いで「採用予定なし」が 20.8%で続く。「増やす」は 16.3%で、全体の半数以上は昨年度と同程度かそれ以上の人数の採用意向を持っている。採用したい学問系統として最上位にあがったのは「工学」の 16.6%であり、「音楽」は 14.8%であったが、「学部や学問系統にはこだわらない」が全体の中で最も多く 37.7%であった。「音楽と関係がない企業・団体」でも 35.2%が採用意向を示していることは、本学の養成する人材や卒業生の就職状況の傾向と重なるものがある。また、採用意向を有している企業・団体の本学卒業生採用に際しては「コースには特にこだわらない」回答が多数を占めていることから、採用意向を有しつつ、特定の音楽の技能を求めているわけではない傾向がある。

以上のように、本学では、音楽に関わる人材と音楽以外にも関わる人材養成をおこなっており、多岐に亘る実際の就職状況からも、調査対象として音楽関係以外の企業等を含め、それらの回答を得ること、採用意向を示した企業・団体に「音楽と関係がない企業・団体」を含めて分析対象とすることは、本学の養成する人材像や実際の就職状況を踏まえたものになっていると言える。

本学に係る調査結果としては、有効回答数 1,232 社のうち 6 割にあたる企業が本学の特色に魅力を感じており「一人ひとりの興味や個性に応じた自由で充実したカリキュラムで、音楽の力を高める」への評価が 71.5%で最も高い。

本学の卒業生がこれからの社会にとって役立つ人材と思うかについては、『役立つ人材』（「とても役立つと思う」+「ある程度役立つと思う」）と答えた企業が 87.7%（1,080 企業）と、ほとんどの企業で役立つ人材と認識さ

れており、本学の教育に関して社会における有効性が認められている。

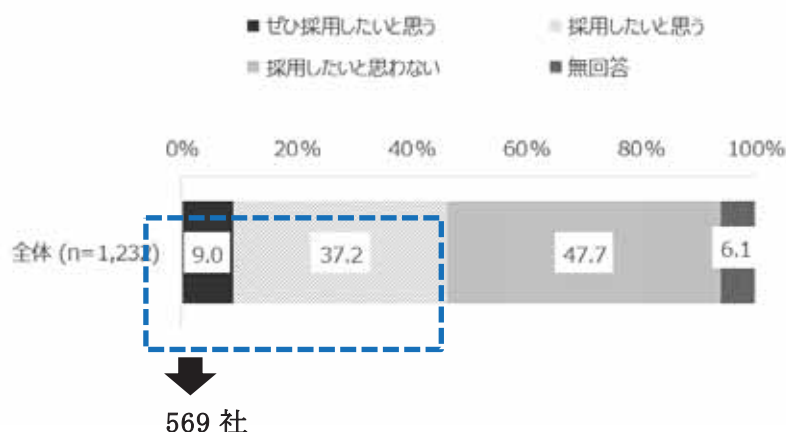
さらに本学を卒業した者に対する採用意向については、有効回答数 1,232 社のうち 46.2%にあたる 569 社が『採用の意向』（「ぜひ採用したいと思う」＋「採用したいと思う」）を示しており、その採用意向のあった 569 社について、採用の際の人数を尋ねた結果、その数は入学定員を上回る 690 名分であった。本学で学んだ人材への需要は高く、卒業後の進路の見通しも十分であると見込まれる（資料 31）。

なお、調査結果の採用人数について「人数は未確定」と回答した企業・団体が最低 1 名は採用すると仮定して 385 名分の採用人数があるとした根拠としては、アンケートでは、まず、本学卒業生の「採用の有無」を尋ねていることから、この時点で 569 件の企業・団体があり、それらで最低 569 人の採用意向が見込めると捉えた。そのうえで、この「採用の意向」を有する企業・団体に対して、採用人数を尋ねているので、「人数は未確定」は、1 名以上を採用することを前提に具体的な人数は未確定としていると解することができる考えた。ただし、「人数は未確定」の回答は、0 名の採用の可能性も推察できるため、次のような分析も行った。アンケートにおいて「昨年と比較した本年度の採用予定数」として「増やす」「昨年度並み」と回答した企業・団体は 655 件（53.2%）であり、そのうち 396 件（60.5%）が本学卒業生の採用意向を有している。そこで「人数は未確定」385 件の 60.5%だけが、1 名以上の採用があると仮定してみると採用人数は 232 人となる。また「人数は未確定」385 件のうち、「昨年と比較した本年度の採用予定数」として「増やす」「昨年度並み」と回答した企業・団体のみを 1 名以上の採用があると仮定すると 252 人となる。その結果から「人数は未確定」のすべてで 1 名以上を採用するとせず、「1 名以上の採用が見込める企業・団体に限った場合」と仮定し、採用人数を確定している数と合わせた場合、537～557 名程度の採用が見込めることになる（資料 53）。前述のように本学の卒業生（令和 2 年度実績）は約 75%（変更後の定員の場合 443 人に相当）が就職することから考えると、採用想定人数は変更後の定員を満たせるものと考えられ、アンケートがサンプル調査であることを踏まえると調査対象以外の地域や企業・団体の採用も可能性があると考えられる。

なお、採用意向を有する企業を業種別に見ると「学校教育」と「その他の教育、学習支援業」で 75%強と高く、次いで「サービス業」59.4%と続き、音楽との関連度別に見ると「全体的に音楽に関係がある企業・団体」で 70.2%と高い採用意向を示すが、「音楽と関係がない企業・団体」でも 35.2%が採用意向を示しており、音楽学部である本学の卒業生の就職先が音楽関係以外

にも期待できる結果となった。また、採用意向を示した企業に本学のいずれのコースの卒業生を採用したいかを尋ねたところ「ピアノコース」、「音楽教育コース」、「音楽・音響デザインコース」が上位となったが、「コースは特にこだわらない」が70.1%で最も高い。本学の卒業生は、銀行、ホテル、保険会社、旅行会社、放送関係、アパレル業界、住宅不動産会社、人材派遣会社、百貨店などの一般企業にも就職していることも踏まえると、どのコースにおいても就職先が見込める状況であると言える。

図表 本学音楽学部卒業生に対する採用意向



出典：『洗足学園音楽大学「音楽学部」～収容定員増に関する入学意向調査～結果報告書』

以上のように、川崎市長の期待及び川崎市の文化芸術振興計画等により示された地域自治体への政策貢献、教育政策と国の施策への対応、社会における人材の需要と本学の特性、本学の養成する人材像や実際の就職状況を踏まえた定員増加に関するニーズ調査から、本学における人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的は、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであり、卒業後の進路見通しとしても、本学の設定する定員は客観的な根拠を有すると判断できる。

学生確保の見通し等を記載した書類 資料

【目次】

- 資料 1 大学案内 2022 抜粋：学びのサイクルと成長する力・協働する力
- 資料 2 大学案内 2022 抜粋：200 回を超える演奏会
- 資料 3 2021 年度主催演奏会
- 資料 4 2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（抜粋）
- 資料 5 社会連携・社会貢献ポリシー
- 資料 6 2021 年度「音楽のまち・かわさき」推進協議会理事会議案書
- 資料 7 2021 年度ジュニア音楽リーダー育成事業活動報告書
- 資料 8 川崎市長副申書
- 資料 9 2019-2021 高津区との連携（実績）
- 資料 10 社会連携・社会貢献委員会議事録等・2021 年度活動まとめ
- 資料 11 昭和大学包括連携協定書・活動記録
- 資料 12 昭和大学との連携教育
- 資料 13 昭和大学リカレントカレッジ入学式における講師派遣について
- 資料 14 ミュージカルで被害防止高津警察署への協力
- 資料 15 2019 年 4 月 4 日教授会議事録
- 資料 16 Berklee college of music 提携
- 資料 17 マヒドン大学提携
- 資料 18 第一回「洗足音楽大学」杯～目指せ！電腦アフレコ王～
- 資料 19 SENZOKU ONLINE SCHOOL OF MUSIC
- 資料 20 オンラインスクール入学前教育
- 資料 21 伝統音楽デジタルライブラリー
- 資料 22 SENZOKU ONLINE SCHOOL OF MUSIC（中国語版）
- 資料 23 高校教員ヒアリング調査
- 資料 24 音楽・音響デザインコースリーフレット
- 資料 25 声優アニメンタリングコースリーフレット
- 資料 26 ミュージカルコースリーフレット
- 資料 27 大学案内 2022 抜粋：多彩な合奏授業
- 資料 28 川崎市文化賞
- 資料 29 【洗足学園音楽大学「入学意向調査」】全体集計
- 資料 30 【洗足学園音楽大学「入学意向調査」】結果報告書

資料 31	【洗足学園音楽大学「採用意向調査」】全体集計
資料 32	【洗足学園音楽大学「採用意向調査」】結果報告書
資料 33	H24～R3 近隣大学志願者数・志願倍率の推移
資料 34	神奈川県所在の高等学校にもとづく推計値
資料 35	全国・神奈川 18 歳人口、志願者数等比較
資料 36	全国・私立 音楽学部学生数等比較
資料 37	洗足 H24～R3 年度 入試内訳
資料 38	入試区分別定員
資料 39	洗足 H29～R3 年度 都道府県別志願者数・入学者数
資料 40	オープンキャンパス参加人数
資料 41	入試徹底指導参加人数
資料 42	2022 ミュージカル特待生制度 選考要項
資料 43	キャリア支援
資料 44	キャリアデザイン講座 1・2 シラバス
資料 45	演奏会実習シラバス
資料 46	進路状況
資料 47	大学の真の実力情報公開（蛍雪時代 2022）より
資料 48	2020 年度教員採用試験受験結果報告
資料 49	ポストコロナ時代におけるデジタル活用に関する懇談会（抜粋）
資料 50	音楽環境創造コースリーフレット
資料 51	入学意向 クロス集計 ③ Q7「音楽のみ」
資料 52	H30～R2 年度 卒業生進路状況（学部）
資料 53	採用意向 クロス集計 Q7

選べる多彩なカリキュラム

教育課程の体系

学生課程における教育課程の内容については、音楽の基礎理論、基本的な演奏技術、表現技法を基礎とするという教育目的・目標に即して、実技・演習系の科目を中核に据えています。具体的な科目としては、「○○奏法研究」といったレクチャーや「演奏会実習」「室内楽研究」「オーケストラ研究」等が該当します。さらにこれらの演奏技術、表現技法を学ぶ際、理論的背景として「ソルフェージュ」「和声学」「対位法」等が必要となります。以上が、音楽を学習するうえで核となる科目群です。これらの音楽関連科目群の多くはグレード制をとっており、細かなグレード分けをす

カリキュラムの大きな特徴

授業は大きく「専門必修科目」「専門選択科目(各コース)」「専門選択科目(全コース共通)」「一般総合科目」に分かれています。

「将来どうなりたいか」「そのためにはどんな授業を受ければ良いか」を自分で考え、目的に合わせたカリキュラムを選ぶように、「必修科目」の単位数を軽減し、選択でできる科目を数多く用意しているのが大きな特徴です。目標に向かって、自分の意志で選択を繰り返すことで、一人ひとりが主体的に学んでいく姿勢を身につけます。また自由な発想で音楽を学ぶ環境を整えることで、専門以外の様々なジャンルの音楽や、知識との出会いを提供。視野の広い教養を身につけることが可能になります。

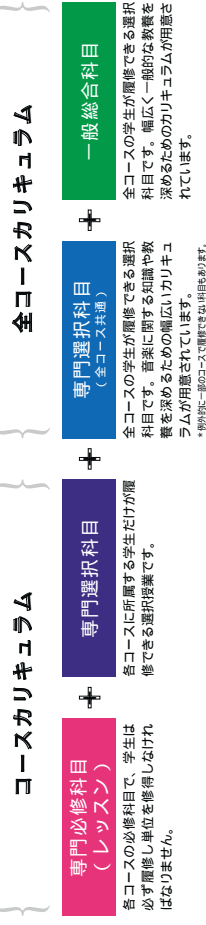
音楽を志す一人ひとりの個性と創造性を引き出すために

それぞれの専門コースにおいて、定められた授業を履修することで、一人ひとりに「単位」が与えられます。数ある授業の中から履修する科目を自分で決めて、時間割を組み、卒業までに必要な単位を修得していきます。

【カリキュラムの構造】

本学の課程を修了し卒業するためには、所定の修業年限(通常4年間)在学して、必修24単位、選択100単位以上¹⁾、合計で124単位以上修得しなければなりません。個々の興味や志向に応じて、自由にカリキュラムを組み立てられるのが大きな特徴です。

(1)音楽教育コースは必修36単位、選択88単位以上



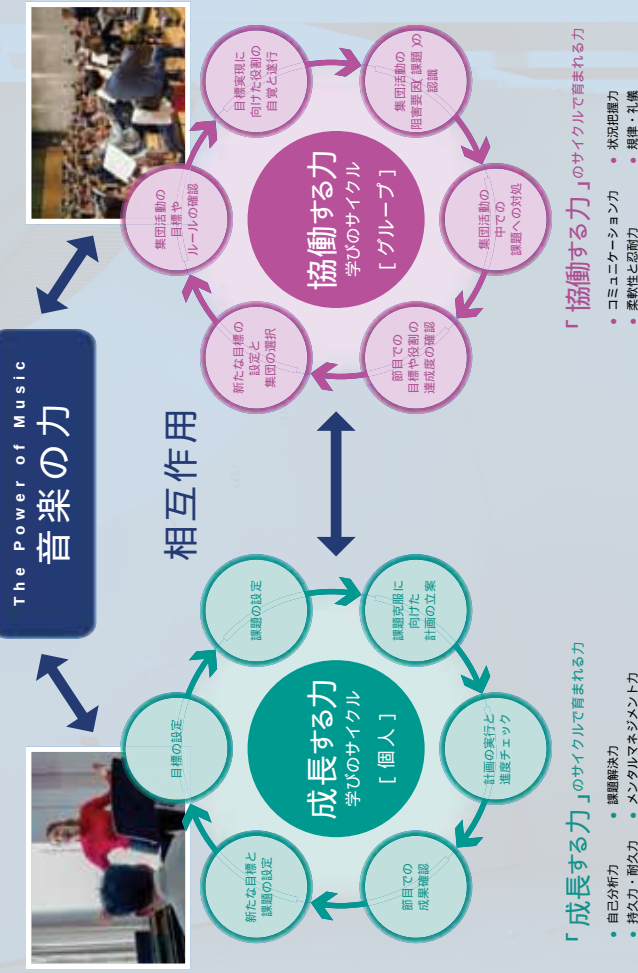
【副科レクチャー】下記コースは副科レクチャーが履修できます。

管楽器、打楽器、弦楽器、ピアノ²⁾、声楽、音楽教育、現代音楽、ワールドミュージック、音楽・音響デザイン、ジャズ、ロック&ポップス、電子オルガン

(2)PPE、P-com など一部履修対象外があります。

「学びのサイクル」と「成長する力」「協働する力」

自分の意志でカリキュラムを作り目標に向かって努力する。そこに、生きるために必要な資質「成長する力」「協働する力」を育むサイクルが生まれます。それが「学びのサイクル」です。学びのサイクルは、「なりたいたい自分」になるための活動プロセスを表現しています。流れに沿って行動することで、目標や活動がより具体的になり、その一つひとつを振り返りながらさらに学びを進めることで、新たな成長につながります。サイクルを1周する



「成長する力」のサイクルで育まれる力

- 自己分析力
- 課題解決力
- 持久力・耐久力
- メンタルマネジメント力

「協働する力」のサイクルで育まれる力

- コミュニケーション力
- 状況把握力
- 柔軟性と忍耐性
- 規律・礼儀

「学びのサイクル」を支えるカリキュラム

充実したカリキュラムと豊富な指導陣による専門的な学習が学びのサイクルをしっかりと支えています。

【教育環境の特徴】

レッスン、合奏、合唱、室内楽等	将来を見据え目的に合わせた自分だけのカリキュラムを作る	演奏会の企画から開催まで実践を通じて学ぶ	多くの発表機会・活動体験が成長のための大きな糧となる	自由な発想で学ぶ環境を整え、広い視野の教育を身につける
多様な実技系授業	自由なカリキュラム設計	「演奏会実習」	年間200回以上の演奏会	多彩なジャンル
レッスン	アンサンブル系	講義(講座)	演奏会実習	演奏会(オーディション)
「学びのサイクル(個人)」の中核となる授業。自らを客観的に分析し、目標を設定し、計画を立て、実行し、振り返り、修正を繰り返す。このサイクルを通じて、個人の成長を促す。	「学びのサイクル(個人)」の中核となる授業。自らを客観的に分析し、目標を設定し、計画を立て、実行し、振り返り、修正を繰り返す。このサイクルを通じて、個人の成長を促す。	音楽の基礎知識や知識を深め、自らの創造性を音楽に活かしていく。自身の専門分野を追究し、その分野での能力や視野を広げていく。	「演奏会実習」を通じて、音楽の現場を経験し、実践的なスキルを身につける。	「オーディション」を通じて、自分の実力を試す機会を得る。

200回を超える

2019年度
洗足学園音楽大学
演奏会

オーケストラ、吹奏楽などのクラシックから、ロック、ジャズ、ミュージカル、邦楽など、聴衆の心を引きつける多彩なコンサートの数々。多くの演奏体験を積み重ねることが、豊かな音楽性を育む糧となっています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、前期に企画していた演奏会は中止、延期となりました。後期からはバーチャルライブやダンスを考慮して、観客数を制限したり、オンラインで配信したりと新しい生活様式に沿った演奏会の開催ができておりましたので、2019年度の演奏会開催実績を掲載しております。

演奏会を制作する

演奏会を制作する役割を担うのが、アカデミック・コーディネーターと呼ばれる役目です。その教員の指導のもと、出演する学生たちが演奏会の制作に携わり、印刷物の制作から広報まで実践を通して演奏会のアートマネジメントを学んでいきます。

5 May	・全日本吹奏楽コンクール 連弾曲クリニック ・全日本吹奏楽コンクール 課題曲全曲コンサート（秋山和慶 指揮） ・Second Season ・Three Quarter
6 June	・自衛隊キャンピングコンサート（大澤健一 指揮） ・DO JAZZ SENZOKU 2019 ・Music to All: Bkky アート・ブレイキース生誕100周年によせて ・聴覚学生によるピアノコンサート ・クリスタルエンジェルズ第49回定期演奏会（ロバート・チャイルズ/山本武雄 指揮） ・打楽器アンサンブル 夏の演奏会（山崎洋之 指揮） ・SENZOKUストリングスオーケストラ演奏会 - 初夏の演奏 -（古瀬真 指揮） A ・アンサンブルの座 - NHK全国学校音楽コンクール課題曲演奏会 -（相澤直人 指揮） ・The Debut!! ・ファンファン・レオナルド・第27回定期演奏会（辻原久敏 指揮） ・Last Sport ・クリーン・タイ ウィンド・アンサンブル演奏会（ティモシー・レイニッシュ 指揮） ・シアトリカル・リーディング「松生」 -（相田慶大 指揮） ・フルー・タイ ウィンド・アンサンブル演奏会（大相英次 指揮） ・ロバート・オーケストラ演奏会（大相英次 指揮）
7 July	・フレッシュマン・ウィンド・アンサンブル演奏会（増井信貴 指揮） ・3rd Year Class Revue ・赤足ウィンド・シンフォニー演奏会（保科洋 指揮） ・サクソフォーン・オーケストラ夏の演奏会（増井信貴 指揮） ・ジャズコーススライプ ・Nation Basement GIG ・フルート・オーケストラ演奏会（潮尾崇利 指揮） ・管弦楽団第77回定期演奏会（秋山和慶 指揮） ・Summer Musical Showcase vol.14 -（橋原真 指揮） ・クラシックギター・コース演奏会 ・ベシックス・オーケストラ チャレンジコンサート2019（松元宏孝 指揮） ・吹奏楽指導者マスタートーク演奏会 ・ハレエコース前期公演（秋山和慶 指揮） ・邦楽演奏会「和のいろは」伝説と新風 ・日中交流コンサート「Friendship Concert」電子オルガンで紡ぐ夜話の輪 ・ダンスコース前期公演 B ・SUMMER STAGE 2019 ・電子オルガンによる管弦楽曲、ピアノ協奏曲のタペ（竹内聡 指揮）
8 August	・SUMMER STAGE 2019 - ・フェスタサマー・ミュージックKAWASAKI2019（秋山和慶 指揮） ・多摩美術大学×洗足学園音楽大学コラボレーションオペラ 歌曲「コジ・ファン・トゥッチ」ハイライト ・2019年度 作曲コース 作品発表演奏会 in Summer
9 September	・Next Generation ・学校リサイタル講座 第4年によるジョイントリサイタル - ・第2回電子オルガン定期演奏会
10 October	・学校リサイタル講座 第修4年によるジョイントリサイタル ・Song Writers ・室内楽セレクション演奏会 ・第15回ミュージカル本公演「The Pejama Game」 -（橋原真 指揮） C ・プリティッシュユース第50回記念定期演奏会（ニコラス・チャイルズ/山本武雄 指揮） ・ジャズコース定期演奏会 My Favorite Things D



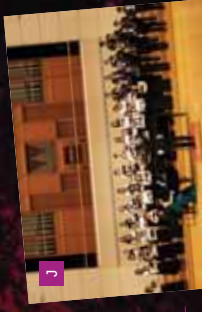
演奏会 over 200 concerts

学生は学内公演をすべて無料で観覧できます。

11 November	・ピアノ/コンチェルトのタペ オペラ・デ・シヤソン会後者によるソロの饗宴（現田友志 指揮） E ・第40回全日本吹奏楽コンクール定期演奏会（伊藤謙英 指揮） F ・秋の音楽祭演奏会 - 伝説の音色、現代の響き - ・聴覚学生によるピアノコンサート ・ファンファン・レオナルド・第28回定期演奏会（フリッツ・バーク 指揮） G ・ロバート・オーケストラ演奏会（フィリップ・ホルド 指揮） ・フレッシュマン・ウィンド・アンサンブル演奏会（デ・モシー・マー 指揮） ・第28回定期演奏会（シルヴァン・カンフルラン 指揮） H ・ハレエコース前期公演 ・FLYING UP! ミニアコンサートCandle Night JAZZ ・オーケストラ with ナレーション（カ・チエ・ウォン・ウォン 指揮） ・豊田牧師の歌曲公開講座 ・音楽遺産vol.1
----------------	--



12 December	・音楽遺産vol.2 - 4 I ・クラシック・コース演奏会 - リコーダーと君に - ・ピアノ/コンチェルトのタペ（ピアノで合唱コンサート） ・合唱の祭典（相澤直人 指揮） J ・第10回音楽大学・学生・オーケストラ演奏会（大和田雄介/田中久仁明 指揮） ・吹奏楽指導者マスタートーク演奏会 - 初冬の演奏 -（相澤直人 指揮） ・SENZOKUストリングスオーケストラ演奏会 編成、初回（Ynフェリコ・アズステイニ） ・ハレエコース&同僚アニメーション・コースコラボレーション企画「くるみ割り人形 with ナレーション - グローバルクラス ・ワールド・ミュージック・ウィンド・コンサート ・赤足ウィンド・シンフォニー演奏会（シェリー・ジャッキン 指揮） K ・フルー・タイ ウィンド・アンサンブル演奏会（クワイン・セザール 指揮） ・ハレエコース&同僚アニメーション・コースコラボレーション企画「くるみ割り人形 with ナレーション ・ベシックス・オーケストラ・クリスマスコンサート2019（秋山和慶 指揮） ・クリーン・タイ ウィンド・アンサンブル演奏会（タケラ・ホストック 指揮） ・ピアノ・アンサンブル・コンベンション ・サクソフォーン・オーケストラ冬の演奏会（大井剛史 指揮） ・邦楽・ミュージカル 第3弾「三人旅 恋物語」 L ・第15回音楽教育コース定期演奏会 - 明日の教科書 - ・オペラ実習カラコンサート（時田康文 指揮） M ・Winter Theater 2019 - ・第2回ダンス・コース後期公演 ・第5回ハレエコース本公演「くるみ割り人形」谷崎子ハレエコンサート（松元宏孝 指揮） ・第5回ハレエコース本公演「くるみ割り人形」秋田佐美ハレエコンサート（橋原真 指揮） ・第5回ハレエコース本公演「くるみ割り人形」グローバルクラス（井田勝大 指揮） N
----------------	---



1 January	・Senior Musical Showcase Vol.7（橋原真 指揮） ・作曲コース 作品発表演奏会（田田行 指揮） ・室内楽コンサート ・歌曲の祭典 ・Winter Musical Showcase vol.2 -（橋原真 指揮） ・電子オルガン・コース・ポピュラーコンサート2019 ・ジャズコーススライプ ・Senzoku Digital Music & Arts Project ・Harvest vol.1 - 4
2 February	・2nd Year Class Revue - ・MUSIC DESIGN SYMPHONIC ORCHESTRA & ELECTRO CARNIVAL（基田俊章/山下朋介 指揮） ・声楽アンサンブル第28回定期演奏会 ・Abiding star5 - 声楽アニメーション・コース（ASコース）1期生・Final Stage - ・ダンスコース 学生企画 自主公演「I AM Vol.2 ・室内楽みなとみらい選抜チーム演奏会 ・第5回音楽教育コース・ソロ・コンサート ・邦楽第10回定期演奏会 現代音楽の響き ・第9回ミュージカルアトリエ公演（橋原真 指揮） ・オペラ公演「魔笛」（豊平悠平 指揮）
3 March	・第9回ミュージカルアトリエ公演 -（橋原真 指揮） ・オペラ公演「魔笛」（豊平悠平 指揮） ・安永徹・市野あゆみ特別レクレーション生による演奏会 ・洗足学園音楽大学4年生による学校リサイタル講座 成績優秀者によるスペシャル・コンサート ・在籍演奏会 ・Welcome to the Real World ・ドラマティック・シアター ・ニューワーク・ハーモニック管弦楽定期演奏会（秋山和慶 指揮） ・第9回音楽大学・学生・オーケストラ（井上健貴 指揮）



2021年度主催演奏会観客数表 (2022年1月31日時点)

No.	日程		演奏会名	会場	観客数
1	5/	2/ 日	2019年度 洗足学園ジュニアコンクール受賞者披露演奏会	前田ホール	75
2	5/	9/ 日	2021課題曲クリニック	前田ホール	無観客
3	5/	9/ 日	2021課題曲クリニック全曲コンサート	前田ホール	無観客
4	5/	22/ 土	Second Season	ビッグマウス	37
5	5/	23/ 日	Three Quarters	ビッグマウス	35
6	6/	5/ 土	Do Jazz	前田ホール	無観客
7	6/	12/ 土	選抜学生によるピアノコンサート	シルバーマウンテン1F	39
8	6/	13/ 日	ブリティッシュプラス第52回定期演奏会	前田ホール	293
9	6/	19/ 土	The Debut!!	ビッグマウス	50
10	6/	19/ 土	アンサンブルの魅力 ～NHK 合唱コンクール課題曲クリニック～	シルバーマウンテン2F	無観客
11	6/	20/ 日	Last Spurt	ビッグマウス	45
12	6/	25/ 金	シアトリカル・リーディング①	MUSIC POOL CINO	100
13	6/	26/ 土	大学院室内管弦楽団第12回定期演奏会	前田ホール	77
14	6/	26/ 土	シアトリカル・リーディング②	MUSIC POOL CINO	57
15	6/	26/ 土	シアトリカル・リーディング③	MUSIC POOL CINO	81
16	6/	26/ 土	シアトリカル・リーディング④	MUSIC POOL CINO	78
17	6/	27/ 日	シアトリカル・リーディング⑤	MUSIC POOL CINO	79
18	6/	27/ 日	シアトリカル・リーディング⑥	MUSIC POOL CINO	104
19	6/	30/ 水	フルートオーケストラ演奏会	前田ホール	97
20	7/	2/ 金	Summer Musical Showcase vol.16① 1幕	MUSIC POOL CINO	59
21	7/	2/ 金	Summer Musical Showcase vol.16① 2幕	MUSIC POOL CINO	74
22	7/	2/ 金	SENZOKUストリングスオーケストラ演奏会	前田ホール	162
23	7/	3/ 土	レパートリーオーケストラコンサート(前期)	前田ホール	195
24	7/	3/ 土	Summer Musical Showcase vol.16② 1幕	MUSIC POOL CINO	90
25	7/	3/ 土	邦楽演奏会「和のいろは」	シルバーマウンテン1F	38
26	7/	3/ 土	ワールドミュージックコースサマーコンサート	シルバーマウンテン2F	11
27	7/	3/ 土	Summer Musical Showcase vol.16② 2幕	MUSIC POOL CINO	91
28	7/	3/ 土	吹奏楽指導者マスタークラス演奏会	前田ホール	79
29	7/	4/ 日	Summer Musical Showcase vol.16③ 1幕	MUSIC POOL CINO	100
30	7/	4/ 日	Summer Musical Showcase vol.16③ 2幕	MUSIC POOL CINO	103
31	7/	6/ 火	ブルー・タイ ウインド・アンサンブル演奏会	前田ホール	253
32	7/	6/ 火	Summer Stage2021① 第1部 松本梨香ゼミ	ビッグマウス	34
33	7/	6/ 火	Summer Stage2021① 第2部 堀江美都子ゼミ	ビッグマウス	65
34	7/	7/ 水	Summer Stage2021② 第1部 亀井芳子ゼミ	ビッグマウス	61
35	7/	7/ 水	Summer Stage2021② 第2部 石原慎一ゼミ	ビッグマウス	49
36	7/	8/ 木	Summer Stage2021③ 第1部 篠原恵美ゼミ	ビッグマウス	40
37	7/	8/ 木	管弦楽団第80回定期演奏会	前田ホール	258
38	7/	8/ 木	Summer Stage2021③ 第2部 速水けんたろうゼミ	ビッグマウス	63
39	7/	8/ 木	Summer Musical Showcase vol.16④ 1幕	MUSIC POOL CINO	105
40	7/	8/ 木	Summer Musical Showcase vol.16④ 2幕	MUSIC POOL CINO	96
41	7/	9/ 金	Summer Musical Showcase vol.16⑤ 1幕	MUSIC POOL CINO	95
42	7/	9/ 金	Summer Stage2021④ 第1部 石川光太郎ゼミ	ビッグマウス	42
43	7/	9/ 金	Summer Musical Showcase vol.16⑤ 2幕	MUSIC POOL CINO	104
44	7/	9/ 金	Summer Stage2021④ 第2部 宇治川まさなりゼミ	ビッグマウス	63
45	7/	10/ 土	Summer Stage2021⑤ 第1部 1年生選抜アフレコ	ビッグマウス	44
46	7/	10/ 土	Summer Stage2021⑤ 第2部 尾田木美衣ゼミ	ビッグマウス	48
47	7/	10/ 土	Summer Stage2021⑤ 第3部 鈴木勝美ゼミ	ビッグマウス	54
48	7/	10/ 土	洗足ウインド・シンフォニー演奏会	前田ホール	224
49	7/	10/ 土	Natsuon Basement Gig 1	ミューズ	30
50	7/	10/ 土	Summer Musical Showcase vol.16⑥ 1幕	MUSIC POOL CINO	111
51	7/	10/ 土	Summer Musical Showcase vol.16⑥ 2幕	MUSIC POOL CINO	112
52	7/	11/ 日	フレッシュマン・ウインド・アンサンブル演奏会	前田ホール	260
53	7/	11/ 日	Natsuon Basement Gig 2	ミューズ	20
54	7/	12/ 月	アラウンドヌーン・モーツァルト・コンサート	前田ホール	40
55	7/	13/ 火	グリーン・タイ ウインド・アンサンブル演奏会	前田ホール	242
56	7/	14/ 水	電子オルガンによるピアノ協奏曲と管弦楽曲のタベ	前田ホール	79
57	7/	16/ 金	3rd Year Class Revue①	MUSIC POOL CINO	91

No.	日程	演奏会名	会場	観客数
58	7/ 17/ 土	第1回 洗足学園音楽大学打楽器コンクール	前田ホール	39
59	7/ 17/ 土	ジャズコースライブ（前期）①	ビッグマウス	無観客
60	7/ 17/ 土	3rd Year Class Revue②	MUSIC POOL CINO	118
61	7/ 18/ 日	ジャズコースライブ（前期）②	ビッグマウス	無観客
62	7/ 19/ 月	ベーシックオーケストラ2021チャレンジコンサート	前田ホール	240
63	7/ 21/ 水	バレエコース前期公演	前田ホール	222
64	7/ 22/ 木・祝	サクソフォンオーケストラ夏の演奏会	前田ホール	251
65	7/ 30/ 金	ファンファーレオーケストラ第30回定期演奏会	前田ホール	142
66	8/ 30/ 月	作曲コース 録音・録画会 in Summer 2021①	シルバーマウンテン1F	無観客
67	8/ 31/ 火	作曲コース 録音・録画会 in Summer 2021②	シルバーマウンテン1F	無観客
68	9/ 1/ 水	学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル①	前田ホール	83
69	9/ 3/ 金	学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル②	前田ホール	55
70	9/ 5/ 日	オーケストラwithナレーション	前田ホール	114
71	9/ 15/ 水	学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル③	前田ホール	64
72	9/ 17/ 金	学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル④	前田ホール	48
73	9/ 17/ 金	Next Generation	ビッグマウス	30
74	9/ 18/ 土	ダンスコース 第4回 前期公演	前田ホール	276
75	9/ 22/ 水	学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル⑤	前田ホール	57
76	9/ 23/ 木・祝	室内楽セレクション・準セレクションチーム シルバーマウンテンコンサート 2021	シルバーマウンテン1F	36
77	9/ 24/ 金	学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル⑥	前田ホール	79
78	9/ 25/ 土	電子オルガン定期演奏会	ビッグマウス	36
79	10/ 2/ 土	大学院リサイタルシリーズ①	シルバーマウンテン1F,2F	17
80	10/ 2/ 土	大学院リサイタルシリーズ②	シルバーマウンテン1F,2F	10
81	10/ 8/ 金	第17回ミュージカルコース本公演①ブロードウェイミュージカル『COMPANY』	MUSIC POOL CINO	107
82	10/ 9/ 土	SENZOKU DIGITAL MUSIC & ARTS PROJECT 2021	ビッグマウス	無観客
83	10/ 9/ 土	大学院リサイタルシリーズ③	シルバーマウンテン1F,2F	10
84	10/ 9/ 土	大学院リサイタルシリーズ④	シルバーマウンテン1F,2F	23
85	10/ 9/ 土	第17回ミュージカルコース本公演②ブロードウェイミュージカル『COMPANY』	MUSIC POOL CINO	98
86	10/ 10/ 日	第17回ミュージカルコース本公演③ブロードウェイミュージカル『COMPANY』	MUSIC POOL CINO	100
87	10/ 10/ 日	選抜学生によるピアノコンサート	シルバーマウンテン1F	44
88	10/ 10/ 日	大学院コンチェルトのタベ	前田ホール	108
89	10/ 15/ 金	第17回ミュージカルコース本公演④ブロードウェイミュージカル『COMPANY』	MUSIC POOL CINO	102
90	10/ 16/ 土	第17回ミュージカルコース本公演⑤ブロードウェイミュージカル『COMPANY』	MUSIC POOL CINO	100
91	10/ 16/ 土	第7回アドルフサックス国際コンクール最高位入賞記念演奏会	前田ホール	226
92	10/ 16/ 土	第17回ミュージカルコース本公演⑥ブロードウェイミュージカル『COMPANY』	MUSIC POOL CINO	106
93	10/ 23/ 土	ジャズコース定期演奏会	前田ホール	無観客
94	10/ 23/ 土	大学院リサイタルシリーズ⑤	シルバーマウンテン1F,2F	32
95	10/ 24/ 日	Song Writers	ビッグマウス	28
96	10/ 30/ 土	大学院リサイタルシリーズ⑥	シルバーマウンテン1F,2F	7
97	10/ 30/ 土	大学院リサイタルシリーズ⑦	シルバーマウンテン1F,2F	13
98	10/ 31/ 日	ダンスパフォーマンスⅠ①	ビッグマウス	54
99	10/ 31/ 日	ダンスパフォーマンスⅠ②	ビッグマウス	53
100	10/ 31/ 日	大学院管楽器コンチェルト研究演奏会	シルバーマウンテン1F	33
101	10/ 31/ 日	2.5次元音楽劇「はたらく細胞 Senzoku Ver.」	前田ホール	245
102	11/ 1/ 月	ピアノコンチェルトのタベ	前田ホール	81
103	11/ 6/ 土	第42回 打楽器アンサンブル定期演奏会	前田ホール	213
104	11/ 6/ 土	パロックとその周辺の音楽	シルバーマウンテンB1	18
105	11/ 6/ 土	第3回洗足学園音楽大学ピアノコース・学内コンクール決勝	シルバーマウンテン1F	無観客
106	11/ 7/ 日	ブリティッシュプラス第53回定期演奏会	前田ホール	256
107	11/ 7/ 日	大学院コンサートシリーズ・名手と共に「青柳晋氏を迎えて」交流演奏会with東京藝術大学	シルバーマウンテン2F	8
108	11/ 7/ 日	コンテンポラリーダンス・キャラクターダンス パフォーマンス①	ビッグマウス	36
109	11/ 7/ 日	コンテンポラリーダンス・キャラクターダンス パフォーマンス②	ビッグマウス	56
110	11/ 18/ 木	レパートリーオーケストラコンサート(後期)	前田ホール	207
111	11/ 19/ 金	声楽アンサンブル第27回定期演奏会	前田ホール	53
112	11/ 23/ 火・祝	ファンファーレオーケストラ第31回定期演奏会	前田ホール	194
113	11/ 24/ 水	フルートオーケストラ演奏会	前田ホール	106
114	11/ 26/ 金	SENZOKUストリングスオーケストラ演奏会	前田ホール	91
115	11/ 27/ 土	音楽遺産 vol.1	ビッグマウス	44

No.	日程	演奏会名	会場	観客数
116	11/ 27/ 土	邦楽ミュージカル10周年記念公演「恋娘近松合戦！」①	MUSIC POOL CINO	113
117	11/ 28/ 日	洗足ウインド・シンフォニー演奏会	前田ホール	264
118	11/ 28/ 日	音楽遺産 vol.2	ビッグマウス	47
119	11/ 28/ 日	邦楽ミュージカル10周年記念公演「恋娘近松合戦！」②	MUSIC POOL CINO	111
120	11/ 30/ 火	グリーン・タイ ウインド・アンサンブル演奏会	前田ホール	199
121	12/ 1/ 水	打楽器コース パークッションコンサートP	前田ホール	53
122	12/ 2/ 木	管弦楽団第81回定期演奏会	前田ホール	230
123	12/ 3/ 金	フレッシュマン・ウインド・アンサンブル演奏会	前田ホール	234
124	12/ 4/ 土	第17回音楽教育コース定期演奏会 軌跡 ～音がつなぐ物語～	前田ホール	136
125	12/ 4/ 土	音楽遺産 vol.3	ビッグマウス	60
126	12/ 4/ 土	大学院留学生によるコンサート～国際交流コラボライブ～	シルバーマウンテンB1	37
127	12/ 4/ 土	ピアノアンサンブルスペース（ピアノで合同コンサート）	シルバーマウンテン1F	25
128	12/ 5/ 日	音楽遺産 vol.4	ビッグマウス	65
129	12/ 5/ 日	ワールドミュージックコースウィンターコンサート	シルバーマウンテン2F	16
130	12/ 5/ 日	大学院管楽器コースプロフェッショナル研究演奏会	シルバーマウンテン1F	15
131	12/ 5/ 日	自衛隊キャンパスコンサート	前田ホール	157
132	12/ 6/ 月	洗足こども短期大学幼児教育保育科ウインドバンド演奏会	前田ホール	154
133	12/ 7/ 火	ブルー・タイ ウインド・アンサンブル演奏会	前田ホール	223
134	12/ 7/ 火	大学院コンサートシリーズ・名手と共に「ピアノデュオ ドゥオールを迎えて」	シルバーマウンテン1F	48
135	12/ 8/ 水	合唱の祭典	前田ホール	77
136	12/ 9/ 木	電子オルガンによるウィンターコンサート	前田ホール	23
137	12/ 10/ 金	ピアノ・アンサンブル・コンペティション	前田ホール	58
138	12/ 10/ 金	バレエwithナレーション①	ビッグマウス	49
139	12/ 10/ 金	Dance!Dance!!Dance!!!2021①	MUSIC POOL CINO	110
140	12/ 11/ 土	Dance!Dance!!Dance!!!2021②	MUSIC POOL CINO	142
141	12/ 11/ 土	吹奏楽指導者マスタークラス演奏会	前田ホール	112
142	12/ 11/ 土	バレエwithナレーション②	ビッグマウス	39
143	12/ 11/ 土	バレエwithナレーション③	ビッグマウス	36
144	12/ 11/ 土	邦楽冬の演奏会	シルバーマウンテンB1	30
145	12/ 11/ 土	大学院電子オルガン定期演奏会	シルバーマウンテン2F	17
146	12/ 12/ 日	バレエwithナレーション④	ビッグマウス	46
147	12/ 12/ 日	バレエwithナレーション⑤	ビッグマウス	50
148	12/ 14/ 火	オペラ実習 ガラコンサート	前田ホール	111
149	12/ 14/ 火	Winter Theater 2021①第1部	ビッグマウス	38
150	12/ 14/ 火	Winter Theater 2021①第2部	ビッグマウス	61
151	12/ 15/ 水	Winter Theater 2021②第1部	ビッグマウス	62
152	12/ 15/ 水	Winter Theater 2021②第2部	ビッグマウス	63
153	12/ 16/ 木	大学院オペラ・ガラコンサート	前田ホール	92
154	12/ 16/ 木	Winter Theater 2021③第1部	ビッグマウス	31
155	12/ 16/ 木	Winter Theater 2021③第2部	ビッグマウス	65
156	12/ 17/ 金	Winter Theater 2021④第1部	ビッグマウス	46
157	12/ 17/ 金	Winter Theater 2021④第2部	ビッグマウス	59
158	12/ 18/ 土	ダンスコース 第4回 後期公演	前田ホール	242
159	12/ 18/ 土	Winter Theater 2021⑤第1部	ビッグマウス	60
160	12/ 18/ 土	Winter Theater 2021⑤第2部	ビッグマウス	41
161	12/ 18/ 土	Winter Theater 2021⑤第3部	ビッグマウス	52
162	12/ 18/ 土	Scholarship Student Showcase①	MUSIC POOL CINO	75
163	12/ 19/ 日	ベーシックオーケストラ2021クリスマスコンサート	前田ホール	258
164	12/ 19/ 日	サクソフォンオーケストラ冬の演奏会	前田ホール	257
165	12/ 19/ 日	大学院オラトリオ・アンサンブル演奏会	シルバーマウンテン1F	18
166	12/ 19/ 日	Scholarship Student Showcase②	MUSIC POOL CINO	88
167	12/ 20/ 月	2021年度 作曲コース 作品発表演奏会①	前田ホール	64
168	12/ 21/ 火	2021年度 作曲コース 作品発表演奏会②	シルバーマウンテン1F	41
169	12/ 21/ 火	コーラスアンサンブルクラス コンサート	シルバーマウンテン2F	無観客
170	12/ 23/ 木	バレエコース 本公演①(谷クラス)	前田ホール	172
171	12/ 25/ 土	バレエコース 本公演② (グローバルクラス)	前田ホール	183
172	12/ 27/ 月	バレエコース 本公演③ (牧&グローバルクラス)	前田ホール	198
173	1/ 7/ 金	バベットリーディングシアター 『アミアミ人形の冒険』	ビッグマウス	20

No.	日程	演奏会名	会場	観客数
174	1/ 8/ 土	歌曲の祭典	シルバーマウンテン1F	64
175	1/ 8/ 土	Senior Musical Showcase Vol.9①	前田ホール	274
176	1/ 9/ 日	Senior Musical Showcase Vol.9②	前田ホール	279
177	1/ 9/ 日	大学院歌曲の祭典	シルバーマウンテン1F	30
178	1/ 10/ 月・祝	室内楽コンサート Vol.25～弦・管・打・ピアノ 室内楽オーディション合格者による～	前田ホール	87
179	1/ 12/ 水	ポピュラーコンサート	ビッグマウス	31
180	1/ 15/ 土	ジャズコースライブ（後期）	ビッグマウス	無観客
181	1/ 16/ 日	ジャズコースライブ（後期）	ビッグマウス	無観客
182	1/ 17/ 月	大学院研究・修了演奏①	前田ホール	8
183	1/ 18/ 火	大学院研究・修了演奏②	前田ホール	11
184	1/ 19/ 水	大学院研究・修了演奏③	前田ホール	8
185	1/ 20/ 木	大学院研究・修了演奏④	前田ホール	8
186	1/ 20/ 木	HARVEST vol.1	ビッグマウス	40
187	1/ 21/ 金	大学院研究・修了演奏⑤	前田ホール	15
188	1/ 21/ 金	HARVEST vol.2	ビッグマウス	50
189	1/ 22/ 土	HARVEST vol.3	ビッグマウス	30
190	1/ 23/ 日	HARVEST vol.4	ビッグマウス	27
191	1/ 24/ 月	大学院研究・修了演奏⑥	前田ホール	22
192	1/ 25/ 火	大学院研究・修了演奏⑦	前田ホール	7
193	1/ 27/ 木	大学院研究・修了演奏⑧	前田ホール	12
《193公演》観客数合計				16,077

2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン
(答申)

平成 30 年 11 月 26 日

中 央 教 育 審 議 会

＜目次＞

はじめに	1
I. 2040 年の展望と高等教育が目指すべき姿 ー学修者本位の教育への転換ー	3
1. 2040年に必要とされる人材と高等教育の目指すべき姿	3
2. 2040年頃の社会変化の方向	7
3. 2040年を見据えた高等教育と社会の関係	10
II. 教育研究体制 ー多様性と柔軟性の確保ー	14
1. 多様な学生	14
2. 多様な教員	18
3. 多様で柔軟な教育プログラム	20
4. 多様性を受け止める柔軟なガバナンス等	22
5. 大学の多様な「強み」の強化	25
III. 教育の質の保証と情報公表 ー「学び」の質保証の再構築ー	27
IV. 18 歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 ーあらゆる世代が学ぶ「知の基盤」ー	34
1. 高等教育機関への進学者数とそれを踏まえた規模	34
2. 国公私の役割	36
3. 地域における高等教育	39
V. 各高等教育機関の役割等 ー多様な機関による多様な教育の提供ー ..	42
1. 各学校種における特有の検討課題	42
2. 大学院における特有の検討課題	43
VI. 高等教育を支える投資 ーコストの可視化とあらゆるセクターからの支援の拡充ー	46
VII. 今後の検討課題	49
おわりに	50

はじめに

本答申を「2040 年の高等教育のグランドデザイン」と位置付けた主目的は何か。それは、これから大学で学ぼうという高校生、高等学校の前段階にいる子供たち、また、人生 100 年時代を迎えこれからを見据えてもう一度学びたいと考えている社会人、さらに、我が国では非勉強してみたいと思っている留学生、そして現在高等教育機関で学んでいる学生に対し、「我が国の高等教育がこれからどう変化していくのか」を明らかにすることである。

高等教育における教育は、その前段階の教育機関と、修了後に人材が活躍する社会の間に位置付けられている。特に大学は、教育と研究を一体不可分のものとして人材育成と研究活動を行っており、自由な研究の遂行を通じて社会に大きく貢献している。高等教育は、初等中等教育段階と社会との協力と連携の中で更に進化するものである。

さらに、世界的規模の激しい社会的変化の中で、大学は教育と研究の本来的な機能の発揮を通じて、社会の将来的な発展を支え、推進する基盤となるものである。このことは、世界の多くの国々において共通に認識され、それに基づく方策の充実を目指した政策的な努力が様々に行われている。我が国においても、2040 年の高等教育が求められる役割を果たすことができるよう、必要な環境条件の整備に向けた国としての政策的な努力が強く求められる。

我が国の高等教育のミッションは多様である。例えば、「大学」という機関に対し、世界的研究・教育が行われている機関をイメージする場合もあれば、地域の実情を踏まえた人材育成を行っている機関をイメージする場合もある。また、職業に直結する学びを提供している機関をイメージする場合もあれば、芸術や体育などの特定の専門分野に特化した機関をイメージする場合もある。このような多様性こそが、我が国で学んで日本や世界で活躍する人材の厚い層を創出するのであり、その多様性は今後も尊重していくべきものである。また、その中で、学生や教員は流動性をもって、様々な機関でその教育研究活動を行っていくことが望ましい。そのためには、教育研究の仕組みや制度の柔軟性も担保されていかなければならない。

中央教育審議会の高等教育段階に関する答申は、昭和 29 (1954) 年の「医学および歯学の教育に関する答申」以降、42 を数える。その間に、教育内容、質の保証、規模、役割、ガバナンス等について様々な提言がなされてきており、多くの提言の内容については、それに基づいた政策的な取組とも相まって、各高等教育機関で取組が進んでいるが、様々な要因や制約の中で、全ての高等教育機関での取組に至っていないものもある。

今回の答申は、これまでの答申の内容を踏まえた上で、取組が十分でないものについては、改めてその必要性を強調するとともに、2040 年という 22 年先を見据えて、そこから逆算的に考え、必要な提言を行った。提言の中には、速やかに始めなければ間に合わないもの、議論を深めていくことで更に大きな改革につなげるべきもの、また、その改革が終了するまで

一定の期間を要するものがある。特に、改革の具体的な方策については、速やかに始めなければ間に合わない事項を中心に記載しており、この取組をしっかりと進めて成果を出していくことで、その後の社会状況の変化にもしなやかに対応できる高等教育を目指していく。

本審議会では、平成 29 (2017) 年 3 月に「我が国の高等教育に関する将来構想について」の諮問を受けて以降、総会で 4 回、大学分科会で 12 回、将来構想部会で 30 回、制度・教育改革ワーキンググループで 20 回、大学院部会で 8 回にわたって審議を重ねてきた。その成果として取りまとめた本答申は、これからの高等教育改革の指針として位置付けられるべきものと考えており、その実現すべき方向性は以下のとおりである。

- ・ 高等教育機関がその多様なミッションに基づき、学修者が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学修の成果を学修者が実感できる教育を行っていること。このための多様で柔軟な教育研究体制が各高等教育機関に準備され、このような教育が行われていることを確認できる質の保証の在り方へ転換されていくこと。
- ・ 18 歳人口は、2040 年には、88 万人に減少し、現在の 7 割程度の規模となる推計が出されていることを前提に、各機関における教育の質の維持向上という観点からの規模の適正化を図った上で、社会人及び留学生の受入れ拡大が図られていくこと。
- ・ 地域の高等教育の規模を考える上でも、地域における高等教育のグランドデザインが議論される場が常時あり、各地域における高等教育が、**地域のニーズに応えるという観点からも充実し、それぞれの高等教育機関の強みや特色を活かした連携や統合が行われていくこと。**

これらが実現することで、高等教育が全ての学修者の「学び」の意欲を満たすと同時に、引き続き社会を支える重要な基盤となり、高等教育改革が全ての関係者の意見や思いを酌み取り、協力と支援を得ながら、進められていくことを期待している。

ーズに応えていくことは高等教育の役割の一つである。他方、新興国が成長し先進諸国間でも国際競争が激しくなる中で、論文数や論文の引用状況から見た日本の地位は相対的に低下傾向にあり、日本の存在感が薄れてきている。大学の研究力を引き上げるとともに、先端的な研究を推進することにより、イノベーションを創出していくことが重要である。

また、高等教育機関における学術研究は、専門化・細分化された分野の中だけで収まらない学際的・学融合的な研究が進められるようになっていく。知識や技術の全てを個人や一つの組織で生み出すことが困難な時代になっており、新たな知識や価値の創出に多様な専門性を持つ人材が結集し、チームとして活動することの重要性がますます高まっている。学術研究の成果もまた、社会に還元することを通じて、社会からの評価と支援を得るという好循環を形成していくことが必要である。

なお、一概に研究といっても、その成果は多方面にわたる。科学技術との関連や、政策形成への貢献といった直接的な関係性の強いものだけではなく、例えば、社会発展や世界平和への貢献の基礎となる知見の集積や、個人の生活や内省につながる知的探求等は、本来、大学が担うべき重要な社会的な機能である。

（産業界との協力・連携）

新卒一括採用や年功序列などのこれまでの雇用慣行を見直す動きが見え始めている中、これらの動きは、高等教育の変化の大きな後押しになる。通年採用導入による、ポテンシャル採用からジョブ型採用への転換や、大学教育の質と学修成果を活用した採用活動の拡大などは、産業界が取り組んでいくべき課題である。労働集約型経済から知識集約型経済への転換を真剣に考えていく際に、高等教育と産業界等との協力関係は欠かせない。経済・社会の発展をもたらす高等教育の在り方について、人材を育成する側と人材を活用する側で議論と理解を深めていく必要がある。

その際、今後更に重要性の増すリカレント教育については、知識の最新化や新たな知識を学ぶことのみならず、多様な学生が相互に学び合うことを実現するために、産業界の雇用の在り方、働き方改革と、**高等教育が提供する学びのマッチングが必要不可欠である。また、大学内外の資源を有効活用していくことは重要**であり、ガバナンスにおいても、教育研究を充実する際にも、**学外の協力を得ていくための産業界等との協力関係、連携関係を充実していく必要がある。**

さらに、大学と社会の接続を考える際には、学修者が自らを社会の一員として自覚し、自らの学びの社会的意味を理解し、学修の質を向上させる機会としての「インターンシップ」の充実等が求められる。また、学修者が複数の大学間や企業間、大学と企業の間などを行き来しながら、時間をかけて複線型にキャリアを形成していくことが可能となるためには、大

学と産業界共に今まで以上に流動性を高めていくことが重要である。これらの観点から、海外などで見られる大学での学修と企業での勤務を両立させるような学び方を検討することも必要¹⁴である。

（地域との連携）

「個人の価値観を尊重する生活環境を提供できる社会」とは、各人が望む地域で、自らの価値観を大切に生活していくことができる社会であり、地域に住む人自らがその環境を維持し、その価値を創造していくものである。

人口減少下においてそのような社会を実現するためには、地方の産業における生産性の向上、高付加価値化のみならず、公共交通や教育機関、医療機関の提供、労働力の確保等、地域全体の維持・発展が必要である。そのいずれにおいても、高等教育が果たす役割は重要であり、知的な蓄積のある教員の存在や人材の育成、教育研究成果を活用した産学連携等により、地域の教育・医療・インフラ・防災・産業等を支えている。

また、高等教育機関、特に大学の自発的な研究機能は、教育機能とともに、地方創生にとって極めて重要な役割を担っている。それぞれの地域の社会、経済、文化の活性化のリソースや、特色・誇りの源泉であるとともに、地元産業や新規の企業立地における好条件となり、更には地域における国際交流の推進、国際化への対応への直接的な拠点ともなる。

なお、特にリカレント教育においては、介護福祉や保育等、地域特有のニーズも数多く存在し、地方公共団体と高等教育機関が、十分に連携して進める必要がある。

¹⁴ 英国では、主に 18～19 歳の若者が企業で働きながら学位を取得できる制度(ディグリー・アプレンティスシップ=Degree Apprenticeships)を 60 以上の大学が企業と共同で設計し、目的意識を持って主体的に学ぶ学生を育成している。本制度は、2015 年より現英国政権の重点施策となっており、学費の 3 分の 2 は政府が補助し、残りの 3 分の 1 は企業が拠出する。

複数の高等教育機関、産業界、地方公共団体との恒常的な連携体制の構築

- 地域における高等教育のグランドデザインの策定をはじめ、地域の高等教育に積極的に関わるという観点から、複数の高等教育機関と地方公共団体、産業界等とが恒常的に連携を行うための体制として「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築を進めるとともに、「地域連携プラットフォーム（仮称）」において議論すべき事項等について、国による「ガイドライン」を策定する。

学外理事の登用促進

- 広報、寄附金等の外部資金獲得、地域貢献など、学外理事に期待する役割を明確化した上で、それに則した人材として、学外理事を少なくとも複数名置くことを求める。そのために必要な制度整備等を行う。

5. 大学の多様な「強み」の強化

「将来像答申」では、大学が有する七つの機能²³を示し、各々の大学は、自らの選択に基づき、これらの機能の一部分を併有し、保有する幾つかの機能の間の比重の置き方の違いに基づいて、緩やかに機能別に分化していくという将来像を描いた。

「将来像答申」で提示した機能別分化の考え方は、大学の多様性を踏まえたものであり、これからも維持していくべきものと考ええる。一方で、各大学においては、「将来像答申」以降の社会全体の急速な変化や 18 歳人口の減少を踏まえるとともに、将来の更なる変化を見据え、大学が選択する機能と、その比重の置き方について改めて見直すことにより、自らの強みや特色を意識した上で、将来の発展の方向性を考えていくことが重要である。

ただし、「学術の中心」²⁴である大学は、現時点の「強み」の維持・強化にとどまることなく、不断の大学改革により、新たな「強み」を持続的に生み出していくとともに、次代の社会を牽引するような新たな価値を創造することが期待されている。

その際、**大学として「強み」や「特色」を明確にした上で、それらを伸ばしていくために、**「4. 多様性を受け止めるガバナンス等」でも記載した、大学間の連携・統合を進めていくことも一つの方策である。

機能の選択と比重の置き方を考えるに際して、人材養成の観点から各機能を分かりやすく集約し、大学として中軸となる「強み」や「特色」をより明確にしていくことも考えられる。その際、以下の観点は各大学の基本的な機能の例を示したものであり、そこに各大学がどの

²³ 大学が併有する各種の機能の例

1. 世界的研究・教育拠点、2. 高度専門職業人養成、3. 幅広い職業人養成、4. 総合的教養教育、5. 特定の専門的分野（芸術、体育等）の教育・研究、6. 地域の生涯学習機会の拠点、7. 社会貢献機能（地域貢献、産学官連携、国際交流等）

²⁴ 「第83条第1項 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。」（学校教育法（昭和22年法律第26号））

るためには、質を向上させるための切磋琢磨は必要であるが、国内外で機関ごとにただ「競争」するのではなく、課題解決等に協力して当てるための人的、物的資源の共有化による「共創」「協創」という考え方により比重を置いていく必要がある。特に、我が国のような課題先進国の高等教育機関が世界的課題解決に貢献することは重要であり、この貢献が各国との安定的な関係の構築にも資するという意識を持つことが必要である。

（高等教育が目指すべき姿）

基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用でき、ジレンマを克服することも含めたコミュニケーション能力を持ち、自律的に責任ある行動をとれる人材を養成していくためには、高等教育が「個々人の可能性を最大限に伸長する教育」に転換し、次のような変化を伴うものとなることが期待される。

- ・ 「何を教えたか」から、「何を学び、身に付けることができたのか」への転換が必要となる。
- ・ 「何を学び、身に付けることができたのか」という点に着目し、教育課程の編成においては、学位を与える課程全体としてのカリキュラム全体の構成や、学修者の知的習熟過程等を考慮し、単に個々の教員が教えたい内容ではなく、学修者自らが学んで身に付けたことを社会に対し説明し納得が得られる体系的な内容となるよう構成することが必要となる。
- ・ 学生や教員の時間と場所の制約を受けにくい教育研究環境へのニーズに対応するとともに、生涯学び続ける力や主体性を涵養するため、大規模教室での授業ではなく、少人数のアクティブ・ラーニングや情報通信技術（ICT）を活用した新たな手法の導入が必要となる。
- ・ 学修の評価についても、学年ごとの期末試験での評価で、学生が一斉に進級・卒業・修了するという学年主義的・形式的なシステムではなく、個々人の学修の達成状況がより可視化されることが必要となる。
- ・ 「何を学び、身に付けることができたのか」という認識が社会的に共有されれば、社会の進展に伴い更に必要となった知識や技能を身に付けるべく生涯学び続ける体系への移行が進み、中等教育に続いて入学する高等教育機関での学びの期間を越えた、リカレント教育の仕組みがより重要となる。

予測不可能な時代にあって、高等教育は、学修者が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献していくため、学修者にとっての「知の共通基盤」となる。このような視点に立ち、「何を学び、身に付けることができるの

か」を中軸に据えた多様性と柔軟性を持った高等教育への転換を引き続き図っていく必要がある⁷。

また、個々の教員の教育手法や研究を中心にシステムが構築されるのではなく、学修者の「主体的な学び」の質を高めるシステムを構築していくためには、高等教育機関内のガバナンスも組織や教員を中心とするのではなく、学内外の資源を共有化し、連携を進め、学修者にとっての高等教育機関としての在り方に転換していく必要がある。

これらの点については各学校種や課程の段階に応じて、学修者を中心に据えた教育の在り方をそれぞれ検討すべきである。

加えて、一つの機関での固定化された学びではなく、学修者が生涯学び続けられるための多様で柔軟な仕組みと流動性を高める方策が必要である。

2. 2040 年頃の社会変化の方向

現在、国連をはじめ、様々な立場から、将来社会の予測や、あるべき社会の実現に向けての議論と努力が始まっている。その幾つかの議論を整理すると、2040 年の社会変化の方向の一端は、以下のように示すことができる。

(SDGs が目指す社会)

国連が提唱する持続可能な開発のための目標(SDGs)は、「誰一人として取り残さない(leave no one behind)」という考え方の下、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受できる社会を目指している。このような目標に基づく行動により、

- ・ 全ての人の人権が尊重され、平等に、潜在能力を発揮でき豊かで充実した生活を送れるようになること、
- ・ 自然と調和する経済、社会、技術の進展が確保されていること、公正で、恐怖と暴力のない、インクルーシブ(包摂的)な世界を実現し、平和を希求すること、
- ・ 貧困と飢餓を終わらせ、ジェンダー平等を達成し、全ての人に教育、水と衛生、健康的な生活が保障されていること、
- ・ 責任ある消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通して、地球の環境が守られていること、

が実現されることが目標とされている。

⁷ 「学士課程教育の構築に向けて」(中央教育審議会答申 平成 20 年 12 月 24 日)、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」(中央教育審議会答申 平成 24 年 8 月 28 日)

■http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm

■http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm

洗足学園音楽大学社会連携・社会貢献ポリシー

改正 令和3年5月6日

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学社会連携・社会貢献ポリシーその他必要な事項について定める。

(社会連携の推進)

第2条 音楽の探究による主体的な学びの実践を尊重し、社会連携を適切かつ効果的に推進すること。

2 社会連携は、高い透明性、公平性、公正性をもって取り組み、十分な説明責任を果たすこと。

(行政・地域団体・企業との連携)

第3条 演奏会等を通じた地域との交流や教育研究成果の提供により、社会貢献を実施すること。

2 音楽活動、研究活動により、地方自治体の政策形成への関与を更に推進すること。

3 地域社会の活性化と発展の担い手となる豊かな人間性と実行力を兼ね備え自立した人材を育成すること。

(国際社会との連携・協力)

第4条 アメリカ、EU、アジア等への海外研修並びに一流指導者、演奏家、指揮者の招聘を推進すること。

2 海外提携大学における相互交流を拡大し、新たな海外の大学との提携を図り、学生のみならず、教員間の交流を図ること。

3 国際社会の活性化と発展の担い手となる世界の様々な地域、民族、時代の音楽を理解し、幅広い視野を持った人材を育成すること。

(事務の所管)

第5条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

附則

1 この規程は、平成26年6月12日から施行する。

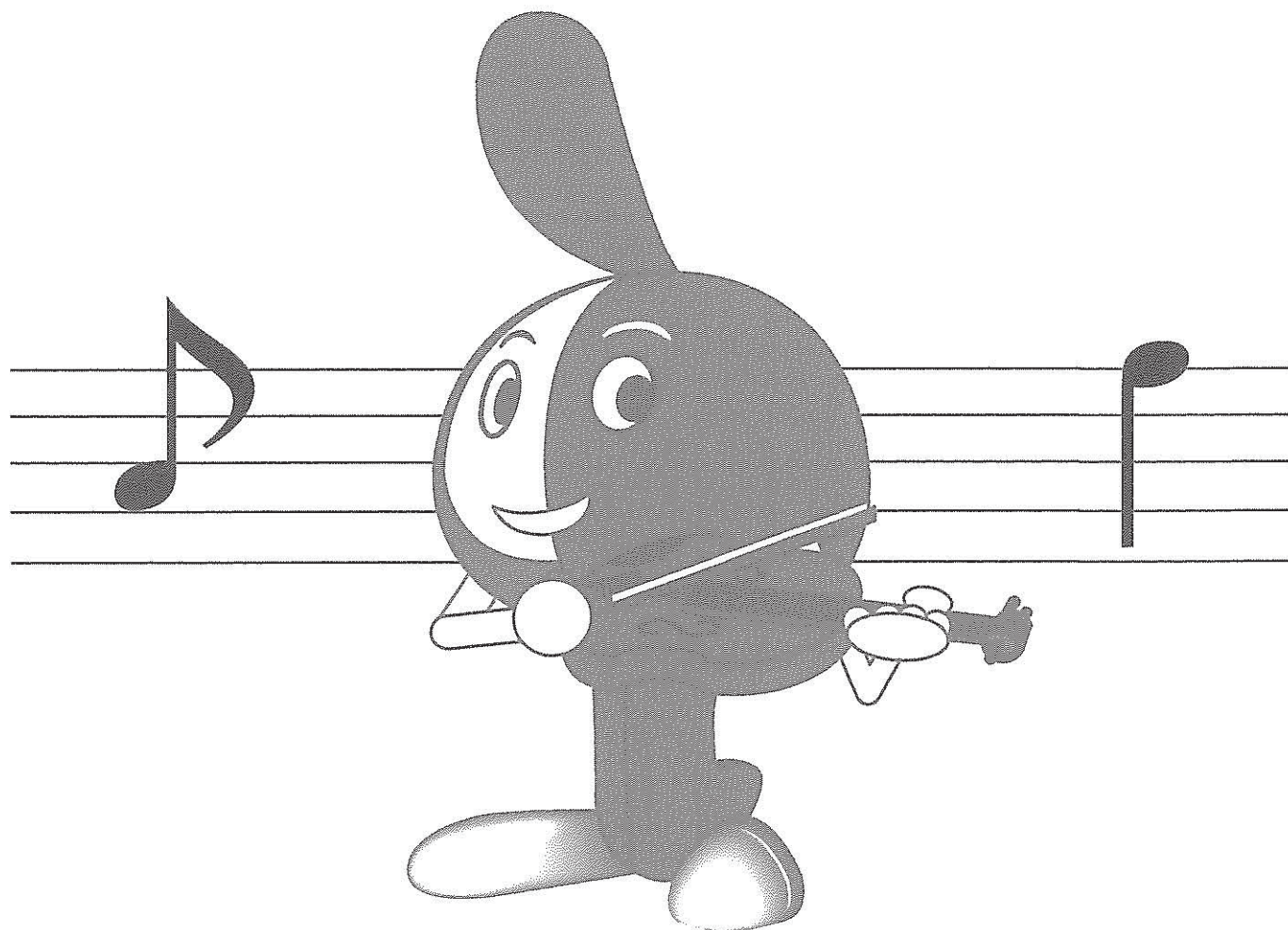
2 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

3 この規程の改正は、令和3年4月1日から施行する。

4 この規程の改正は、令和3年5月6日から施行する。

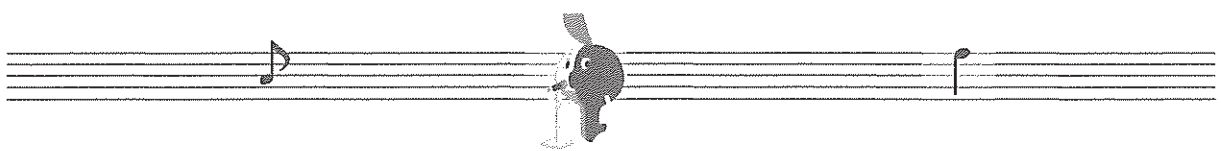
2021年度第1回
「音楽のまち・かわさき」推進協議会
理 事 会

議 案 書



2021年5月

音楽のまち  かわさき



議案第 1 号

2020年度 事業報告（案）

「音楽のまち・かわさき」推進協議会の基本目標である、市民・行政・学校・企業が協働して音楽を中心とした多様な市民の多彩な文化、芸術活動の創造を通じて、活力とうるおいのある地域社会づくりをめざして取り組みました。

2020年度は、4月と年明けに緊急事態宣言が発出され、音楽イベントの中止や延期が相次ぐ中で、音楽活動の再開支援や「音楽のまち・かわさき」のイメージアップ向上を図るため効果的な広報・情報発信を展開しました。さらに、感染対策を行いながら、民間主体の音楽イベント等との連携・協力を進め、人材育成及び活動の場の確保に取り組みました。

I 人材育成、調査及び交流の場づくり事業

市内の音楽人材・資源を積極的に活用しながら、「音楽のまち・かわさき」をさらに広める取組として、音楽大生、ストリートミュージシャンなど音楽にかかわる人材の育成、交流機会の提供、音楽公演や音楽活動に関する情報提供や関連産業の振興・創出などさまざまな事業を行いました。

1 市内音楽資源の活用

市内で実施されるイベント等に参加し、音楽大生や中高生、ストリートミュージシャンなど音楽にかかわる人材、資源が活かせる環境整備に取り組みました。また、音楽公演や音楽活動に関する情報提供などもさまざまな媒体を通じて積極的に進める事業を展開しました。

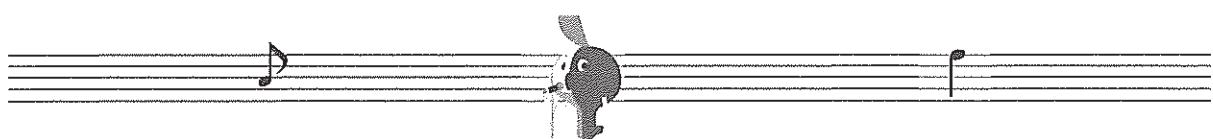
■さまざまな音楽関連のイベントの実施、協力・後援（詳細は、Ⅲに記載）

2 市内音楽大学等との連携

市内音楽大学等と連携・協力しながら、学生・生徒の演奏機会の拡大や音楽イベントの充実を図り、さまざまなステージで多くの市民に音楽を楽しんでいただける機会を提供しました。

■主なイベント

出演/放映日	学校・出演者	イベント/番組名
11月5日	洗足学園音楽大学 ミュージカルコース、音楽環境創造コース MUSIC POOL CINO（ミュージカル専用劇場）に潜入	t v k「猫のひたいほどワイド」音楽のまち・かわさきコーナーVTR



2月4日 (中止)	昭和音楽大学 音楽学部・短期大学部ジャズ/ポピュラーコース卒業ライブに潜入 ※感染対策のため、授業が休講となりロケ中止	t v k「猫のひたいほどワイド」音楽のまち・かわさきコーナーVTR
3月27日	<Let's! Swing!!> ♪大西学園中高等学校吹奏楽部	みぞのくちライブ

3 音楽人材・施設の情報発信

音楽の分野で川崎市に関係、ゆかりのある人や団体など、市内の音楽人材等に関する情報を収集し、提供する「アーティスト検索サイト」の運営を行いました。このサイトを通じて、登録したアーティストのさまざまなイベント等への出演機会の拡充につながよう取り組みました。また、市内で音楽練習や公演ができる施設をHPで紹介しました。

■登録数：163の個人・団体、87施設（いずれも2021年3月31日現在）

4 おんまち・みぞのくちライブの開催

ノクティプラザとの連携により、武蔵溝ノ口駅前「ノクティプラザ2（マルイ）」で開催し、このライブを通じ若手のアーティストや音大生、生徒などに演奏機会を提供するとともに、まちの活性化にも寄与しました。

2020年度は、ノクティプラザの感染対策方針により、施設内の催事開催期間が限定されたため、2回の開催となりましたが、屋上広場をステージとして管弦楽団、中・高等学校音楽系部活の生徒による演奏を開催しました。

■開催日時：（通常）毎月第3土曜日 14：00～16：30

■会場：（通常）ノクティプラザ2（マルイ）2階入り口前

実施日	出演
11月7日	♪神奈川フィルハーモニー管弦楽団 金管五重奏 ※感染対策のため、ノクティプラザ2 屋上広場にて開催
3月27日	<Let's! Swing!!> ♪大西学園中高等学校吹奏楽部 ※感染対策のため、ノクティプラザ2 屋上広場にて開催

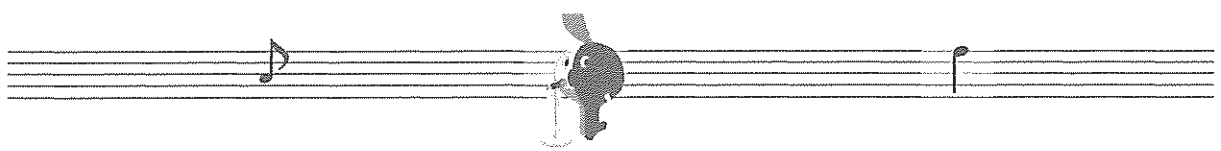
5 フレルさぎ沼 おんまちライブの開催（中止）

東急田園都市線鷺沼駅前の商業施設・フレールさぎ沼との連携により、月に1回定期的にライブイベントを開催し、アーティストなどに演奏機会を提供するとともに、商業地域での音楽のまちづくりの発信と鷺沼駅周辺の活性化への寄与を目指すイベントです。

2020年度は、フレールさぎ沼の感染対策方針により、2020年度内は全催事を中止とする事となり、当イベントも中止となりました。

■日時：（通常）毎月第4水曜日 17：00～19：30

■会場：フレールさぎ沼1階入口横イベントスペース



6 「ミュートン チャンネル」(YouTube) の配信

PCやスマートフォン、タブレットを使ってより多くの人が音楽を楽しめるように、動画配信サイト「YouTube」を活用して市内の音楽イベントやコンサートの様子を配信しました。

■配信実績：16件（2020年4月1日～2021年3月31日）

7 事業調査

感染拡大防止の観点から他都市視察の代替として、文化芸術を通じた社会包摂や積極的な社会福祉政策としての文化芸術の事例（岐阜県可児市）等の文献調査を行いました。

8 ボランティアの育成及び活動支援

感染症拡大防止における事業活動のガイドラインに基づき、従来より縮小した形態でボランティアを運営しました。ボランティアの参加者は、出演アーティストの写真撮影や、公演会場での消毒、来場者の検温等を行いました。なお、活動日程の調整や連絡に使用するインターネットサイト「おんまち交流広場」には69名(2020年3月31日現在)の登録があります。

■ボランティア活動実績

- ・平和公園コンサート：活動日1日、参加者数1人
- ・おんまち・みそのくちライブ：活動日2日、参加者数のべ2人
- ・かわさきジャズ2021：活動日6日、参加者数のべ37人

9 「音楽のまち・かわさき」交流会（中止・変更）

協議会活動に協力をいただいた様々な分野の方々との交流の場を設け、情報や意見の交換を以下のとおり開催する予定でしたが、感染拡大防止のため中止となりました。

（中止）

■日時：2020年10月10日（土） ■会場：ソリッドスクエアホール（幸区）

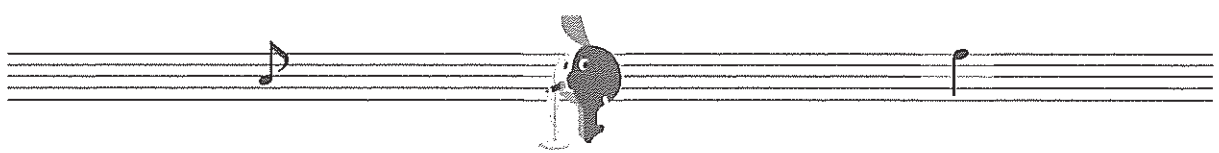
■参加：協議会役員及び協議会発足時から協力いただいている市民団体、音楽大学、企業、音楽家、音楽活動団体、行政機関の関係者

2年連続で交流会が中止となり、また、様々な音楽イベントも中止・延期され、交流の機会が少なくなる状況で、音楽活動を再開し、再び「音楽のまち」を盛り上げていくため、関係者のメッセージや近況を情報共有するDVDを制作しました。

■メッセージ募集：8月（メッセージ数：78通） ■DVD発送：10月15日

10 若手アーティスト交流会の開催（中止）

市内で活動している若手アーティストが川崎発のアーティストとしてさらに活躍できる機会を創出するため、音楽事業関係者、メディア関係者、地元事業者等との交流会を開催支援してきましたが、2020年度は感染拡大防止のため、実施しないこととなりました。



Ⅱ 情報発信事業

市民や多くの音楽ファンに向けて、音楽関連の身近なイベント情報を発信するための情報紙「カワサキ ミュージック プチ マガジン」をはじめ、テレビ番組、インターネットホームページ、SNS等のさまざまな媒体により、市内で行われる音楽に関するイベントや洗足学園音楽大学、昭和音楽大学、ミューザ川崎シンフォニーホールで開催される演奏会、さらに音楽人材・活動等に関する情報提供に取り組みました。

1 音楽情報紙「Kawasaki Music プチ Magazine」の発行

市内で行われる音楽に関するイベント、活動、公演のほか、関連事業等を掲載する音楽情報紙「カワサキ ミュージック プチ マガジン」を定期的に発行し、市内のさまざまな施設を通じて多くの市民の皆さんへ情報提供を行いました。また、イベントカレンダーホームページ版では、時期・場所・公演ジャンルによる効果的な検索が可能となっています。

■仕様：A4判、6ページ又は8ページ/カラー刷、3万部発行

■配付場所：公共機関、大学、駅、金融機関、郵便局、病院、ホテル、美容室等

■発行実績／掲載イベント数

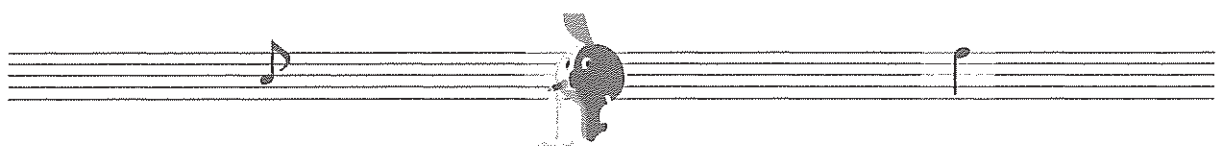
5・6月号（5月10日発行）	72件
7・8月号（7月10日発行）	78件
9・10月号（9月10日発行）	94件
11・12月号（11月10日発行）	92件
1・2月号（1月10日発行）	82件
3・4月号（3月10日発行）	99件
合計	517件

2 音楽情報テレビ・ラジオ番組等の制作・放送

t v kの番組とCM、かわさきFMの番組放送を通じて、市内で開催される演奏会、ライブ、公演など音楽に関するタイムリーな情報提供や、若手アーティストなど音楽活動を行っている人・団体等を広く紹介することでアーティストの人材育成への寄与、さらに「音楽のまち・かわさき」のイメージアップに取り組みました。

(1) t v k（テレビ神奈川）番組「猫のひたいほどワイド」音楽のまち・かわさきコーナーの放映

月1回10分程度のVTRコーナーでは音楽イベントや音楽関連産業を紹介し、これらを楽しく、魅力的に発信しました。そして1分程度のインフォーマーシャルコーナーでは音楽イベントの見所や魅力を紹介し、幅広く市内のイベント、活動の紹介、支援を行いました。また、年6回、さまざまな音楽活動を続けるミュージシャンをゲストに迎え、スタジオからの生演奏により紹介し、人材育成と活動の情報発信をしました。



- 番組：「猫のひたいほどワイド」 コーナー 毎週木曜日
- 放送：2020年5月14日～2021年3月25日
- 放送実績：42回 ※感染状況により3回分を来年度に順延

(2) t v k CM「音楽のまち・かわさき」のスポット放送

カワサキストリートミュージックバトルグランプリに輝いたアーティストの楽曲を起用したCMの制作・放映により、「音楽のまち・かわさき」の事業PRとイメージアップを行いました。

- 放送：2020年4月1日～2021年3月31日
- 放送実績：423回

(3) かわさきFMの放送

かわさきFMの各番組を通じて、市内で開催される音楽関連イベント等タイムリーな情報をリスナーへ提供しました。

2020年度は、かわさきFMの感染対策方針により、各番組内容による判断で、休止とする回が発生しました。休止となった回の放送料は減額されています。

- 番組：「ミュートンタイム」毎月第1・3火曜日（約20分）

市内で開催される音楽イベントや活躍している音楽人、楽曲を紹介しました。

放送：2020年4月7日～2021年3月16日

放送実績：24回

- 「ミュートンパーク」毎月第3月曜日（30分）

川崎市に關係する様々な分野でご活躍中の方に出演していただき、音楽や川崎の話題を紹介しました。

放送：2020年6月15日～2021年3月15日

放送実績：10回 ※感染対策のため4月、5月は休止

- 「ミュートンキャンパス」毎月第1月曜日（30分）

市内小中高学校の音楽系部活動の顧問の先生に出演していただき、指導内容などを紹介し、部活動で音楽に携わっている児童生徒の育成支援、保護者等への情報提供を行いました。

放送：2020年4月5日～2021年3月1日

放送実績：11回 ※感染対策のため5月は休止

3 インターネットホームページによる情報提供

(1) 情報提供

即時性、双方向性を有するインターネットホームページを活用し、市民に身近な地域の音楽イベント等各種活動の情報収集・提供を行いました。

- 音楽のまち・かわさきホームページ掲載内容

- ①市内音楽イベント案内
- ②イベントリポート
- ③アーティスト検索サイト



- ④ライブ情報、音楽仲間探しなどの情報掲示板
- ⑤市内の音楽施設情報
- ⑥音楽情報マガジン
- ⑦WEB版「ミュージックマガジン」
- ⑧ミュートンの部屋
- ⑨「ミュートンチャンネル」
- ⑩「ミュートンチャンネル+（プラス）」
- ⑪親子向け「ドレミファ♪ミュートン」
- ⑫音楽ショップ「かわさきのオケイコ」
- ⑬「かわさきの音楽ショップ」など

■掲載イベント情報数：1, 103件（2020年4月1日～2021年3月31日）

(2) ホームページアクセシビリティの向上

「川崎市ホームページアクセシビリティ対応基準書」に基づき、画像に代替となるテキスト（alt 属性）を指定する機能を追加し、文字の色と背景色において基準のコントラスト比を確保しました。

4 SNSやメールマガジンによる情報発信

SNSやメールマガジンを活用した登録者向け音楽イベント等の情報発信を推進しました。

(1) SNSによる情報提供

Twitter、Instagram、Facebookにより、簡便でリアルタイムな方法で「音楽のまち・かわさき」の情報を発信しました。

Twitter：件数224件（2020年4月1日～2021年3月31日）

ツイート3, 433件、フォロワー1, 120人

（2021年3月31日現在の累計数）

Instagram：投稿70件（2020年4月1日～2021年3月31日）

フォロワー275人（2021年3月31日現在の累計数）

Facebook：フォロワー137人（2021年3月31日現在の累計数）

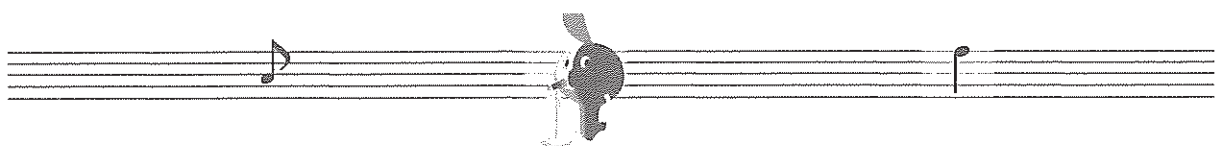
(2) メールマガジンによる情報提供

事務局からのお知らせ、新着ニュース、市内のイベント案内などの情報を毎週火曜日に配信しました。

メールマガジン：52号（＃750～＃801） 登録者数 約1, 549人

5 人気キャラクター「ミュートン」による広報活動

市内で開催されるイベントや配信動画への「ミュートン」の出演や、イベント会場での感染予防を呼びかけるポスターの提供など、市内外に向けた「ミュートン」キャラクターの発信により「音楽のまち・かわさき」のPR、イメージアップの推進に取り組みました。



■着ぐるみ・操り人形「ミュートン」のイベント・動画参加によるPR活動実績：5回

■感染予防ポスターの使用実績：市内45施設に配布のほか、使用申込10件

6 ミュートングッズやCD等のネットショップによるPR

「ミュートン」のグッズや、CDアルバム「好きですかわさき」と「カラフルかわさき」の販売促進に取り組み、「音楽のまち・かわさき」を発信しました。

既存商品で在庫が少なくなった付箋をリニューアルし販売しました。また、ミュートンのLINEスタンプを製作・販売し、「親子・子どもへの音楽普及事業」におけるスタンプラリーの景品としても活用しました。その他、市文化財団が主催する「Colors かわさき2020 展」で発表されたオリジナリティあふれる絵画のイラストと、「ミュートン」のイラストを同時に使用した、親子でおそろいで着用できる「親子マスク ミュートン&しまうま」を3月より販売しました。

■実績：付箋45個、LINEスタンプ245個

既存商品 Tシャツ40枚、トートバッグ111個 他

■委託販売先：10か所（かわさききたテラス、川崎市民プラザほか）

7 親子・子どもへの音楽普及（新規）

川崎市内の子ども及びその保護者に、今まで以上に音楽に興味を持ってもらい、音楽体験のきっかけとなる情報を、時代に合った様々な媒体・機会を通じて提供するとともに、スタンプラリー等を実施しました。

■実績：情報パンフレット「ドレミファ♪ミュートン」配布 6,300部

LINEによるイベント情報発信数 23件

親子・子ども向け動画制作・配信 11件

8 コロナ禍における文化芸術活動支援（新規）

新型コロナウイルスの感染拡大防止と市内音楽活動との両立を図るため、音楽活動・団体の支援や音楽普及につながる情報発信等を行いました。

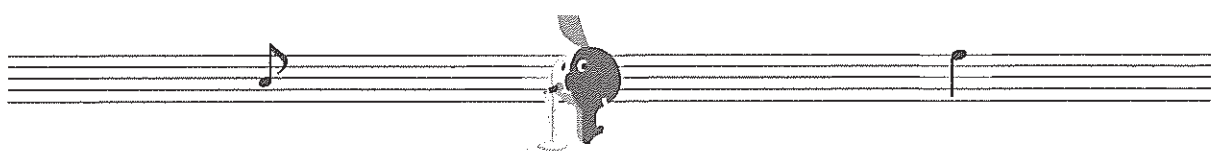
■実績：音楽イベント開催における感染予防対策のノウハウを動画発信

川崎市・文化庁・神奈川県などの助成金の情報発信

東京交響楽団への寄付募集案内

ミュートン感染予防対策ポスターの作成・配布

市内音楽演奏ができる貸施設の提供（市民館の一部貸館停止への対応）



Ⅲ 共催等事業

1 音楽のまち・かわさき アジア交流音楽祭2020（中止）

多くのアジア系市民が住む川崎市の特性をいかし、「川崎市民にとどまらず、広くアジアの市民が音楽を通して交流するまちづくり」を目指し、アジア各国の民俗音楽・舞踊や川崎を拠点として活動するミュージシャンによる「音楽のまち・かわさき アジア交流音楽祭2020」を4月25日（土）・26日（日）に川崎駅周辺一帯で開催する予定でしたが、感染拡大防止のため中止となりました。

2 かわさきジャズ2020

「ジャズは橋を架ける」をキャッチフレーズに、ジャズを通じて出会いと交流の機会を創出するジャズフェスティバルとして開催した、公演や公募ライブなどの運営に協力しました。

なお、地域連携プログラムのひとつ、地元プレイヤーによるフリーライブ「溝ジャズDay」については、感染拡大防止のため、実施しないこととなりました。

3 交流の響き2020 in かわさき

神奈川新聞社をはじめ、全国の新聞社主催の音楽コンクールで優秀な成績を収めた入賞者がミューザ川崎シンフォニーホールに集い、素晴らしい演奏を披露し、交流し、互いに学びあい、技術や感性の更なる向上によって音楽文化の発展に寄与することを目的とした「交流の響き2020 in かわさき」の開催に協力し、「音楽のまち・かわさき」を全国に向けて発信しました。

■日程：2020年9月26日（土）

■会場：ミューザ川崎シンフォニーホール

■出場者：群馬、千葉、神奈川、新潟、長野、広島、高知、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄の新聞社主催「音楽コンクール」入賞者11名とミューザ川崎シンフォニーホールのオルガン講座優秀受講生

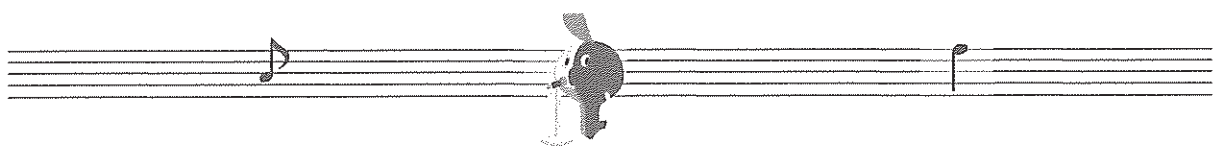
4 カワサキ・ストリート・ミュージック・バトル10

ストリートで活動する若手ミュージシャンが一年間を通じて競い、グランプリを決定するコンテスト「ストリート・ミュージック・バトル10」FINALSTAGE（2020年3月の開催延期分）を開催しました。

■日程：2021年3月6日（土）

■会場：サンピアンかわさき

■出演者：6組（グランプリ：濡、準グランプリ：AMARI）



5 水曜ナイトライブ In LAZONA（新規）

商業施設ラゾーナ内のルーフ広場において、官民が連携した音楽ライブ等を開催することで、川崎駅西口における音楽等を通じた交流や賑わいづくりに取り組みました。

■日程：10/14、10/28、11/11、11/25、3/24、3/31（いずれも水曜日）

■時間：午後6時～8時

■出演数：累計 23 組

6 他の音楽イベント等への後援・協力

■川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2020

■川崎市・英国シェフィールド市友好都市提携30周年記念コンサート

■ボレロ 少年の祭典2020

■あさお芸術のまちコンサート

■第31回高津区民音楽祭

■さいわいハナミズキコンサート

■第10回たま音楽祭

■川崎吹奏楽団 第49回定期演奏会

■川崎市民プラザ BIG BAND NIGHT

■なかはらミュージカル第9回公演

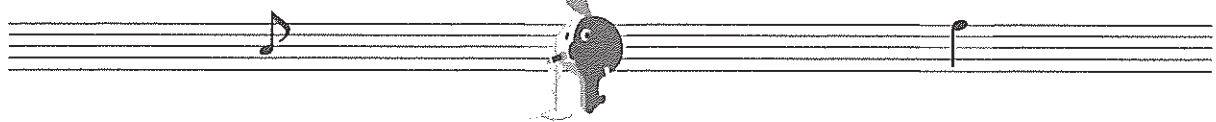
■いさご通り街角ミュージック

■銀座街バスカーライブ

■ランチタイムコンサート（ミューザ川崎シンフォニーホール、各区役所）

■平和公園コンサート

その他各種イベント



処務の概要

1 理事会

■第1回理事会：2020年6月4日（木）【書面開催】

- ・当初予定議案を三役会に一任

当初予定議案算

- ・2019年度事業報告
- ・2019年度収支決算報告
- ・監査報告

三役会（持ち回り）で理事会から委任された事項について決議

■第2回理事会：2021年3月31日（水）【書面開催】

- ・当初予定議案を三役会に一任

当初予定議案

- ・2021年度役員体制
- ・2021年度事業計画
- ・2021年度収支予算

三役会（持ち回り）で理事会から委任された事項について決議

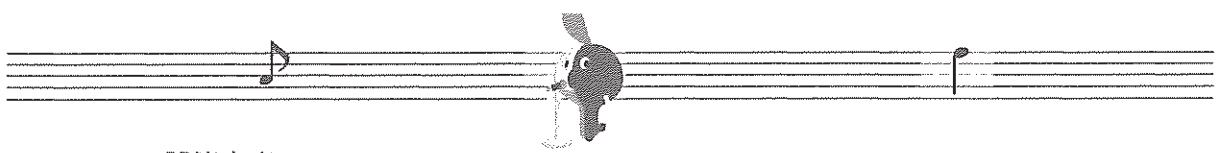
2 会計監査（2020年度分）

■日時：2021年4月30日（金）

3 運営委員会

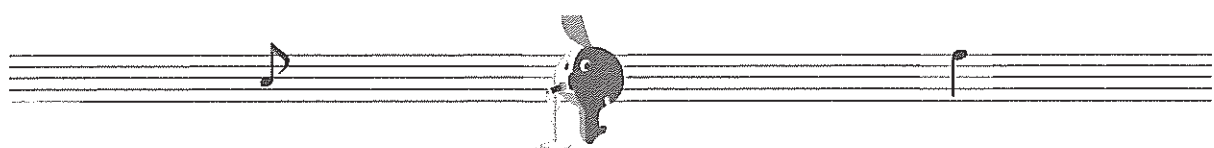
■運営委員（2021年4月1日現在）

高野 映子	副会長／合唱団「アニモKAWASAKI」代表
松尾 祐孝	洗足学園音楽大学教授
吉武 雅子	洗足学園音楽大学教授
石坂 久仁明	洗足学園音楽大学・洗足こども短期大学演奏支援センター センター長
長谷川 正樹	洗足学園音楽大学・大学院 教学センター 課長
香月 菜麻	昭和音楽大学 昭和音楽大学短期大学部 演奏センター講座企画・運営室 課長代理
若井 悠樹	(株)チッタ エンタテイメント広報宣伝部エンタテイメント課
市川 順	川崎商工会議所企画広報部広報課長
玉村 裕之	tvk 営業局次長兼営業推進室長兼営業推進部長兼事業推進部長



■開催内容

開催日	内容
4月 (書面)	2019年度第2回理事会の結果について 2020年度第1回理事会について 新型コロナウイルス感染症の発生を受けた取組等について 他
7月22日	決算理事会の結果について 新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について 交流会の中止とメッセージDVD企画について 他
10月5日	新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について 交流メッセージDVDについて 子どもに音楽の普及を図る取組について 他
12月2日	新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について 子どもに音楽の普及を図る取組について 音楽イベントボランティアについて 他
2月16日 (書面)	2021年度事業計画案について 新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について KAWASAKI STREET MUSIC BATTLE について アジア交流音楽祭について 「Colors かわさき 2020 展」との連携について 他

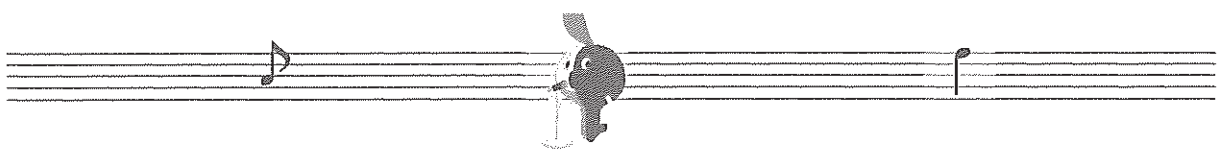


参考資料

実績等

「ミュートンチャンネル」(YouTube) の配信

回	撮影日	イベント名	場所
1	6月21日	平和公園コンサート(本編)	川崎市中原平和公園
2	6月21日	平和公園コンサート (コロナ対策とインタビュー集)	川崎市中原平和公園
3	10月19日	カワサキハロウィン 2020 by おんまち x MUZA x かわジャズ	ミューザ川崎シンフォニーホール
4	10月20日	カワサキハロウィン 2020 (おんまち編)	川崎市文化財団会議室
5	12月3日	ドレミファミユートン かわさき・まちなか「音楽みつけ隊」	川崎市内数か所
6	1月15日	「音楽のまち・かわさき」CM2020 年度 バージョン	ミューザ川崎シンフォニーホール
7	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「おおきなたいこ」ホップ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
8	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「おおきなたいこ」ステップ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
9	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「おおきなたいこ」ジャンプ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
10	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「こどりのうた」ホップ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
11	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「こどりのうた」ステップ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
12	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「こどりのうた」ジャンプ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
13	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「ふしぎなポケット」ホップ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
14	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「ふしぎなポケット」ステップ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
15	1月28日	親子でエンジョイミュージック 「ふしぎなポケット」ジャンプ!	川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール
16	3月22日	3年3組こくばん先生の 「作詞・作曲ワークショップ」	小黑恵子童謡記念館



ホームページ掲載イベント情報数

月	情報数	月	情報数
4月	70	10月	98
5月	111	11月	112
6月	120	12月	88
7月	115	1月	66
8月	69	2月	83
9月	92	3月	79
		総計	1,103

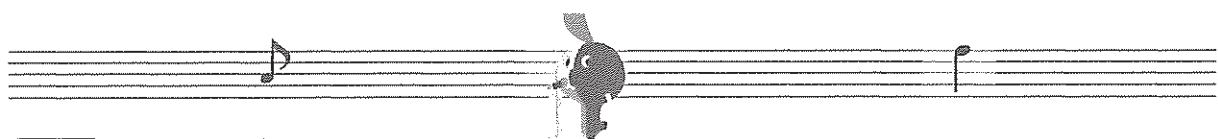
Twitter 「ミュートン【公式】」

月	ツイート数	月	ツイート数
4月	14	10月	31
5月	24	11月	9
6月	17	12月	19
7月	16	1月	14
8月	17	2月	19
9月	17	3月	27
		総計	224

参考：2021年3月31日現在の累計数：ツイート合計 3,433/フォロワー数 1,120

tvk「猫のひたいほどワイド」

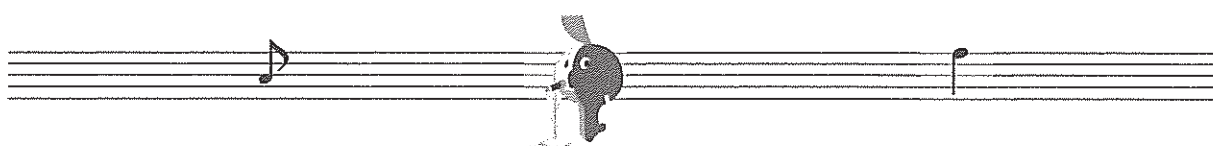
回	放送日	テーマ（イベント実施日もしくは所属団体）
1	5月14日	伊藤さくら（カワサキストリート音楽団）生演奏
2	5月21日	協議会 HP リニューアル、ミュートンチャンネル+
3	5月28日	協議会 HP かわさきのオケイコ、音楽ショップ 掲載情報募集
4	6月4日	岡本太郎美術館バシェ生誕100周年（6/2～7/12）
5	6月11日	東京交響楽団 無観客・生配信コンサート告知（6/23）
6	6月18日	アルテリッカしんゆり 2020 チケット販売開始
7	6月25日	フェスタサマーミュージア KAWASAKI2020（7/23～8/10）
8	7月2日	東京交響楽団 無観客・生配信コンサート取材
9	8月3日	かわさきジャズアカデミー受講者・公募ライブ出演者募集
10	8月6日	川崎市菓子協議会 ミュートンシールでの寄付事業紹介
11	8月13日	交流の響き 橘和美優さん（ヴァイオリン大学2年生）
12	8月20日	ミュートン LINE スタンプ・感染拡大防止ポスター
13	8月27日	渡辺貞夫オーケストラ（9/29）
14	9月3日	チッタエンタテインメント（はいさい FESTA、LIVE ZOUND、ROCK ウォール）
15	9月10日	かわさきジャズ 2020 ラインナップ紹介
16	9月14日	川崎・しんゆり芸術祭アート講座 2020
17	9月17日	かわさきジャズ 2020CM 紹介
18	9月24日	ホテルメトロポリタン川崎 FRIDAY NIGHT LIVE
19	10月1日	ボーイズレビューユニット 10carats
20	10月8日	水曜ナイトライブ in LAZONA（10/14, 28）
21	10月15日	かわさきジャズ 2020 荒井伝太 生演奏
22	10月19日	溝ノ口劇場 Premium Concert（10/13）、グランドピアノ
23	10月22日	プラザの森コンサート（11/1）
24	10月29日	第144回あさお芸術のまちコンサート（11/15）
25	11月4日	おんまち・みぞのくちライブ（11/7）
26	11月5日	洗足学園音楽大学ミュージカル専用劇場 MUSIC POOL CINO
27	11月12日	MUZA ジルベスターコンサート（12/31）
28	11月19日	Showa ミュージック・カフェ 2020 昭和音楽大学同僚会奨学金対象者によるコンサート（11/23）
29	11月26日	東京交響楽団 新春お年玉コンサート（1/6）
30	12月3日	オペラシアターこんにゃく座
31	12月10日	川崎ウィンズ ウィンターコンサート（1/10）
32	12月14日	第15回ザハートフルコンサート大西学園中高等学校吹奏楽部演奏会（1/9）
33	12月17日	クララ・ベルリンガーズ 生演奏
34	1月21日	第10回記念たま音楽祭（2/6, 7）
35	1月28日	川崎市・東京交響楽団マッチングコンサート市民招待



36	2月18日	カワサキストリートミュージックバトル 10 ファイナル (3/6)
37	2月25日	川崎市子ども夢パーク
38	3月4日	坂本九生誕80周年記念事業ビデオ
39	3月11日	水曜ナイトライブ in LAZONA (3/24, 31)
40	3月18日	桜井純恵さんと児童合唱団なかよしくらぶ 生演奏
41	3月22日	親子マスク ミュートン&しまうま
42	3月25日	アルテリッカしんゆり 2021 チケット販売開始

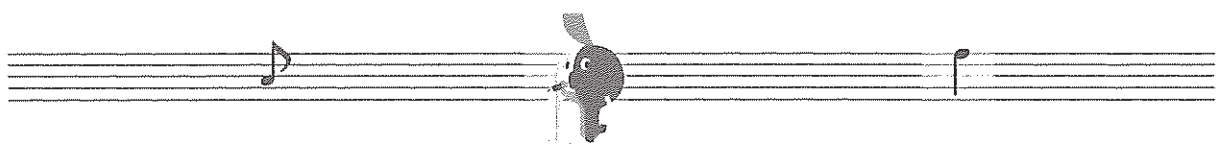
t v k CM「音楽のまち・かわさき」のスポット放送

4月	1日～30日	2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編	38
		2018KSMB グランプリ the tote 編	
5月	1日～31日	2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編	34
		2018KSMB グランプリ the tote 編	
6月	1日～30日	2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編	34
		2018KSMB グランプリ the tote 編	
7月	1日～31日	2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編	32
		2018KSMB グランプリ the tote 編	
8月	1日～31日	2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編	36
		2018KSMB グランプリ the tote 編	
9月	1日～30日	2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編	35
		2018KSMB グランプリ the tote 編	
10月	1日～31日	かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編	37
12月	1日～31日	かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編	35
1月	1日～31日	かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編	33
2月	1日～29日	かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編	38
3月	1日～31日	かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編	36
			合計 423 回



かわさきFM「かわさきミュートンタイム」◆第1・3火曜/17:20~MC 宮下敏子

回	放送日	内 容
1	4月7日	協議会 2020 年度の活動紹介(HP リニューアル、音楽スクール情報募集等)
2	4月21日	ピックアップアーティスト 給食当番
3	5月5日	ピックアップアーティスト ギタリスト 永瀬晋
4	5月19日	ピックアップアーティスト ジャムスタンマジック ボーカル erico
5	6月2日	洗足オンラインスクール
6	6月16日	川崎市&東京交響楽団 Live from MUZA!~マッチングギフトコンサート~
7	7月7日	ピーナッツ・プラス・クインテット第4回定期演奏会
8	7月21日	リモートコラボ動画「花火~音楽のまち・かわさき 2020~」
9	8月4日	音友レコード倶楽部 レコードコンサート
10	8月18日	オペラシアターこんにゃく座 活動紹介・寄付募集
11	9月1日	歌うブギウギピアニスト (かわさきジャズ 2020) 荒井伝太
12	9月15日	昭和音楽大学「オペラ公演 2020 《ドン・ジョヴァンニ》」
13	10月2日	麻生フィルハーモニー管弦楽団 第71回定期演奏会
14	10月20日	川崎マンドリン倶楽部
15	11月3日	かわさきミュージックチャレンジ みんなでチャレンジコンサート
16	11月17日	ファンタジー・フルート 第8回東日本チャリティコンサート
17	12月1日	かわさき子どもの権利フォーラム「ちがいが豊かさとして響きあう」
18	12月15日	カルッツかわさき ウィズ・ミューズシリーズ
19	1月5日	モーツァルトの音楽を楽しむ会
20	1月19日	ピックアップアーティスト (銀座街バスカーライブ) SENA
21	2月2日	カワサキストリートミュージックバトル 10 Final
22	2月16日	ピックアップアーティスト yucat
23	3月2日	魅惑の音楽紀行「小川典子ピアノ・リサイタル」
24	3月16日	アルテリッカしんゆり 2021 ベイビーミニシアターフェスティバル



かわさきFM「ミュートンパーク」◆第3月曜/17:20~17:50 MC 協議会 北島/石河内

回	放送日	ゲスト
1	4月20日	休止
2	5月18日	休止
3	6月15日	岡本太郎美術館 学芸課長 大杉浩司さん
4	7月20日	S'NEXT (ハイエンドイヤホン販売) 森圭太郎さん
5	8月17日	ホテルメトロポリタン川崎 総支配人 金田文典さん
6	9月21日	NECレッドロケッツ (女子バレーボールチーム) キャプテン 山内美咲さん
7	10月19日	コメイヴァイオリン工房 米井伸夫 さん
8	11月16日	NPO 法人 カワサキミュージックキャスト 理事長 反町充宏 さん
9	12月21日	京急川崎駅 駅長 大久保 謙二 さん
10	1月18日	協同組合 川崎中小業者総合センター 理事長 柳沢芳信 さん
11	2月15日	カワスイ 川崎水族館 副館長 小川 泰史 さん
12	3月15日	ボレロを楽しむ会 事務局長 山本 雄 さん

かわさきFM「ミュートンキャンパス」◆第1月曜/17:20~17:50 MC 協議会 北島/石河内

回	放送日	ゲスト
1	4月6日	法政大学第二中・高等学校 合唱部 顧問 新井英樹先生
2	5月4日	休止
3	6月1日	ゲストなし 合唱コンクール 楽曲特集
4	7月6日	川崎の歌姫 ソプラノ歌手 桜井純恵さん (児童合唱団指導)
5	8月3日	カリタス小学校 音楽教諭 城恵美子先生
6	9月7日	3年3組 こくばん先生 (川崎市教職員 プロミュージシャン)
7	10月5日	川崎市立川崎高等学校附属中学校 吹奏楽部 顧問 大野由希子先生
8	11月2日	神奈川県立新城高等学校 合唱部 顧問 楠 裕先生
9	12月7日	神奈川県立百合丘高等学校 ダンス部 顧問 蓑毛なつみ先生
10	1月4日	川崎市立富士見台小学校 富士見台小学校合唱団 指導 真下陽子先生
11	2月1日	川崎市立玉川中学校 吹奏楽部 顧問 石淵 隆生先生
12	3月1日	洗足学園中学高等学校 弦楽合奏部 顧問 本田 拓也先生

ミュートン行動実績

回	日時	イベント名	会場
1	7月13日	ラゾーナ川崎プラザ エアー盆踊り (動画)	ミューザ川崎シンフォニーホール 歓喜の広場
2	11月14日	In Unity (動画)	等々力陸上競技場
3	12月16日	NPO 応援動画	かわさき市民活動センター
4	2月6日	第10回たま音楽祭 PR 動画	多摩区役所内会議室
5	3月6日	カワサキストリートミュージックバトル 10 Final	サンピアンかわさき

2020年度年度収支決算

1 収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日

科 目	予算額 (ア)	決算額 (ウ)	差異 (アーウ)	備 考
I 収入の部				
1 事業収入	556,000	261,420	294,580	グッズ販売収入のみ ※交流会開催中止のため会費収入なし
2 補助金収入	20,704,000	19,257,560	1,446,440	川崎市補助金 (1,446,440円戻入) ※アジア交流音楽祭中止による戻入 1,431,370円を含む
3 雑収入	150,000	323,133	-173,133	預金利子、寄付金、 かわさきジャズボランティア運営補助費
当期収入合計 (A)	21,410,000	19,842,113	1,567,887	
II 支出の部				
1 事業費	21,410,000	19,842,113	1,567,887	
人材育成等事業費	4,146,000	2,880,134	1,265,866	動画配信 イベント運営、ボランティ ア関係
調査・研究事業費	50,000	3,190	46,810	他都市事例調査
交流の場づくり事業費	880,000	390,721	489,279	「音楽のまち・かわさき」交流DVD
紙媒体による情報発信事業費	2,800,000	2,791,438	8,562	イベント情報紙発行
放送媒体による情報発信事業費	9,992,000	9,944,904	47,096	テレビ定時番組・スポットCM、 FMレギュラー番組
通信媒体による情報発信事業費	1,500,000	1,791,703	-291,703	ホームページ 一部改修 保守管理
その他の情報発信	2,042,000	2,040,023	1,977	情報発信PR活動・PR用グッズ製作 子 ども向け音楽普及
2 予備費	0	0	0	
当期支出合計 (B)	21,410,000	19,842,113	1,567,887	
当期支出差額 (A) - (B) = (C)	0	0	0	
次期繰越支出差額 (C)	0	0	0	

2 貸借対照表（財産目録）

2021年3月31日 現在

（単位＝円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
(1)現金預金			
普通預金(JAセレサ川崎支店)	2,238,855		
普通預金(川崎信用金庫本店営業部)	1,986,647		
現金	32,593		
未収入金	0		
流動資産合計		4,258,095	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,258,095
II 負債の部			
1 流動負債			
(1)未払金	2,811,655		
(2)返還金	1,446,440		
(3)預かり金	0		
流動負債合計		4,258,095	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			4,258,095
III 正味財産の部			
正味財産			0
負債及び正味財産合計			4,258,095

監 査 報 告 書

「音楽のまち・かわさき」推進協議会規約第28条の規定に基づき、
2020年度の業務及び会計の状況について監査したところ、適正
妥当に処理されていることを認めます。

2021年 4月 30日

「音楽のまち・かわさき」推進協議会
会 長 伊 藤 雅 俊 様

監 事 小 泉 知 寛 
監 事 鈴 木 賢 二 

2021年度「音楽のまち・かわさき」推進協議会 役員

役職名	氏 名	所属団体・役職
会 長	伊 藤 雅 俊	味の素株式会社取締役会長
副 会 長	万 代 晋 也	洗足学園音楽大学学長
副 会 長	下八川 共祐	昭和音楽大学理事長
副 会 長	高 野 映 子	合唱団「アニモKAWASAKI」代表
副 会 長	土 岐 一 利	株式会社チッタエンタテイメント取締役
会 計	原 修 一	J Aセレサ川崎代表理事組合長
理 事	大 野 順 二	公益財団法人東京交響楽団専務理事・楽団長
理 事	土 肥 実 久	川崎市アマチュアオーケストラ連盟代表
理 事	小長井 大資	神奈川県職場・一般吹奏楽連盟理事長
理 事	鶴 田 孝	川崎吹奏楽団団長
理 事	赤 津 武 雄	高津 J A Z Z 協会会長
理 事	原 信 一	京浜楽器株式会社代表取締役社長
理 事	中村 布佐子	川崎市総合文化団体連絡会理事
理 事	藤吉 誠一郎	川崎労働者福祉協議会会長
理 事	中 村 拓 紀	川崎市合唱連盟会長
理 事	小 倉 敬 子	公益財団法人かわさき市民活動センター理事長
理 事	多 田 昭 彦	公益財団法人川崎市文化財団理事長
理 事	三 浦 淳	公益財団法人川崎市産業振興財団理事長
理 事	橋 本 夏 代	かわさき市民放送株式会社代表取締役社長
理 事	天 願 大 介	日本映画大学学長
理 事	中島 小百合	神奈川新聞社読者コミュニケーション局地域連携事業部長
理 事	嶋 田 充 郎	テレビ神奈川取締役 編成・報道担当編成局長
理 事	加 藤 順 一	川崎市副市長
監 事	小 泉 知 寛	川崎信用金庫専務理事
監 事	鈴 木 賢 二	川崎商工会議所専務理事

ジュニア音楽リーダー育成事業 実施報告書

実施概要

- 名称 …… ジュニア音楽リーダー育成事業
- 実施内容 …… 本学学生、卒業生による楽器指導
- 開催日時 …… 2021 年 6 月 27 日(日)
- 主催 …… 川崎市教育委員会
- 開催時間 …… 13:00~16:00
- 参加者 …… 川崎市立中学校 吹奏楽部員
- 開催場所 …… アンサンブルシティ 1~6 階
- 1~2 年生

実施結果

① 中学校別 参加人数

	臨港	川崎	南河原	宮崎	菅生	中野島	全体
参加人数(人)	24	19	12	42	13	21	131

② 参加楽器パート、人数内訳

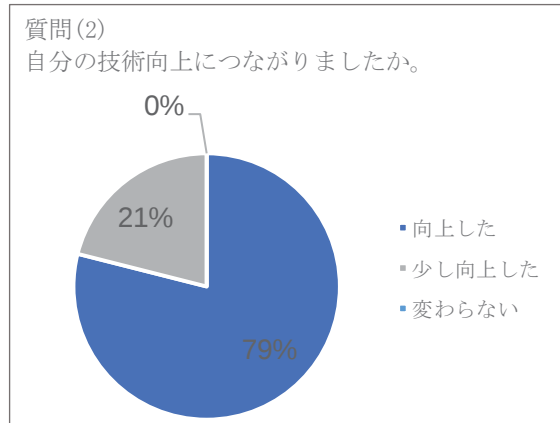
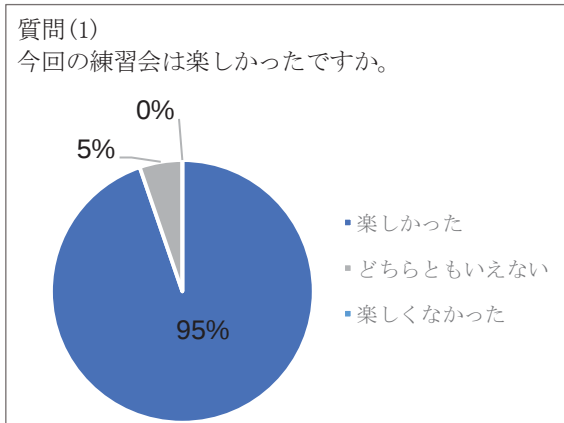
6月27日（日）		フルート	クラリネット	オーボエ	ファゴット	サクソス	ホルン	トランペット	トロンボーン	ユーフォニウム	チューバス	ストリング・ベース	打楽器
学校名	合計												
臨港	24	3	5	0	0	5	2	2	0	1	1	2	3
川崎	19	1	4	0	0	3	2	2	2	1	1	1	2
南河原	12	2	1	0	0	2	1	1	1	1	1	0	2
宮崎	42	4	7	1	1	5	4	6	5	1	1	1	6
菅生	13	1	2	0	0	2	2	0	2	0	1	1	2
中野島	21	2	4	0	0	2	1	2	2	1	1	1	5
合計	131	13	23	1	1	19	12	13	12	5	6	6	20

③ 参加者アンケート

(1) 回答件数・回答率

	臨港	川崎	南河原	宮崎	菅生	中野島	全体
回収件数(件)	17	15	10	28	9	18	97
回収率(%)	71	79	83	67	69	86	74

(2) 回答比率



(3) 参加者アンケート・講師アンケート 記載内容

■講師アンケートより コメント抜粋

- ・初めての指導で、イメージしたりプランをたてたりしたが、スムーズにはいかない事もあると学んだ。
- ・コロナウイルスの影響で部活動が充実していないことを痛感した。
- ・自分が普段意識していることを言葉にして伝えるのは難しいと感じた。
- ・指導を通して、自分の中でおろそかになっていることに気づくことができた。
- ・中学校などでは、同じ楽器に先輩がおらず、自己流になってしまう生徒が多いので、楽器の組み立てやメンテナンスなどをきちんと習う機会があつてとても良いと思う。
- ・1年生と2年生で吹けるレベルが大きく違い、内容を考えるのが難しかった。
- ・教育実習について最近まで行っていたので、中学生への対応は理解していたはずだが、学校の雰囲気にも差があり難しかった。
- ・普段、自分では考えないことについても考え直すことができた。
- ・継続的に指導しているわけではない生徒に、一人一人に合った教え方をすることは本当に難しいが、大切なことだと痛感した。
- ・中学生の、演奏においての反応の速さ、改善の速さに驚いた。
- ・ペース配分や休憩のタイミングまで気が行き届かなかったことが反省点です。
- ・学校ごとのスタイルを尊重しつつ、指導のバランスがとることが難しかった。
- ・指導をして「生徒の音が変わる」ことの意味が分かった経験だった。

■参加中学生アンケートより コメント抜粋

- ・先生のお手本やアドバイスがわかりやすかった。特に、基礎練習がどのようなことに繋がるのかがわかりやすかった。
- ・高音が出るようになってうれしかった。フルートだけでアンサンブルができたことがとても楽しかった。
- ・立ち方や座り方、体の向きまで細かい所も教えてくれた。今のうちにどのようなことをやっておいの方が知れたので、もっと頑張りたい。
- ・先生が、ひとりひとりにやさしくしてくれたことが印象に残っています。
- ・たくさん学ぶことがあつて、練習会に行つてよかったなと思った。
- ・色々な資料がもらえて、わかりやすかった。
- ・上半身の脱力や足の位置まで教えていただきタメになった。
- ・私たちと同じ目線で丁寧に答えてくれてすごくうれしかった。休憩時間や自己紹介が楽しかった。
- ・楽しく音楽を学べた。
- ・基礎の練習をしっかりとできて良かった。練習メニューを固めていただけて、普段の練習にも生かすことができるので本当にありがたかった。
- ・今まで先輩の音しか聞いたことが無かったけど、先生の音を聞くことができて勉強になった。
- ・先生がいろんな曲を弾いてくれてすごいしカッコいいなと思った。
- ・見たことのない楽器を見て、叩けてうれしかった。

④ 楽器指導 講師一覧

楽器名	学年	人数	講師
フルート	1	5	中村 愛美
	2	8	山田 希宝
クラリネット	1	4	原田 優
	2	7	杉田 愛美
	2	8	福井 桜希
バスクラリネット	1・2	5	矢ヶ崎 貴史
オーボエ	2	1	奥野 彩
ファゴット	2	1	大坂智子
アルトサックス	1・2	7	三橋 正長
テナーサックス	1・2	7	加福 夏子
バリトンサックス	1・2	5	重井 拓人

楽器名	学年	人数	講師
ホルン	1・2	6	小秋元 歩
	1・2	6	渡辺悠紀
トランペット	1	3	磯野 沙弥香
	2	6	池谷 彰恩
	2	7	居石 まどか
トロンボーン (バストロンボーン含む)	1	4	鵜飼 杏
	2	4	望月 稜香
	2	5	森 秀人
ユーフォニウム	1・2	5	谷田 果奈美
チューバ	1・2	7	鹿田 一斗
ストリング・ベース	1・2	6	小泉 聡一郎
打楽器	1・2	11	森 奈那子
	1・2	9	北野 佑芽

⑤ 記録写真

■テナーサックス



■アルトサックス



■バリトンサックス



■フルート



■トランペット



■トロンボーン



■コントラバス



■打楽器



ジュニア音楽リーダー育成事業 実施報告書

実施概要

- 名称 …… ジュニア音楽リーダー育成事業
- 実施内容 …… 本学学生、卒業生による楽器指導
- 開催日時 …… 2021 年 10 月 31 日(日)
- 主催 …… 川崎市教育委員会
- 開催時間 …… 13:00～16:00
- 参加者 …… 川崎市立中学校 吹奏楽部員
- 開催場所 …… アンサンブルシティ 1～6 階
- 1～2 年生

実施結果

① 中学校別 参加人数

	南大師	富士見	宮内	有馬	全体
参加人数(人)	19	25	25	44	113

② 参加楽器パート、人数内訳

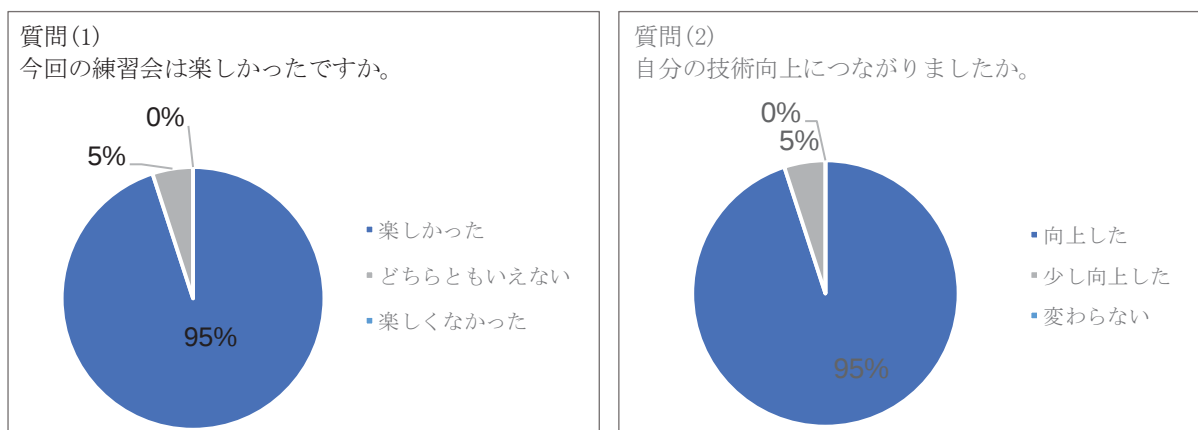
学校名	合計	フルート	クラリネット	オーボエ	サックス	ホルン	トランペット	トロンボーン	ユーフォニウム	チューバ	コントラバス	打楽器
南大師	19	2	0	0	4	2	3	2	1	2	0	3
富士見	25	2	5	0	3	2	4	2	1	2	1	3
宮内	25	3	4	0	2	2	3	2	1	2	1	5
有馬	44	3	9	2	8	5	3	4	1	2	1	6
合計	113	10	18	2	17	11	13	10	4	8	3	17

③ 参加者アンケート

(1) 回収件数・回答率

	南大師	富士見	宮内	有馬	全体
回収件数(件)	3	5	7	5	20
回収率(%)	15.7	20	28	11.3	17.6

(2) 回答比率



(3) アンケート記載内容

■ 講師アンケートより コメント抜粋

- ・ 中学生の前で、意識して吹くことが自分の基礎練習にもなった。
- ・ 私たちも「先生」と呼ばれる以上、ふさわしい演奏をできるように頑張る。
- ・ 自分の伝え方、教え方次第で生徒の皆さんの音が変わっていくのがとても楽しいと感じた。
- ・ 教えることで自分のレベルアップにもつながるので、次回以降も参加したい。
- ・ 中学生に指導したのは初めてだったので、勉強になった。
- ・ 資料や教材は多めにしておく方が良いと学んだ。
- ・ 音大が講習会を開くのは、生徒にとっても音大生にとっても良い活動だと感じた。
- ・ 休憩をうまく設けることで、集中して受講してくれる様子が見られたので、時間の使い方も大事だと気づいた。
- ・ 前回(6月)の反省を生かして今回の講習に臨むことができた。
- ・ 言葉の使い方、言い回しを気に掛けることが大事だと気づいた。

■ 参加中学生アンケートより コメント抜粋

- ・ 思っていたタンギングと違ったので驚いた。良いことを教えてもらって良かった。
- ・ 専門の人に今まで教えてもらったことがなかったので、息の吸い方などが間違っていた。これから基礎練習に取り入れたい。
- ・ 正しいアンブシュアを知ることができた。ヴィブラートのやり方を知れたので、これから曲をやるときに活かしていきたい。
- ・ 一つ一つの質問に丁寧に対応してくれてうれしかった。他校がやっている基礎練習が興味深かった。貴重な体験をありがとうございました。
- ・ 同じパート、学年の人の演奏が見られたことが印象に残った。
- ・ 実際に吹いてくださった音がとてもきれいで、このような音を出したいなと思いました。
- ・ もう少し演奏を聞きたかった。
- ・ 先生との会話も楽しく、ワクワクしながら学ぶことができた。
- ・ 先生のおなかを触らせてもらい、呼吸がよくわかった。
- ・ 自分で気づけないことに気づけた。
- ・ 正しいお手入れの仕方や、リードを長持ちさせる方法を知りたい。
- ・ 最後の質問まで丁寧に教えてくれた。

④ 楽器指導 講師一覧

楽器	学年	人数	講師名
フルート	1年	5	中村 愛美
	2年	5	山田 希宝
クラリネット	1年	10	原田 優
	2年	5	齋藤 遥
バス・クラリネット	1・2年	3	平野 佳太
オーボエ	1・2年	2	奥野 彩
アルト・サクソ	1・2年	9	今川 萌
テナー・サクソ	1・2年	4	加福 夏子
バリトン・サクソ	1・2年	4	重井 拓人

楽器	学年	人数	講師名
ホルン	1年	7	小秋元 歩
	2年	4	山口 亜希菜
トランペット	1年	7	磯野 沙弥香
	2年	6	溝口 大輔
トロンボーン	1年	6	岩井 心
	2年	4	櫻井 美湖
ユーフォニウム	1・2年	4	石倉 雄太
チューバ	1・2年	8	石田 健悟
ストリング・ベース	1・2年	3	小泉 聡一郎
打楽器	1年	8	森 奈那子
	2年	9	田代 万莉子

3 川市文第 8 9 4 号
令和 4 年 1 月 2 1 日

文部科学大臣 末松 信介 様

川崎市長 福田 紀彦



洗足学園音楽大学の収容定員増加について（副申）

初春の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市の文教行政に対し、格別の御理解、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本市では、「川崎市文化芸術振興条例」及び「第 2 期川崎市文化芸術振興計画」に基づき、文化芸術を活かしたまちづくりを推進しております。

市内では、音楽、演劇、美術、舞踊、伝統芸能、その他様々な分野の文化芸術活動が行われており、とりわけ音楽については、平成 1 6 年に開館した音楽ホール「ミューザ川崎シンフォニーホール」を核として、音楽を活かしたまちづくりを重要な施策として推進してきており、その施策推進のために欠くことのできない重要な役割を洗足学園音楽大学は担ってきております。

同大学は、音楽によるまちづくりの推進役として平成 1 6 年に設立された「音楽のまち・かわさき」推進協議会の一員として、積極的に文化振興事業に参画するなど、教育機関の有する専門的知識やノウハウを活かし、多大なる貢献を果たしていただいているところでございます。

また、同大学は、昭和 4 2 年度の開学以来、社会に有意な人材を多数輩出しつづけており、近年では学べる専門分野も広がりを見せたこともあり、更なる多種多様な領域での幅広い活躍及び貢献が大いに期待されているところであり、同大学がより一層発展することは、本市及び社会全体にとって、ますます重要になるものと考えております。

以上のことから、洗足学園音楽大学の収容定員増加により、在学生・卒業生が増えることは、本市が推進しております音楽によるまちづくりの裾野の拡大に有意義であり、更なる貢献も期待できることから、洗足学園音楽大学の収容定員増加につきまして、特段の御高配を賜われますよう副申いたします。

川崎市市民文化局市民文化振興室担当
電話（0 4 4）2 0 0－2 0 3 0

平成31年度「子どもの音楽文化体験事業」概要

1 事業目的

- (1) 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。
- (2) 子どもの音楽体験とともに、その保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。
- (3) 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。

2 予算

委託料	1,693,000円	(昨年度比	+41,598円)
(内訳) ホールでのオペラ公演	900,000円		
こ文等への演奏者派遣	120,000円		
リトミック必要経費	62,000円		
演奏ワークショップ	55,000円		
その他	イベント材料費、印刷費、通信費、事務費等		

3 事業内容

- (1) 身近な場所での音楽体験
こども文化センター等へプロを派遣 7施設 × 各1回程度
- (2) 家族単位での音楽鑑賞体験
洗足学園等で開催される親子向けコンサートに区民を招待する。年1回程度。
- (3) ホールでの音楽鑑賞体験
洗足学園音楽大学講師等によるオペラ公演の開催 年1回(2回公演)
- (4) 演奏体験ワークショップ
子どもを対象にパーカッションの演奏体験を行うワークショップを開催。
高津区民音楽祭(12月7日(土)開催予定)で成果発表を行う。
- (5) 音楽体験を通じた子どもの情操教育
未就学児を対象としたリトミック体操 年1回
- (6) その他、必要と認める事業・イベント等の実施・協力(随時)

平成31年度子どもの音楽文化体験事業実行委員会 名簿

(敬称略・順不同)

	役 職	氏 名	備 考
1	委員長	吉 武 雅 子	洗足学園音楽大学 [教授] [大学院研究科長]
2	副委員長	大 野 巳 津 子	高津区文化協会
3	会 計	大 橋 希	洗足学園音楽大学事務局長室
4	会計監査	雁 野 久 美 子	子育て世代区民 すくすく子育てボランティアバンビ
5	委 員	針 谷 繁 久	洗足学園音楽大学 事務局長
6	委 員	小 泉 英 夫	東高津こども文化センター [館長]

事務局：高津区役所地域振興課まちづくり推進係 〒213-8570 (住所不要)
TEL 044-861-3134 FAX 044-861-3103 メール 67tisin@city.kawasaki.jp

平成31年度（令和元年度）子どもの音楽文化体験事業 実績

1 身近な場所での音楽体験

区内7箇所のこども文化センターへ演奏者を派遣、コンサートを開催した。近隣在住の親子連れなど施設利用者のほか各小学校わくわくプラザからもスタッフの引率により小学生が来場した。

- ・ 令和元年 8月28日 高津こども文化センター（マリンバ、スティールパン等）
- ・ 11月18日 梶ヶ谷こども文化センター（マリンバ、カホン等）
- ・ 12月 4日 末長こども文化センター（マリンバ、スティールパン等）
- ・ 12月24日 上作延こども文化センター（オーボエ、トランペット、ソプラノ、ピアノ連弾等）
- ・ 12月26日 子母口こども文化センター（マリンバ、カホン等）
- ・ 12月26日 東高津こども文化センター（トランペット、ヴァイオリン、ハーブ、フルート等）
- ・ 12月27日 二子こども文化センター（クラリネット、ヴァイオリン、ハーブ、マリンバ等）



2 家族単位での音楽鑑賞体験

洗足学園で行われる「ぐりとぐら」および「Candle Night JAZZ（キャンドルナイトジャズ）」に小学生以下の子どもとその保護者を対象に区民招待枠を設けた。

市政だより等により告知し、区ホームページにより申込みを受けた。

（1）着ぐるみ人形劇「ぐりとぐら」（洗足こども短期大学）

【公演日】令和元年11月8日（金） 前田ホール

【当選者数】保育園枠：21園 449名／一般枠：146組 487名／
「泣いた赤鬼」特別枠：9組 28名

【入場者数】午前の部 215名／午後の部 534名

（2）Candle Night JAZZ（キャンドルナイトジャズ）（洗足学園音楽大学・大学院）

【公演日】令和元年11月29日（金） 前田ホール

【当選者数】122組 415名

【入場者数】247名（こども110名／大人137名）



学生確保(資料)-52-



3 ホールでの音楽鑑賞体験

洗足学園音楽大学の共催により、高津市民館大ホールにて0歳から鑑賞可能なオペラ公演を開催した。昨年度に引き続き、前売券を区内の文教堂書店2店舗にて販売し、その他、市政だより区版及び区ホームページ、ノクティ公共スペースでの広報等を行った。

- ・令和元年9月7日 子どもから楽しめるオペラ「泣いた赤鬼」※2回公演合計787名来場



4 演奏体験ワークショップ

公募の小学生を対象に、プロの指導による演奏体験ワークショップを開催した。今年度も低学年の参加が多かったため、低学年は練習時に手作り楽器（シェーカー、太鼓）を作成し、当日発表では低学年は手づくり楽器、高学年はその他打楽器演奏を行った。その他、カスタネットと、ドレミパイプを演奏した。

- ・令和元年11月6日、11月20日（2時間）、12月4日 ワークショップ
- ・令和元年12月7日 成果発表（高津区民音楽祭） ※参加者30名



5 音楽を通じた情操教育の機会提供

未就学児を対象に、リトミック体験会を実施する。講師は洗足学園からの紹介。昨年度のアンケートおよび応募者の需要に合わせ、1歳児クラスを午前と午後の2クラスに分け、学年毎に4コースを設定（1歳①／1歳②／2歳／3歳）した。

- ・令和2年3月7日高津区役所1階市民ホールにて実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止

はじめてのリトミック

リズムにあわせて楽しく体を動かしましょう！
パパの参加もお待ちしております！

令和2年3月7日（土）

A 10:00～	1歳児①	(2018年4月2日～2019年4月1日生まれの子)
B 11:00～	2歳児	(2017年4月2日～2018年4月1日生まれの子)
C 12:00～	1歳児②	(A:1歳児5名程度)
D 14:30～	3歳児	(2016年4月2日～2017年4月1日生まれの子)

※1歳児は①②のどちらかを選択してください

※2歳児は①②のどちらかを選択してください

※3歳児は①②のどちらかを選択してください

※4歳児は①②のどちらかを選択してください

※5歳児は①②のどちらかを選択してください

※6歳児は①②のどちらかを選択してください

※7歳児は①②のどちらかを選択してください

※8歳児は①②のどちらかを選択してください

※9歳児は①②のどちらかを選択してください

※10歳児は①②のどちらかを選択してください

※11歳児は①②のどちらかを選択してください

※12歳児は①②のどちらかを選択してください

※13歳児は①②のどちらかを選択してください

※14歳児は①②のどちらかを選択してください

※15歳児は①②のどちらかを選択してください

※16歳児は①②のどちらかを選択してください

※17歳児は①②のどちらかを選択してください

※18歳児は①②のどちらかを選択してください

※19歳児は①②のどちらかを選択してください

※20歳児は①②のどちらかを選択してください

※21歳児は①②のどちらかを選択してください

※22歳児は①②のどちらかを選択してください

※23歳児は①②のどちらかを選択してください

※24歳児は①②のどちらかを選択してください

※25歳児は①②のどちらかを選択してください

※26歳児は①②のどちらかを選択してください

※27歳児は①②のどちらかを選択してください

※28歳児は①②のどちらかを選択してください

※29歳児は①②のどちらかを選択してください

※30歳児は①②のどちらかを選択してください

※31歳児は①②のどちらかを選択してください

※32歳児は①②のどちらかを選択してください

※33歳児は①②のどちらかを選択してください

※34歳児は①②のどちらかを選択してください

※35歳児は①②のどちらかを選択してください

※36歳児は①②のどちらかを選択してください

※37歳児は①②のどちらかを選択してください

※38歳児は①②のどちらかを選択してください

※39歳児は①②のどちらかを選択してください

※40歳児は①②のどちらかを選択してください

※41歳児は①②のどちらかを選択してください

※42歳児は①②のどちらかを選択してください

※43歳児は①②のどちらかを選択してください

※44歳児は①②のどちらかを選択してください

※45歳児は①②のどちらかを選択してください

※46歳児は①②のどちらかを選択してください

※47歳児は①②のどちらかを選択してください

※48歳児は①②のどちらかを選択してください

※49歳児は①②のどちらかを選択してください

※50歳児は①②のどちらかを選択してください

※51歳児は①②のどちらかを選択してください

※52歳児は①②のどちらかを選択してください

※53歳児は①②のどちらかを選択してください

※54歳児は①②のどちらかを選択してください

※55歳児は①②のどちらかを選択してください

※56歳児は①②のどちらかを選択してください

※57歳児は①②のどちらかを選択してください

※58歳児は①②のどちらかを選択してください

※59歳児は①②のどちらかを選択してください

※60歳児は①②のどちらかを選択してください

※61歳児は①②のどちらかを選択してください

※62歳児は①②のどちらかを選択してください

※63歳児は①②のどちらかを選択してください

※64歳児は①②のどちらかを選択してください

※65歳児は①②のどちらかを選択してください

※66歳児は①②のどちらかを選択してください

※67歳児は①②のどちらかを選択してください

※68歳児は①②のどちらかを選択してください

※69歳児は①②のどちらかを選択してください

※70歳児は①②のどちらかを選択してください

※71歳児は①②のどちらかを選択してください

※72歳児は①②のどちらかを選択してください

※73歳児は①②のどちらかを選択してください

※74歳児は①②のどちらかを選択してください

※75歳児は①②のどちらかを選択してください

※76歳児は①②のどちらかを選択してください

※77歳児は①②のどちらかを選択してください

※78歳児は①②のどちらかを選択してください

※79歳児は①②のどちらかを選択してください

※80歳児は①②のどちらかを選択してください

※81歳児は①②のどちらかを選択してください

※82歳児は①②のどちらかを選択してください

※83歳児は①②のどちらかを選択してください

※84歳児は①②のどちらかを選択してください

※85歳児は①②のどちらかを選択してください

※86歳児は①②のどちらかを選択してください

※87歳児は①②のどちらかを選択してください

※88歳児は①②のどちらかを選択してください

※89歳児は①②のどちらかを選択してください

※90歳児は①②のどちらかを選択してください

※91歳児は①②のどちらかを選択してください

※92歳児は①②のどちらかを選択してください

※93歳児は①②のどちらかを選択してください

※94歳児は①②のどちらかを選択してください

※95歳児は①②のどちらかを選択してください

※96歳児は①②のどちらかを選択してください

※97歳児は①②のどちらかを選択してください

※98歳児は①②のどちらかを選択してください

※99歳児は①②のどちらかを選択してください

※100歳児は①②のどちらかを選択してください

平成31年度「第30回高津区民音楽祭」 事業概要**1 事業目的**

地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る。

2 事業内容

音楽に造けいの深い地域団体と市民が協力して企画や準備に携わる参加型の音楽祭を開催する。

3 開催場所

(1) 川崎市民プラザ

① 開催日時 11月23日(土)

② みんなでうたおう

来場者も一緒に楽しめるプログラム。川崎市民の歌「好きです かわさき 愛の街」等を来場者も含めみんなで歌う。

③ 特別企画(予定)

「レストラン くつろぎ処椿亭」による飲食のテイクアウト販売

④ 司会 未定

(2) 高津市民館(大ホール)

① 開催日時 12月7日(土)、8日(日)

② みんなでうたおう

来場者も一緒に楽しめるプログラム。川崎市民の歌「好きです かわさき 愛の街」等を来場者も含めみんなで歌う。

③ コラボ企画(12月7日)

区内在住・在学の小学生による「子どもの音楽文化体験」カスタネット等を用いてのキッズパーカッションを行います。

④ 司会 未定

4 特別企画

○PRポスター展示(自由参加)

コンサート風景、練習風景、メンバー募集、コンサート告知など、自分たちの活動をA2判のポスターにしてPRできます。

○写真展

これまでの区民音楽祭の歩みを区民の皆様に知っていただき、より関心をもってもらうための写真展です。

○スタンプラリー

来場者を増やすため、2日以上来場いただいた方にはお土産をプレゼント。

5 30回記念企画について

参加団体&観客向けのノベルティーグッズの配布。

フリクション?

6 賞

- (1) 11月23日 オーディエンス賞、ミュートン賞（大賞）
- (2) 12月 7日 オーディエンス賞、特別賞、ミュートン賞（大賞）
- (3) 12月 8日 オーディエンス賞、特別賞、ミュートン賞（大賞）

平成31年度「第30回高津区民音楽祭運営委員会」 名簿

(敬称略)

	役職	氏 名	所 属 団 体 等
1	委員長	赤 津 武 雄	高津J A Z Z協会[会長]
2	副委員長	笹 子 ま さ え	小黒恵子童謡記念館館長
3	会 計	大 橋 希	洗足学園音楽大学・大学院事務局長室 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員]
4	会計監査	吉 武 雅 子	洗足学園音楽大学／大学院[教授] 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員長]
5		反 町 充 宏	NPO法人カワサキミュージックキャスト理事長



音楽のまち・かわさき

第30回

高津区民音楽祭

2019年11月23日(土)

川崎市民プラザ 屋内広場

2019年12月7日(土) 8日(日)

高津市民館 大ホール

Beautiful Song



主 催 高津区民音楽祭運営委員会 / 川崎市高津区役所

共 催 川崎市民プラザ

後 援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

平成31年度「第30回高津区民音楽祭」

11月23日（土） バンド日程

出演者 85人 来場者 169人 全体 254人
 大賞：SANO Band
 オーディエンス賞：K・O・U バンド

12月7日（土） 器楽日程

出演者 183人 来場者 695人 全体 878人
 大賞：ベビカル
 特別賞：野川仲太鼓
 オーディエンス賞：Y's チャイム
 児童室使用者：4人

12月8日（日） コーラス日程

出演者 335人 来場者 482人 全体 917人
 大賞：コール・キリエ
 特別賞：高津メンネルコール
 オーディエンス賞：コール・キリエ
 児童室使用者：4人

スタンプラリー

スタンプ2個	91個
スタンプ3個	19個

令和 2 年度「子どもの音楽文化体験事業」概要

1 事業目的

- (1) 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。
- (2) 子どもの音楽体験とともに、その保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。
- (3) 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。

2 予算

委託料	1, 6 7 4, 0 0 0 円 (昨年度比	－ 1 9 0 0 0 円)
(内訳) ホールでのオペラ公演	9 0 0, 0 0 0 円	
こ文等への演奏者派遣	1 2 0, 0 0 0 円	
リトミック必要経費	6 2, 0 0 0 円	
演奏ワークショップ	5 5, 0 0 0 円	
その他	イベント材料費、印刷費、通信費、事務費等	

3 事業内容

- 実施 (1) 身近な場所での音楽体験
こども文化センター等へプロを派遣 7 施設 × 各 1 回程度
- 実施 (2) ホールでの音楽鑑賞体験
洗足学園音楽大学講師等によるオペラ公演の開催 年 1 回 (2 回公演)
- 中止 { (3) 演奏体験ワークショップ
子どもを対象にパーカッションの演奏体験を行うワークショップを開催。
高津区民音楽祭 (12 月 5 日 (土) 開催予定) で成果発表を行う。
- (4) 音楽体験を通じた子どもの情操教育
未就学児を対象としたリトミック体操 年 1 回
- (5) その他、必要と認める事業・イベント等の実施・協力 (随時)

令和2年度子どもの音楽文化体験事業実行委員会 名簿

(敬称略・順不同)

	役 職	氏 名	備 考
1	委員長	吉 武 雅 子	洗足学園音楽大学・大学院 教授
2	副委員長	大 野 巳 津 子	高津区文化協会
3	会 計	大 橋 希	洗足学園音楽大学事務局長室
4	会計監査	雁 野 久 美 子	子育て世代区民 すくすく子育てボランティアバンビ
5	委 員	針 谷 繁 久	洗足学園音楽大学 事務局長
6	委 員	榊 原 誠	子母口こども文化センター [館長]

事務局：高津区役所地域振興課まちづくり推進係 〒213-8570 (住所不要)
TEL 044-861-3134 FAX 044-861-3103 メール 67tisin@city.kawasaki.jp

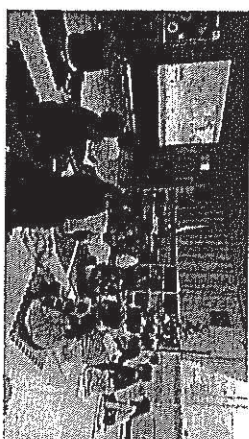
こども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

日にち	12 月 24 日 (木)	場所	榎ヶ谷 こども文化センター
出演者	秋山先生、秋山ゼミのみなさん		
来場者	子ども	19 名	乳幼児 1 名 大人 1 名
開 場	14:45	開 演	15:00
		終 演	15:50

<内 容>

1. 赤黒のトナカイ (ピアノ)
2. きよしこの夜 (ピアノ)
3. もるびどこぞりて(トランペット)
一人で4パート演奏・動画撮影をしたもの
4. All I Ask of You (うた)



先生とゼミ生の女性がオペラを動画で披露。子どもにはすこし怖い印象だったようだが動画観しても声量が大きいことがわかってすごかった。

5. ワズがサンタにキッスした (バイオリン・ハーフ)
6. メリーリトルクリスマス (バイオリン・ハーフ)
7. オーシャンデリゼ (サックス)

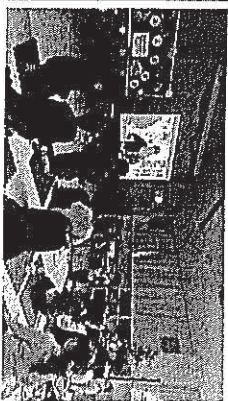
映像の途中で、シヤンデリゼはここだよと画像をだして説明してくれた。併せて、動画に出てくる楽器の説明を。

8. The ice cream suite rag (マリンバ)

マリンバを4人で弾いていた。演奏途中でお姉さんたちが音に合わせて動いているのがおもしろかった。

9. クリスマスメドレー (電子オルガン)

知っている曲が多かったようで曲にあわせて動いている子どもが多く見られた。



10. あわてんぼうのサンタクロース
秋山先生がサンタの恰好で登場。
録音した歌を流しながら踊りを踊っていた。小道具があっっておもしろかった。
11. ジンギスベル
曲をバツクにサンタ (秋山先生) とじゃんけん大会。参加型なのが良かったと思う。

リモート (ZOOM) でゼミ生と少し会話をした

テレビ電話は珍しいようすこしおどろいていた。

備 考

スピーカー2台、アンプを持ってきてくださった

記録者： 地域振興課 祝田

こども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

日にち	12 月 16 日 (水)	場所	奈良 こども文化センター
出演者	一瀬 珠音、岡田 奈々		
来場者	子ども	27 名	乳幼児 1 名 大人 2 名
開 場	15 : 00	開 演	15 : 10 終 演 16 : 00

1. The ice cream suite rag
マリンバのみ。2人で連弾

—MC—

今日は打楽器だけで演奏する旨説明をしていた

2. さんぽ

マリンバと太鼓。

一緒に歌っている子もいた。

3. フリンク・ナラシク・ナルシク

マリンバの連弾をしている前で (8つほど) 楽器を使用していた

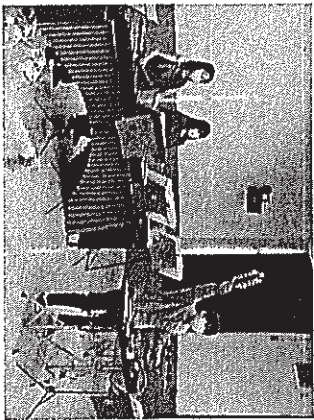
—MC—

使った楽器の紹介

ネジの音ができるラチェット

洗濯機のパイプみたいなのモニツクパイプ など。

ほとんどが見たことない楽器で興味深くみていた。



4. ギャロツプ

マリンバのみ。

—MC—

マリンバとマレットの紹介。

5. 人生のメリーゴーランド

スライデルペン、マリンバ、パーカッション

ハウルの曲、あまり子どもたちは知らない様子。

—MC—

スライデルペンの説明、知らなかったので面白かった。

子どもたちに質問などの投げかけがあった。

< 内 容 >



6. クリスマスメドレー

スライデルペン、マリンバ、パーカッション、鍵盤、ドレミパイプ

一緒に口ずさんでいる子や手拍子をしている子どもが多くみら

れた。

パーカッション担当の方が前の方で楽器を使用しながら動いて

いて目を引く感じがよかった。

—MC—

次の曲になんの楽器を使用するか説明、知っていたら歌ってねと

投げかけをしていた。

7. ドラえもん

星野源さんの曲、ほとんどの子どもが知っていた。

パーカッションの方のタンバリンに合わせて一緒に手拍子もあつ

た。

—MC—

次の曲の説明

8. 鬼滅の刃 (紅蓮華)

とても食いつきがよくみんな大きな声で歌っていた。

9. 勇氣 100%

備考 来場いわくわくナラサから 18 人

記録者： 地域振興課 祝田

こども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度か

日にち	12 月 23 日 (水)	場所	高津 こども文化センター
出演者	一瀬 珠音、岡田 奈々、角田 和希		
来場者	子ども 31 名	乳幼児 3 名	大人 6 名
開 場	14:50	開 演	15:00 終 演 15:50

1. The ice cream suite rag

2. さんぽ

—MC—

3. リンク・リンク・リンク

末長では見なかった楽器もあった

大きな音に怖がっている子ども多少みられたが、よく注目して見ていた。最前列の子は楽器がみえなさそうに感じ。

—MC—

使った楽器の紹介

これなにー？という声もあがっていた

4. ギヤロツゾ

—MC—

＜ 内 容 ＞

マリンバとマレットの紹介。子どもたちに質問などをして全話が
あった。次の曲とステイール・バンの説明。

5. 人生のメリーゴーランド

子どもたちは静かに聞いていた。

—MC—

6. クリスマスメドレー

特にドレミ・バイ・ゾが子どもの目をひいていたようにみえた。

—MC—

次の曲になんの楽器を使用するか説明、知っていたら歌ってねと
投げかけ。

7. ドラえもん

皇野瀬さんの曲、ほとんどの子どもが知っているようで大きな声
歌っていた

—MC—

8. 鬼滅の刃 (紅蓮華)

こちらにもみんな大きな声で歌っていた。

9. 勇気 100%

備考 わくわくゾラザから 20 人、その他スタッフが 6 人

記録者： 地域振興課 祝田

こども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

日にち	12 月 25 日 (金)	場所	上作延 こども文化センター
出演者	大友 舞乃、岡田 奈々		
来場者	子ども 50 名	乳幼児 3 名	大人 5 名
開 場	14:30	開 演	14:40 終 演 15:20

1. The ice cream suite rag

MC なしで始まったが、始まったとたん子どもたちが静かに前を
向いてきいていた。3人で演奏していた。

—MC—

2. 山の音楽家 (マリンバと
ライオンガル)

胸のあたりに画用紙で作
った動物の顔を張り付け
て演奏していて、子どもた
ちの目をひいていた。

—MC—

マリンバとマレットの紹
介。実際に違う種類のマレ
ットで同じ音を叩いて演奏していた。併せて、“マリンバといえ

ば”
ということでも少しだけ剣の舞を演奏。

3. きらきら星 (マリンバ、パーカッション、ドレミ・バイ・ゾ)

ドレミ・バイ・ゾが床での演奏だった。観客は椅子でみていたので後
ろの席の子は見えなさそうにしていた。雰囲気がちがうきらきら
星を 3 ルー・ゾ演奏

—MC—

ドレミ・バイ・ゾの説明・ステイール・バンの説明。なにかからできてい
るかクイズにはみんなおどろいていた。

4. アンダー・ザ・シー (マリンバ、ステイール・バン、パーカッション)

女の子やお母さん方にとっても好印象だったように見受けられた。

5. おもちやのチャチャチャ (マリンバ、ステイール・バン、パーカッ
ション)

1 年生が多かったので歌っている子が割といた。

—MC—

6. 小さな世界 (マリンバ、ステイール・バン、パーカッション)

—MC—

小さな世界で使っていた珍しい楽器の紹介。

7. クリスマスメドレー

—MC—

8. 鬼滅の刃 (紅蓮華)

みんな大きな声で歌っていた。

9. 勇気 100%

備考 大友さんが時折子どものほうをみながら演奏しているのがよかった
事前申し込み制での開催。定員 50 とのことだったがもうすこしいた。

記録者： 地域振興課 祝田

こども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

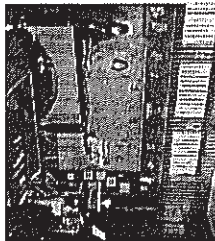
日にち	12 月 28 日 (月)	場所	東高津 こども文化センター		
出演者	大友舞乃・伊藤陽介・岡田奈々 (バーカッジョン番号機)				
来場者	子ども	12 名	乳幼児	2 名	大人 3 名
開 場	13 : 20	開 演	13 : 35	終 演	14 : 40

＜ 内 容 ＞

1 アイスクリーム・スイート・ラグ
CMC・マリバ スクールで紹介

2 山の音楽家

3 きらきら星

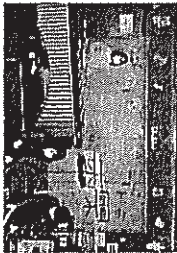


4 アンダーガーン

CMC・ドレミ・レ・ファで紹介

5 おもちやのチヤチヤ

ドレミ・レ・ファの演奏後、マリバでも演奏。マリバの演奏に合わせて、参加者のうち3人の子どもが、こども文化センター所蔵の電子ドラムでも演奏



CMC・小物楽器紹介

(・アコギ、ウッパフロツク、ウインボチャイム他)

6 クリスマスドレー

7 鬼滅の刃 (紅蓮華)

演奏に合わせて歌っている子どもが多かった



8 アンコールで「さんぽ」を演奏

備 考	事前広報をしていないとのこと、参加人数は少なかった。
-----	----------------------------

記録者： 地域振興課 押川

こども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

日にち	12 月 28 日 (月)			場所	子母口 こども文化センター				
出演者	秋山先生、秋山ゼミのみなさん								
来場者	子ども	23	名	乳幼児	3	名	大人	8	名
開 場	10 : 20			開 演	10 : 25			終 演	11 : 05

＜ 内 容 ＞ M C ・楽器紹介はオンライン、演奏は撮影動画で実施

1 M C ・ピアノ

・マ・メール・ロフ 妖精の囃子3曲

ピアノソロ、演奏は動画 (撮影動画)。手元のアップなども

入らぬに迫りある映像を撮影

2 M C ・声楽

・虹の向こうに

・世界はひとつになるまで

ピアノを演奏しながら歌声を披露。一緒に歌っている子どももいる

3 M C ・フルトサックスの紹介

・ユー・レイズ・ミー・アップ

・崖の上のポニョ

ポニョの演奏の際、スクリーン終の魚を映し、子ども達にクイズを出題

楽しそうに答えている

4 M C ・バグパイプ ハーゾ

・レット・イット・ゴー

5 M C ・打楽器 (マリバ・ドレミ・レ・ファ)

・ドレミのうた

・アイスクリーム・スイート・ラグ

6 演奏者全員が出演

・勇気100%

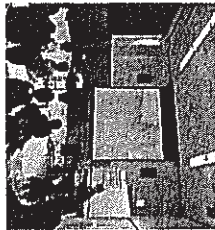
・アンビエソンのマーチ

7 秋山先生

・さんぽ

秋山先生がピアノに合わせて手話を披露

最後は、全員が立って先生の歌を聴きながら手を動かした



備 考	わくわくプラザ (子母口)
-----	---------------

記録者： 地域振興課 押川

子ども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

日にち	3 月 22 日 (月)	場所	二子 こども文化センター			
出演者	秋山ゼミの学生					
来場者	子ども	23 名	乳幼児	3 名	大人	5 名
開 場	13:55	開 演	14:00	終 演	14:45	

ピアノを3曲

音楽家の写真をだしてクイズをだした問題を3問ほど出題。音楽室でみたことあると、たくさん声があがった。
人物と楽曲説明のち、演奏に移ったのでよく画面をみていたように見受けられた。

Let It Go(バイオリン、ハーフ)

ハーフをみたことない子どももいたが、知っている曲でじつくりときいていた
バイオリンを弾いていたお姉さんとオンラインで会話
楽器についての説明をして、その場で演奏もしてくれた



崖の上のポニョ (サックス)

さきほど演奏していたお姉さんとオンラインで会話
3種類のサックスを見せてくれた。大きさや形の比較をして分
かりやすかった

＜ 内 容 ＞

にじのむこうに (歌)
世界がひとつになるまで (歌)
一人で歌もピアノも担当。にじのむこうに で一緒に歌っている子どももいた。

ドレミの歌 (ドレミパイフ)

Ice Cream Suite Rag

勇氣 100%

さんぽ
先生を真似て手話で歌うコーナー。ずっと座って
みていたので動きがあつてよかった。保護者の方も一緒に動いてくれた



記録者： 地域振興課 祝田

洗足学園音楽大学の講師陣による 子どもから大人まで楽しめるオペラ

鬼と一緒に、

歌って

笑って

泣こう

泣いた赤鬼

原作 浜田廣介 作曲 松井和彦



とある山の中に、ひとりの赤鬼が住んでいました。人間と仲良くなりたいと思っていた赤鬼は、自分の気持ちを書いた立て札をつくり、人間がそれに気づいてくれるのを待っていました。しかし、人間は赤鬼が自分たちをだまそうとしていると思い込み、逃げてしまいます。すっかり絶望している赤鬼に、友達青鬼は、ひと芝居打つことを提案しますが…。

2020年9月5日(土)

第1部 11:30開演 第2部 14:00開演

1公演 60分 全2回公演 | 全席指定・事前申込制
家族単位で席の間隔を十分にあげた座席配置をいたします。

入場料 大人(中学生以上) 1,000円 | 子ども(0歳～小学6年生) 100円

※入場料は当日徴収いたします。※前売券・当日券の販売はありません。

※応募多数の場合抽選。抽選結果および座席番号については8/24以降、順次お知らせ予定です。

会場 高津市民館 大ホール 川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 12階

※専用駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

主催:子どもの音楽文化体験事業実行委員会/高津区役所 共催:洗足学園音楽大学・大学院

後援:川崎市教育委員会/「音楽のまち・かわさき」推進協議会

申込方法… 右記QRコード(川崎市HP)にて申込、もしくは往復はがきにて申込。



往復はがきの往信面に①代表者の氏名・住所②同行者(代表者含む4名まで)の氏名・年齢③応募したい部の記載(第1部 or 第2部 or どちらでも)を記入し、返信面は空白のまま、〒213-8570 高津区役所地域振興課「泣いた赤鬼」係へ。

応募期間… ～2020年8月14日(金)必着

学生確保(資料) 66

問い合わせ… 高津区役所地域振興課「泣いた赤鬼」係 電話:044-861-3133 FAX:044-861-3103 (平日8:30～17:00)

令和2年度「第31回高津区民音楽祭」 事業概要

1 事業目的

地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る。

2 事業内容

音楽に造けいの深い地域団体と市民が協力して企画や準備に携わる参加型の音楽祭を開催する。

★今年度の音楽祭

開催日時・場所

(1) 川崎市民プラザ ふるさと劇場

① 開催日時 11月28日(土)

② 司会 橋本聖子 氏

(2) 高津市民館 (大ホール)

① 開催日時 12月5日(土)、6日(日)

② 司会 オカピ 氏

参加団体

バンド 5団体／器楽 8団体／コーラス 4団体

開催方法

一般客向けの開催はなし、関係者のみ入場可

- ・1団体の人数×2名程度の招待枠
- ・入場券を配布し、参加者名簿を提出
- ・一般向け広報として、会場の演奏を録画し、後日インターネット上にアップロードする。＜区役所 youtube「たかつ区チャンネル」＞
- ・録画はかわさきキネマサークルさん

○前年度比で実施しないもの

- ・みんなでうたおう ・市民プラザのテイクアウト販売 ・PRポスター
- ・チラシ、プログラム作成 ・スタンプラリー ・写真展 ・各種表彰

令和2年度「第31回高津区民音楽祭運営委員会」 名簿

(敬称略)

	役職	氏 名	所 属 団 体 等
1	委員長	赤 津 武 雄	高津J A Z Z協会[会長]
2	副委員長	笹 子 ま さ え	小黑恵子童謡記念館館長
3	副委員長	反 町 充 宏	N P O法人カワサキミュージックキャスト理事長
4	会 計	大 橋 希	洗足学園音楽大学・大学院事務局長室 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員]
5	会計監査	吉 武 雅 子	洗足学園音楽大学／大学院[教授] 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員長]

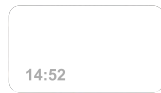


第31回高津区民音楽祭



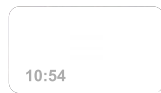
Q すべて 国 ニュース 画像 動画 地図 もっと見る 設定 ツール

約 6,580 件 (0.29 秒)

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**器楽day#04 高津オカリナの会_第31回高津区民音楽祭 ...**

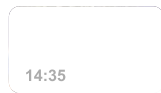
14:52

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/12 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**バンドday#01 MJO_第31回高津区民音楽祭 - YouTube**

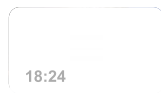
10:54

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #バンドday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭です ...
2021/01/15 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**バンドday#04 KOUバンド_第31回高津区民音楽祭 - YouTube**

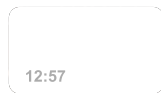
14:35

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #バンドday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭です ...
2021/01/29 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**バンドday#05 SANOBand_第31回高津区民音楽祭 - YouTube**

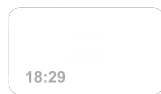
18:24

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #バンドday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭です ...
2021/01/29 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**器楽day#05 Y'sチャイム_第31回高津区民音楽祭 - YouTube**

12:57

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/19 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**器楽day#06 ふるさと_第31回高津区民音楽祭 - YouTube**

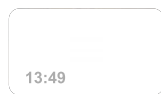
18:29

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/19 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**コーラスday#01 たんぽぽ_第31回高津区民音楽祭 - YouTube**

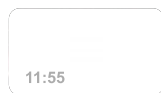
10:02

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #コーラスday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/03/05 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**コーラスday#04 コールたちばな_第31回高津区民音楽祭 ...**

13:49

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #コーラスday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/03/12 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

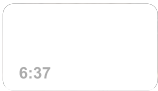
[www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch) > watch**器楽day#01 野川種太鼓_第31回高津区民音楽祭 - YouTube**

11:55

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/05 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

www.youtube.com › watch

コーラスday#02 高津メンネルコール_第31回高津区民音楽祭



たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #コーラスday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/03/05 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ

令和3年度「子どもの音楽文化体験事業」概要

1 事業目的

- (1) 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。
- (2) 子どもの音楽体験とともに、その保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。
- (3) 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。

2 事業内容

- (1) 身近な場所での音楽体験
こども文化センター等へプロを派遣 7施設 × 各1回程度
- (2) ホールでの音楽鑑賞体験
洗足学園音楽大学講師等による小規模コンサート（オペラ等）の開催 年1回
- (3) 演奏体験ワークショップ
子どもを対象にパーカッションの演奏体験を行うワークショップを開催。
- (4) 音楽体験を通じた子どもの情操教育
未就学児を対象としたリトミック体操 年1回
- (5) その他、必要と認める事業・イベント等の実施・協力（随時）

令和3年度子どもの音楽文化体験事業実行委員会 名簿

(敬称略・順不同)

	役 職	氏 名	備 考
1	委員長	吉 武 雅 子	洗足学園音楽大学・大学院 教授
2	副委員長	大 野 巳 津 子	高津区文化協会
3	会 計	大 橋 希	洗足学園音楽大学事務局長室
4	会計監査	雁 野 久 美 子	子育て世代区民 すくすく子育てボランティアバンビ
5	委 員	澤 井 大 輔	子母口こども文化センター [館長]

事務局：高津区役所地域振興課まちづくり推進係 〒213-8570（住所不要）
TEL 044-861-3134 FAX 044-861-3103 メール 67tisin@city.kawasaki.jp

令和3年度「第32回高津区民音楽祭」 事業概要**1 事業目的**

地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る。

2 事業内容

音楽に造けいの深い地域団体と市民が協力して企画や準備に携わる参加型の音楽祭を開催する。

3 開催日時・場所

①令和4年 1月30日（日） 川崎市民プラザ ふるさと劇場・屋内広場

②みんなでうたおう（検討）

来場者も一緒に楽しめるプログラム。川崎市民の歌「好きです かわさき 愛の街」等を来場者も含めみんなで歌う。→飛沫防止？

③舞台（案）

屋内広場（バンド）／反町さん（NPO法人カワサキミュージックキャスト）

ふるさと劇場（器楽コーラス）／洗足学園OBさん（大橋さん紹介）

④司会 未定（R2年度は橋本氏、オカピ氏）

○キッズパーカッション →なし（時間の都合上）

4 特別企画

展示場所について

区役所1階ロビー：天井改修工事のため年度内の利用不可

市民館：今回は開催会場ではない&ウォールギャラリーは現在未申請

○PRポスター展示（自由参加）

コンサート風景、練習風景、メンバー募集、コンサート告知など、自分たちの活動をA2判のポスターにしてPRできます。→プラザ当日のみ

○写真展（検討）

これまでの区民音楽祭の歩みを区民の皆様にご覧いただき、より関心をもってもらうための写真展です。

→区役所1階ロビー工事のため使用不可なのでプラザ当日のみ

○スタンプラリー →1日開催なのでなし

令和3年度「第32回高津区民音楽祭運営委員会」 名簿

(敬称略)

	役職	氏 名	所 属 団 体 等
1	委員長	赤 津 武 雄	高津J A Z Z協会[会長]
2	副委員長	笹 子 ま さ え	小黒恵子童謡記念館館長
3	副委員長	反 町 充 宏	N P O法人カワサキミュージックキャスト理事長
4	会 計	大 橋 希	洗足学園音楽大学・大学院事務局長室 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員]
5	会計監査	吉 武 雅 子	洗足学園音楽大学／大学院[教授] 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員長]

2021年度 第1回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年 4月8日(木) 11:00～

2. 場 所

eキューブ4F 大会議室

3. 出席者 10名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 大和田 雅洋 奥田 さやか 佐藤 大祐 田中 良一 田渕 哲也 原 朋直
久行 敏彦 長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 馬場 葉

4. 欠席者 0名

5. 議 長（委員長）

石井 喜久子

6. 議事経過及び結果

議事に先立ち、委員長より、「被災地支援委員会」から名称を新たに当委員会が発足された旨の報告と、再任の佐藤大祐先生の紹介があった。

（1） 審議事項

- ・「産学官連携、地域社会及び国際社会協力ポリシー」の改正について
長谷川委員よりポリシーについての説明があり、審議の上、別紙のとおり改正されることが承認された。

（2） 報告事項

- ・社会連携・社会貢献委員会について
別紙について、長谷川委員よりこれまでの社会連携・社会貢献活動例の報告があった。

(以下確認事項)

- ・ これまでは事務局長室が窓口となっていた活動を、委員会を通して実現していきたい。(長谷川委員)
- ・ 学生には、アルバイトのような感覚ではなく、「学び」というところに重点を置いてほしい。(原委員)
- ・ コロナ禍で難しい部分もあるが、リモートだからこそできるような活動を考えたい。以前の被災地支援メンバーの学生を中心に、参加学生を集めてみるのも良いのでは。(佐藤委員)
- ・ 委員会名の変更などを学生にも周知したい。コロナウイルスの影響や、天災で被災地支援を十分に経験できなかった学生に配慮し、新規ボランティア募集のタイミングを検討したい。(石井委員長)

(3) その他

① 被災地支援活動について

委員長より、コロナ禍においても、前田ホールでの配信等、前向きに企画していく旨が発言された。

(以下、その他の発言)

- ・ 感染対策を行えばシルバーマウンテンでも実現可能ではないか。また、音楽音響デザインコースや、音楽環境創造コースの学生にも参加してもらい、映像の美しさに改良を加えても良いと思う。(佐藤委員)
- ・ I T統括部(現 I C Tセンター)に協力を得たジャズコースのライブは、映像の切り替えに工夫があり良かったので、社会連携・社会貢献の催しに協力を仰いでみても良いかもしれない。(原委員)

② 打楽器コースへの演奏オファーについて

委員長より、打楽器コース内の和太鼓グループに、I O Cからの演奏オファー(テコンドーの試合でのパフォーマンス)があったことが報告された。

以 上
(敬称略)

洗足学園音楽大学~~産学官連携、地域社会及び国際社会協力~~社会連携・社会貢献ポリシー

改正 令和3年~~3~~5月~~4~~6日

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学~~産学官連携、地域社会及び国際社会協力~~社会連携・社会貢献ポリシーその他必要な事項について定める。

(~~産学官~~社会連携の推進)

第2条 音楽の探究による主体的な学びの実践を尊重し、~~産学官~~社会連携を適切かつ効果的に推進すること。

2 ~~産学官~~社会連携は、高い透明性、公平性、公正性をもって取り組み、十分な説明責任を果たすこと。

(~~地域社会への協力~~行政・地域団体・企業との連携)

第3条 演奏会等を通じた地域との交流や教育研究成果の提供により、社会貢献を実施すること。

2 音楽活動、研究活動により、地方自治体の政策形成への関与を更に推進すること。

3 地域社会の活性化と発展の担い手となる豊かな人間性と実行力を兼ね備え自立した人材を育成すること。

(~~国際社会への協力~~国際社会との連携・協力)

第4条 アメリカ、EU、アジア等への海外研修並びに一流指導者、演奏家、指揮者の招聘を推進すること。

2 海外提携大学における相互交流を拡大し、新たな海外の大学との提携を図り、学生のみならず、教員間の交流を図ること。

3 国際社会の活性化と発展の担い手となる世界の様々な地域、民族、時代の音楽を理解し、幅広い視野を持った人材を育成すること。

(事務の所管)

第5条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

附則

1 この規程は、平成26年6月12日から施行する。

2 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

3 この規程の改正は、令和3年4月1日から施行する。

4 この規程の改正は、令和3年5月6日から施行する。

■地域社会との連携

■行政、地域団体、企業等との連携

【事例】

・ ジュニア音楽リーダー育成事業（川崎市教育委員会）

川崎市の中学校吹奏楽部 1 年生、2 年生を対象にした講習会を洗足で開催。講師を学生および卒業生が担う。年 2 回開催。

・ ヤングかわさきジョイフルバンド（川崎市教育委員会）

市内在住 ・ 在学の 吹奏楽を行っている中高生から選出されたバンドが演奏を行うもの。その練習にて学生を講師として派遣。

・ 「こどもフェスタ」楽器体験（ミューザ川崎）

ミューザ川崎にて子供を対象にした楽器体験において学生・卒業生を指導者として派遣。GW に開催。

・ 昭和大学包括連携協定

入職式（ミュージカルコース学生によるミニコンサート）
上條記念館（こけら落とし公演）
.昭和大学病院でのコンサート

・ 川崎ブレイブサンダース

ホームゲーム入場パフォーマンス出演（吹奏楽指導者マスタークラス）

・ グランツリー武蔵小杉

商業施設内でのリモート演奏（ジャズコース学生）

・ 「被災地支援活動」（被災地支援委員会を継承）

リモート演奏会（2020 年度）

2021年度 第2回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年 6月10日(木) 11:00～

2. 場 所

eキューブ4F 大会議室

3. 出席者 8名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 大和田 雅洋 佐藤 大祐 田中 良一 田淵 哲也 原 朋直
長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 馬場 葉

4. 欠席者 2名

奥田 さやか 久行 敏彦

5. 議事経過及び結果

(1) 審議事項

①社会連携・社会貢献委員会PDCAサイクルについて

長谷川委員より社会連携・社会貢献委員会におけるPDCAサイクルについて、別紙に基づいて以下の通り説明が為され、審議の上、承認された。

- ・2021年度内部質保証と点検評価に係る基本方針に示された「点検・評価の充実」として本委員会のPDCA案を策定した。

社会連携・社会貢献委員会では、(P)連携体制の整備・構築とし、(D)演奏を通じた社会貢献および学生の育成を図っていく。また、川崎市をはじめとする各種団体との連携活動を充実させ、(C)活動の検証を行った上で、(A)今後の活動を計画していくことを案とした。

②外部依頼による演奏者派遣について

以下、各演奏者派遣について委員長より説明が為され、審議の上、承認された。

- ・川崎市立高津高等学校(定時制)音楽鑑賞会
- ・公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団
「音楽のさんぽ道～0才からのコンサート～」
- ・グランツリー武蔵小杉演奏会
- ・AGE STOCK 2021 in TOKYO DOME CITY HALL

(2) 報告事項

①東京オリンピック（演奏パフォーマンス）

委員長より、打楽器コース和太鼓部の出演について、具体的に話が進んでいることの報告があった。

②6月27日(日)ジュニア音楽リーダー育成事業進捗

以下のとおり報告があった。

- ・本学の施設貸出と、先生方からの推薦により選出した本学学生・卒業生を講師として派遣が決まっている。(石井委員長)
- ・135名の参加者。例年開講式を全員参加で行っていたが、今年度は感染症対策のため人数を分けて開催することになった。レッスン時はパーテーションを使用し、感染症対策をしながら進める。また、10月にも同事業を開催する予定となっているので、講師選出については改めて先生方にご協力いただきたい。(長谷川委員)

③いわきアリオス「お出かけアリオス研究会第4期アーティスト募集」

委員長より、別紙に基づいて以下のとおり報告があった。

- ・いわき市にゆかりのある40歳までの音楽家等が対象。オーディションに係る交通費や宿泊費が自己負担になるため、卒業生やフリーランス向けに思われるが、もし紹介していただける学生がいたら長谷川委員まで連絡をいただきたい。

以 上（敬称略）

2021年度 第3回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年9月9日(木)10:30～11:00

2. 場 所

eキューブ 4F 会議室

3. 出席者 7名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 田中 良一 田渕 哲也 原 朋直 久行 敏彦 長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 望月 蓉子 馬場 栞

4. 欠席者 3名

大和田 雅洋 奥田 さやか 佐藤 大祐

5. 議 題

(1) 報告事項

下記の外部依頼による演奏者派遣について、別紙の通り報告された。

<実施報告>

- ① ジュニア音楽リーダー育成事業①
- ② 東京オリンピック・和太鼓部【鼓弾】演奏
- ③ グランツリー武蔵小杉 JAZZ コンサート

<実施予定>

- ① 「音楽のさんぽ道」 コンサート
- ② 川崎市立高津高等学校（定時制）音楽鑑賞会
- ③ ジュニア音楽リーダー育成事業②（10月31日(日)実施予定）
- ④ 公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団
「音楽のさんぽ道～0才からのコンサート～」
- ⑤ 久地小学校音楽鑑賞会
- ⑥ グランツリー武蔵小杉演奏会（9月20日(月・祝)→延期）

(2) 審議事項

- ① グランツリー武蔵小杉ハロウィン企画
別紙の通り説明が為され、審議の上、承認された。

(3) その他

石井委員長より、以下の発言があった。

- ・ 新型コロナウイルス禍においても、演奏の依頼が増えてきている。メンバー募集については、やる気がある学生が集まりやすい公募方式はとてもいいと思う。こども向けの催しを学ぶゼミの先生に声をかけてもいいかもしれない。どうやって演奏者を募っていくか、この委員会で検討していけたらと思う。

6. 会議開催予定

第4回：2021年11月18日(木)11:00～ @eキューブ 4階会議室

以上

2021年度 第4回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年 11月18日(木) 11:00～

2. 場 所

e キューブ 4F 大会議室

3. 委員総数 10名 出席者数 7名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 奥田 さやか 佐藤 大祐 田中 良一 原 朋直 長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 望月 蓉子

4. 欠席者 3名

大和田 雅洋 田渕 哲也 久行 敏彦

5. 議事経過及び結果

(1) 報告事項

下記の外部依頼による演奏者派遣について、別紙の通り報告された。

<実施報告> 【資料①】

① 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

「音楽のさんぽ道コンサート

② ジュニア音楽リーダー育成事業②

③ 高津区ハロウィンイベント

④ グランツリー武蔵小杉 ハロウィンコンサート

<実施予定> 【資料②】

・ 久地小学校音楽鑑賞会

・ 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

音楽のさんぽ道～0才からのコンサート～

・ グランツリー武蔵小杉 クリスマスコンサート (9月20日(月・祝)延期分)

<中 止> ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い公演中止

① 9/24(金)川崎市立高津高等学校(定時制)音楽鑑賞会

(以下、確認事項)

・ 外部依頼の演奏会では感染症対策は問題ないのか。(原委員)

→10月30日(土)のグランツリー武蔵小杉でのMSコース出演時は、フェイスシールドをしてパフォーマンスを行った。また、主催者側ではアルコール消毒液の設置や、客席の間隔

をあけるなどの対策を行っていた。(長谷川委員)

- ・9月24日(金)に開催予定であった、川崎市立高津高等学校(定時制)音楽鑑賞会が中止になり振替公演を検討したが、学生が演奏会シーズンということもあり、人数が集まらず断念。今後の外部依頼については、時期を見ながら学生に声掛けをしていきたい。また、学生が集まらない場合は、卒業生などに繋げるのも良いのではないか。(石井委員長)

(2) 審議事項

① かながわねりんピック【資料③】

別紙の通り説明が為され、審議の上、承認された。

(開会式で合唱の依頼あり。新型コロナウイルス感染症の状況をみて協力したい。)

(3) その他

今年度中に、被災地支援委員会で開催していた「被災地支援チャリティーコンサート」のような企画を配信などで開催できればと検討している。12月頃に学生に呼びかけをして有志を募り、学生主体となる演奏会を開催したい。(石井委員長)

→配信でやるのであれば、場所は前田ホールに限らず行えるのではないか。(佐藤委員)

6. 会議開催予定

第5回：2022年2月24日(木)10:00～ @eキューブ4階会議室

以 上 (敬称略)

2021年度 第5回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2022年 2 月 24 日(木) 10:00～

2. 場 所

e キューブ 4F 会議室 (オンライン併用)

3. 委員総数 10名 出席者 9名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 大和田 雅洋 佐藤 大祐 田中 良一 田渕 哲也 原 朋直
久行 敏彦 長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 望月 蓉子 馬場 栞

4. 欠席者 1名

奥田 さやか

5. 議事経過及び結果

(1) 報告事項

① 2021 年度社会連携・社会貢献活動実績

別紙資料に基づき報告がなされた。

② 高津区制 50 周年記念動画について

別紙資料に基づき説明がなされ、協力していくことが確認された。

③ 東京オリンピック「感謝状」および「大学連携報告書」について

別紙資料に基づき報告がなされた。

(2) その他

組織名を変えて活動した1年であったが、今後も様々な面で社会に貢献していければと思う。委員会メンバーの皆様には来年度も引き続きお力添えをいただきたい。前回の認証評価では被災地支援の活動について高く評価された。今後も、委員会の意義を大事にしながら活動していきたい。(石井委員長)

以上

No.	企画名	実施内容	実施日	会場	依頼元
1	ジュニア音楽リーダー育成事業	川崎市教育委員会主催「子どもの音楽活動推進事業」の一環である川崎市内の吹奏楽部に所属する中学生を対象とした楽器講習会。本学在學生、卒業生が講師として各楽器の指導を担当。	6月27日(日) 10月31日(日)	洗足学園音楽大学	川崎市教育委員会
2	グランツリー武蔵小杉SPECIAL企画 JAZZコンサート	グランツリー武蔵小杉で開催されたイベント「声優オーディション2021」内での演奏。ジャズコーラス学生によるジャズアレンジのアニメソングを演奏。	7月24日(土)	グランツリー武蔵小杉	株式会社アイワット
3	東京オリンピック競技前パフォーマンス	東京オリンピック競技会において、和太鼓グループ「鼓弾」による試合前のパフォーマンスを担当。	7月24日(土) ～7月27日(火)	幕張メッセ	日本オリンピック委員会
4	「音楽のさんば道」コンサート	クラシック音楽を生演奏で聴く機会を設け、若手演奏家への演奏の場を提供し、音楽を介した地域振興を目的としている。コースの垣根を越えた編成で、本学学生を演奏者として派遣。	9月11日(土)	多聞山 天現寺 普明堂ホール	(公財)港区スポーツ ふれあい文化健康財団
5	高津区ハロウィンイベント	みぞのくちハロウィン2021のイベントとして、打楽器コースPan Note Paradiseによるスティールパンの演奏を実施。	10月24日(日)	マルイファミリー溝口 屋上広場	みぞのくち新都市(株)
6	ハロウィンミュージカル	グランツリー武蔵小杉で開催されたハロウィンイベントと連動したスペシャルステージにミュージカルコースの学生を派遣。	10月30日(土)	グランツリー武蔵小杉	株式会社アイワット
7	川崎市立久地小学校 音楽鑑賞会	低学年を対象とした2日間に亘る音楽鑑賞会に打楽器アンサンブル、金管アンサンブルを学生および卒業生が演奏。	12月2日(木) 12月3日(金)	川崎市立久地小学校	川崎市立久地小学校
8	音楽のさんば道 ～0才からのコンサート～	音楽を介した地域振興を目的として企画された事業で、乳幼児から大人までが楽しめる内容。声楽コース、ピアノコースの学生が演奏。	12月19日(日)	港区立 芝浦港南区民センター	(公財)港区スポーツ ふれあい文化健康財団
9	グランツリー武蔵小杉 XmasリモートLIVE2021 with 三阪咲	セブン&アイ・ホールディングスの各商業施設をリモートで繋ぐオンライン合奏と親子向けのミニコンサートにてサクソフォーン専攻の学生が演奏。	12月25日(土)	グランツリー武蔵小杉	株式会社アイワット
10	高津警察署「110番の日」	1月10日「110番の日」の110番通報および特殊詐欺被害防止の広報において、ミュージカルコース学生による創作ミュージカルの映像を制作し啓蒙活動に協力。ノクティブラザ1電光掲示板にて表示。	2022年 1月10日(月)	ノクティブラザ1 電光掲示板	高津区役所警察署
11	NHK文化センター特別講座	NHK文化センターにて一般向けに開催しているN響コンサートマスター篠崎氏の講座を本学学生を対象に開催。	2月23日(水・祝)	洗足学園音楽大学	NHK文化センター

学校法人昭和大学と学校法人洗足学園との包括連携協定書

学校法人昭和大学と学校法人洗足学園は、次のとおり包括連携協定を締結する。

(目 的)

第1条 この協定は、学校法人昭和大学の設置する昭和大学と学校法人洗足学園が設置する洗足学園音楽大学、洗足こども短期大学（以下「両大学」という。）が相互に交流と協力を促進し、教育・研究・診療・芸術・保育の分野における充実に及び発展を図ることを目的とする。

(連携内容)

第2条 両大学は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について、連携・協力するものとする。

- (1) 医療教育、芸術教育、保育の支援、質向上に関すること
- (2) 学生の感性の涵養のための支援に関すること
- (3) 学術交流及び共同研究に関すること
- (4) 両大学の専門分野・領域を活かした支援の協力に関すること（各種演奏会・公演の開催・参加、医師の派遣等）
- (5) 職員、学生の交流に関すること
- (6) 社会及び地域への貢献に関すること
- (7) その他、必要と認める事項に関すること

(協議会)

第3条 前条に掲げる事項の円滑な推進を図るため、両大学からの構成員による連携運営協議会を設置し、定期的な協議を行うこととする。

2 協議会に関する詳細は別に定める。

(連携の実施)

第4条 本協定に関わる連携の実施にあたり、両大学に担当窓口を置くこととし、具体的実施内容の検討に際しては、必要に応じ分科会等を設置し、協議するものとする。

2 前項による協議の結果、具体的な取り決めが必要な場合は、覚書を締結するものとする。

(有効期間)

第5条 本協定の有効期間は、締結の日から1年間とする。ただし、本協定による有効期間満了の日の3ヶ月前までに、両大学いずれからも申し出のないときは、更に1年間延長するものとし、その後も同様とする。

(その他)

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定の条項について疑義が生じたときは、両大学でその都度協議し、解決を図るものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、両大学が各自1通を保有する。

平成29年2月28日

品川区旗の台1-5-8
学校法人昭和大学

理事長

小口



川崎市高津区久本2-3-1
学校法人洗足学園

理事長

前田



学校法人 昭和大学 との連携状況報告

医学と音楽の相互連携



昭和大学との連携について

2017年連携状況 全体の流れ

- 2/28 学校法人昭和大学と本学との**包括連携協定締結**…それぞれの特色を活かした連携により、教育・研究・診療・芸術・保育の分野における充実と発展を目指すため、包括連携協定を締結。
- 5/19 **事務レベル会議を本学で開催**…昭和大学より8名（赤堀明人事務局長 荻原範親総務部長 佐藤誠学事部長 増田滋総務課長 倉地夏樹学務課長 山口進学事課長 須郷広子学生課長 岩根裕之企画課長）が来学し、具体的な方向性、連携の可能性を検討。
- 5/25 事務レベル会議を踏まえて、**昭和大学から以下の提案**。
 - ① **医学と音楽の共同研究**…昭和大学運動科学研究所 http://www.showa-u.ac.jp/rsch_acad/sport/index.html
 - ② **病院コンサート**…横浜市北部病院、江東豊洲病院などで開催したい。地域貢献や、コンサートのPRにも繋がる。
- ※横浜市北部病院 : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>
- ※江東豊洲病院 : <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/index.html>
- ③ **講義**…昭和大学富士吉田キャンパスへの教員派遣
- ④ **学生同士の連携**…学園祭への参加など。

具体的なアクション

【具体的な活動状況】

- 6/8 教授会にて昭和大学との**共同研究を公募**…小嶋貴文学部長「ピアノの指の動きを研究する」・吉武雅子研究科長「演奏における視神経・聴覚神経・脳神経の連動性」・辻功教授「筋電図、三次元動作解析等による腱鞘炎、ジストニア等疾病メカニズムの解明と対策及びより良い奏法の研究」の3件の応募あり。
- 7/7 共同研究応募者3名との面談の為、**昭和大学スポーツ運動科学研究所6名来学**（三邊武幸所長 西中直也教授 磯良崇准教授 長島潤講師 他）
- 7/11 松本課長が**富士吉田キャンパスを訪問。教員派遣について相談**。
- 11/4 門倉ゼミ（演奏会実習）が**江東豊洲病院にてロビーコンサート開催**。
- 11/11・11/12 SENZOKU GAKUEN FESTIVAL に、昭和大学陶芸部・写真部・歯科医療研究会が参加。
- 11/24 来年3/31 昭和大学入職式での演奏依頼があり、その打ち合わせのため、昭和大学より6名（飯田人事部長 山川人事課長 他）来学。

★共同研究①

辻功教授(Ob.):「筋電図、三次元動作解析等による腱鞘炎、ジストニア等疾病メカニズムの解明と対策 及びより良い奏法の研究」

- 7/7 昭和大学スポーツ運動科学研究所の医師が来学。その後数回の面談を経て、保健医療学部理学療法学科 仲保徹講師が主な担当となる。



- 9/15 昭和大学にて、本学オーボエの学生2名に、①3次元動作解析②筋電図解析 の2つの実験を実施。

内容：体・腕・手にポインターを付けて、演奏の動き、演奏に成功・失敗した時の動き等を実験

先方：保健医療学部 理学療法学科 仲保徹講師

当方：辻 功 教授（オーボエ）

※現在は解析待ちの状況

- 2018年3月17日に予定されている、「日本管楽器芸術学会」設立大会にて、辻教授が同研究内容を発表の予定。

★共同研究②

吉武雅子研究科長(Pf.):「演奏における視神経・聴覚神経・脳神経の連動性②」

- 7/7 昭和大学スポーツ運動科学研究所の医師が来学。その後数回の面談を経て、保健医療学部作業療法学科 長島潤講師が主な担当となる。



- 昭和大学倫理委員会の審議を経て、予防と診断、治療などの解決方法を探求することを目的として（予備的）調査研究を行うことを決定。アンケート内容・時期等を確認中。

<音楽家の上肢と声の障害に関する実態調査>



昭和大学スポーツ医学研究所第5回学術研究発表会：12/9(土)に、吉武研究科長が出席予定



連携状況② 病院コンサート開催

院内コンサートの開催

- 11/4 江東豊洲病院で、演奏会実習 門倉ゼミが院内コンサートを開催
※次回 2018年2月 北部病院での院内コンサートを予定している。
江東豊洲病院 HP

http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/event/2017/20171108_000.html



江東豊洲病院 HP 抜粋：

今回は、洗足学園音楽大学 門倉ゼミ コーラス隊 Flavor の学生に「世界に一つだけの花」や「糸」他、J-POP をピアノ演奏にのせて歌っていただきました。コンサートが始まると、その素晴らしい歌声につられて、多くの方が集まりました。自然と拍手が沸き起こり、非常に盛り上がるコンサートとなりました。演奏後「感激した」「すごく楽しかった」など、見に来られた方々はとても満足された様子でした。

アンケート集計
結果より抜粋

Q.本日の院内コンサートはいかがでしたでしょうか？	回答数	割合
①大変良かった	38	86%
②良かった	5	11%
③ふつう	0	0%
④あまり良くなかった	1	2%
⑤良くなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	44	100%

連携状況③ 富士吉田キャンパスでの講義

富士吉田キャンパス 講義：(担当)学務部 松本課長

- 7/11 富士吉田校舎事務課・塩田係長を学務部松本課長が訪問
- 7/20 松本佑二非常勤講師 (PI.)に概要を説明し、内諾を得る。

2018 年度講義概要

講義名：音楽活動法研究

目的：音楽を計画的に目的を持って使用する活動により、音楽が人によいような効果を与えることができるのかを研究する。

内容：音楽療法は主に欧米先進国において、教育・福祉・医療の分野で広く行われているが、日本ではまだ新しい領域であり、誤って理解されていることも少なくない。本講義では、音楽療法とは何かということについて概論を説明し、音楽療法の歴史、音楽療法の効果を研究する方法についても述べると共に、いくつかの例も紹介する。さらに、実技として「療法的音楽活動」を行う。療法的音楽活動とは、音楽療法と音楽教育との中間的立場にある活動である。基本的な音楽知識と楽器奏法の解説をし、実際に様々な療法的音楽活動を行いながら、音楽活動法の研究をする。本講義を通して、人間と音楽の関係や音楽が健康を支える力について考察する。

- 11/13 講義担当者・講義名称・講義概要を先方へ提案。
11/14 昭和大学より、「富士吉田教育部長、教育委員長等に確認し、次月の教育委員会にて審議。結果は12月11日以降となる。」との回答あり。

連携状況④ 学生同士の連携

11/11・11/12 SENZOKU GAKUEN FESTIVAL2017

- 昭和大学 陶芸部(本学と合同)・写真部・歯科医療研究会が参加。



昭和大学 写真部代表学生(医学部 3 年)からのコメント

2 日間出展させていただきありがとうございました。

写真展の仕事しながら洗足学園の学園祭の雰囲気味わうことができました。歌を歌いながら呼び込みをする学生さんや楽器を見て笑顔ではしゃぐ子供たちを見て、まさにそこに居るだけで楽しくなる幸せな空間でした。

写真展には年代問わず多くの方が足を運んでくださいました。音楽と写真はアートの面でどこか共通する部分があるということを感じられた 2 日間でした。今回写真展に参加した部員は洗足学園の魅力話を話しておりました。ぜひ、来年もお声をかけていただければ幸いです。ありがとうございました。

連携状況⑤ その他

主催演奏会への昭和大学教職員・学生の招待

- J6/13(火) 大学院室内管弦楽団第 8 回定期演奏会
- J6/17(土) Do Jazz Sensoku !2017
- J7/1(土) 打楽器アンサンブル 夏の演奏会
- J7/9(日) レパートリオーケストラ演奏会
- J7/17(月) 管弦楽団第 73 回定期演奏会
- J7/21(金)~23(日) Summer Musical Showcase Vol.12
- J8/4(金) バレエコース前期公演
- JFYUON ! 2017

2018 年 3 月 31 日 学校法人昭和大学入職式での演奏依頼

- 11/24 マスターズコンサート vol.1.1 サクスケルツェットを観覧に飯田人事部長、荻原総務部長以下 5 名の昭和大学職員が来学。入職式演奏についての打ち合わせを行った。



2017 年 4 月 1 日

昭和大学入職式の様子



＜波及効果・副次的効果について＞

6

医師の紹介：前田学務部長からの報告

- 長井茅乃先生(Pf.)より、昭和大学が連携した関係で、指導のために医院を紹介できなかったかという相談があった。

【依頼内容】

1) ファイバースコープ等による声帯撮影：鼻からファイバースコープ等を入れて、歌っている際の声帯を撮影したい。昭和大学病院耳鼻咽喉科（旗の台）で受診可能か。

2) 顎関節症：歌の練習のし過ぎで顎関節症に悩む学生が多く、ほったらかしにしている。しかるべき医院を紹介する事は可能か。

【対応状況】 下記医院を紹介頂く

①ファイバースコープ等による声帯撮影

さいだ耳鼻咽喉科気管食道科クリニック 斉田晴仁先生
(昭和大学出身者) ※声楽家

<http://www.good-voice.co.jp/> <https://doctorsfile.jp/h/14454/>

②顎関節症

昭和大学歯科病院顎関節症治療科 船登 雅彦 先生

私立大学等経常費補助金対策

- 今年度、昭和大学と連携したSD活動を行ったことにより、既に私立大学等経常費補助金 総合改革支援タイプ3「他の国内大学等と共同でFD又はSDを実施したか」の要件を満たした。
- 共同研究成果を収録した紀要等の作成により、来年度の同補助金の別項目「特定の研究課題について、他の国内大学等との協定等に基づく共同研究を実施しているか」の要件を満たすことになる。

音楽関係リハビリ推薦図書

- 昭和大学スポーツ運動科学研究所長島潤講師から、音楽家に役立つ身体メンテナンス図書のご推薦を頂き、木曽図書館長がリストを元に購入の上、コーナーを設けて配架し、学生の閲覧に供している。



院内BGMの推薦

- 昭和大学横浜北部病院の病院幹部から院内で流すBGM選曲について、専門家のご意見を伺いたい、との依頼があった。「外来では患者さんがリラックスして診療を受けられるように。病棟では入院中の患者さんが落ち着いて療養できる環境となるようにBGMを流したい。」
- 依頼を受け、同病院で院内コンサートの為、見学予定となっていた門倉教授に相談し、教授より適した音楽をご推薦頂き、大変感謝を受けた。

最後に…

昭和大学は、チーム医療を学ぶため、1年次に学部別の別なく、全ての学生が富士吉田キャンパスで共同生活を行っている。例えば、共同研究に於いても、手厚い陣営で面談の上、速やか且的確な対応を行うなど、チーム医療体制の片鱗を見た。

一方で、昭和大学赤堀事務局長によると、「医療系の学生はどうしてもscienceの方が強くて、感性の涵養が図り難い。建学の理念が、『至誠一貫』真心を持つて患者に接する」であり、医療とはそうあるべきだが、どうしても科学の方に走って、感性の方が置き去りになりかねない。美術や音楽を通して感性を養えるようにできたら良い、そういう思いで多摩美や洗足と連携をしたいと考えている。もし、そういう教育を施して頂けるような連携が出来れば有難い。」との示唆を頂いており、この辺りに本学との連携の方向性が考えられる。

科目名	解剖学（前） [火4]				
代表教員	大塚 成人	担当教員	井上 由理子		
授業コード	GK775100	科目コード	GK7751		
授業形態	講義	履修開始学年	カリキュラムにより異なります。	期間	半期
対象コース	全	科目分類	一般総合／教養		
前提科目	特になし				
教員免許状					

1. 主題・到達目標

将来、ダンサーや指導者として活躍するために、踊るための体の骨格(骨、靱帯、関節)と筋の構造および機能を理解する。

2. 授業概要

全身の骨格(骨、靱帯、関節)と筋の構造および機能について、配布資料や骨格標本を参考にしながら理解へと導く（オンライン授業の場合は、配布資料のみで行う）。

3. 授業時間外の学習（予習復習について）

予習は配布資料をよく読んでおき、復習は授業中に話したことと配布資料で知識を定着させ、その知識を実技の授業中の動作に役立てる（オンライン授業の場合は、この限りではない）。

4. 成績評価の方法及び基準

対面授業の場合は、平常点30%と授業内で行う4回のテスト70%で最終評価を行う。オンライン授業の場合は、毎回、それぞれの講義範囲から課題を出し、期限付きで毎回、ポータルサイト上に提出してもらい、それらを集計して最終評価を行う（オンライン授業の場合は、授業計画に記載されている4回のテストは無くなる）。

5. 授業で使用するテキスト・参考文献

必要に応じて配布する資料で授業を行う。オンライン授業の場合は、前もって、配布資料をポータルサイトに掲示する。

6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

毎回の授業で得た知識を単なる知識としてだけでなく、自ら考え知恵として実技の授業で試しながら公演パフォーマンスに応用してもらいたい。

授業計画

[半期]

1	骨格（骨、靱帯、関節）と筋の構造および作用	1	
2	第1回テスト（骨格（骨、靱帯、関節）と筋の構造および作用）	2	
3	体幹の骨格（脊柱、胸郭）の構造	3	
4	背部、胸部の筋の構造および機能	4	
5	横隔膜、腹部の筋の構造および機能	5	
6	第2回テスト（体幹の骨格（脊柱、胸郭）の構造と背部、胸部、横隔膜、腹部の筋の構造および機能）	6	
7	上肢の骨格（上肢帯、自由上肢）の構造	7	
8	上肢帯、上腕の筋の構造および機能	8	
9	前腕、手の筋の構造および機能	9	
10	第3回テスト（上肢の骨格（上肢帯、自由上肢）の構造と上肢帯、上腕、前腕、手の筋の構造および機能）	10	
11	下肢の骨格（下肢帯、自由下肢）の構造	11	
12	下肢帯、大腿の筋の構造および機能	12	
13	下腿、足の筋の構造および機能	13	
14	頭蓋骨の構造と頭部、頸部の筋の構造および機能	14	
15	第4回テスト（頭蓋骨、下肢の骨格（下肢帯、自由下肢）の構造と頭部、頸部、下肢帯、大腿、下腿、足の筋の構造および機能）	15	



昭和大学研究者情報・業績集

Showa University Researchers Information & Research Achievements

[トップ](#) > 研究者情報

利用者サービス

- 業績検索&ダウンロード
- 業績所属別一覧
- 業績施設別一覧
- 研究者検索&ダウンロード

入力規則・ヘルプ

[!!はじめての方へ!!](#)

◆研究者情報

- [研究者情報入力方法](#)
 - [所属一覧](#)
- [研究者検索方法](#)
- [研究者ダウンロード方法](#)

◆業績

- [業績入力方法](#)
 - [業績項目 解説](#)
- [外部データ取り込み方法](#)
 - [TSVデータ作成方法](#)
- [業績検索方法](#)
- [業績ダウンロード方法](#)

- [Q&A](#)

昭和大学研究者情報・業績集

- [研究者情報登録・業績公開申請の流れ](#)

・説明会

- [昭和大学研究者情報・業績集](#)
- [説明会動画](#) 

リンク

- [昭和大学](#)
- [昭和大学図書館](#)

研究者情報

氏名

大塚 成人

氏名 (英)

OTSUKA Naruhito

学部

医学部

講座

解剖学

部門

肉眼解剖学

施設

旗の台校舎

職名・身分

教授

学位

博士 (医学)

研究キーワード

神経病理学、神経解剖学

研究分野

研究内容

担当科目

形態学概論、人体骨格実習、運動器系の解剖、神経系の解剖、循環器系・呼吸器・泌尿器の解剖、病院体験実習、肉眼解剖学実習、症候学演習

所属学協会

学術（研究・教育）業績

1 ▼ of 2 ▶ 表示件数 30 ▼ 件

No. ▼	刊行年月 ▼	業績項目 ▼	著者	巻 ▼	号 ▼	開始ページ ▼
- 学生確保(資料)-96-						

科目名	動作学（後）【火4】				
代表教員	仲保 徹	担当教員			
授業コード	GK775200	科目コード	GK7752		
授業形態	講義	履修開始学年	カリキュラムにより異なります。	期間	半期
対象コース	全	科目分類	一般総合／教養		
前提科目	特になし				
教員免許状					

1. 主題・到達目標

解剖学で得た知識をもとに、自身の姿勢や関節運動、動作に対する興味・関心を深め、講義を通して姿勢の保持や制御、動作のメカニズムを理解する。
 姿勢を力学的（身体重心と支持基底面の関係）に理解する。
 基本的な動作から身体の関節運動と筋活動のメカニズムを理解する。

2. 授業概要

新型コロナウイルス感染予防対策のため、遠隔授業を実施する。遠隔授業実施方法の詳細は第1回授業で説明する。

動作は、連続的な姿勢変化と考える。その動作を理解するために、姿勢に対する理解を深める。形態計測を行い、自身の四肢の長さ、太さを把握し、姿勢との関係を学習する。身体重心と支持基底面（足底面）の関係からバランス反応、姿勢制御を体験しながら学習する。基本的動作と関節運動、筋活動について、実際に動作を行いながら理解する。

3. 授業時間外の学習（予習復習について）

人の構造について、骨格、筋を中心に関連図書に眼を通してください。また、力学の知識が必要となるので、物理学（基礎物理）の関連図書（高校の教科書レベル）に眼を通してください。講義で分からなかったところは、講義後に配布するミニッツペーパーに記載をしてください。

4. 成績評価の方法及び基準

受講態度および講義課題：40%（講義ごとに課す課題内容）
 レポート：60%（姿勢と姿勢制御に関するものや動作に関するもの）
 レポートでは自身の姿勢や動作に関する考察を行います。自分自身の構造的特徴、動作的特徴を理解し、より良い姿勢、動作の獲得のために必要な課題を検討します。

5. 授業で使用するテキスト・参考文献

授業内で配布します。

6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

毎時間、講義内容の理解度の確認をするため、講義終了後に講義内容に関連する課題を提示します。
 極力分かりやすく説明しますが、解剖学、物理学の予習をすると、理解が深まります。

授業計画

[半期]	
	- 学生確保(資料)-97-

1	動作とは	1	
2	運動学習	2	
3	関節の構造と関節運動	3	
4	筋の構造と筋活動	4	
5	上肢の運動	5	
6	下肢の運動	6	
7	体幹の運動	7	
8	呼吸運動	8	
9	姿勢と身体重心	9	
10	姿勢制御とバランス反応	10	
11	動き始めのメカニズム（リーチ動作、ジャンプ動作）	11	
12	歩く①	12	
13	歩く②	13	
14	筋骨格系の外傷	14	
15	自分の動作を考える	15	



昭和大学研究者情報・業績集

Showa University Researchers Information & Research Achievements

トップ > 研究者情報

利用者サービス

- 業績検索&ダウンロード
- 業績所属別一覧
- 業績施設別一覧
- 研究者検索&ダウンロード

入力規則・ヘルプ

[!!はじめての方へ!!](#)

◆研究者情報

- [研究者情報入力方法](#)
 - [所属一覧](#)
- [研究者検索方法](#)
- [研究者ダウンロード方法](#)

◆業績

- [業績入力方法](#)
 - [業績項目 解説](#)
- [外部データ取り込み方法](#)
 - [TSVデータ作成方法](#)
- [業績検索方法](#)
- [業績ダウンロード方法](#)

- [Q&A](#)

昭和大学研究者情報・業績集

- [研究者情報登録・業績公開申請の流れ](#)

・説明会

- [昭和大学研究者情報・業績集](#)
- [説明会動画](#) 

リンク

[昭和大学](#)

[昭和大学図書館](#)

研究者情報

氏名

仲保 徹

氏名（英）

NAKABO Tohru

学部

保健医療学部

講座

理学療法学

部門

施設

長津田校舎

職名・身分

講師

学位

博士

研究キーワード

研究分野

研究内容

担当科目

所属学協会

学術（研究・教育）業績

No. ▾	刊行年月 ▼	業績項目 ▾	著者	巻 ▾	号 ▾	開始ページ ▼
1042178	2021-06	会議発表(論文・口頭)	仲保 徹 中村 大介 田代 尚範 上條 史子			

- 学生確保(資料)-99-

科目名	療法的な音楽活動 (Therapeutic music activity)
責任者名	小倉 浩(富士吉田教育部 富士吉田教育部 教授)
学期	前期
対象学年	1学年
学部学科	医学部医学科 歯学部歯学科 薬学部薬学科 保健医療学部看護学科 保健医療学部理学療法学科 保健医療学部作業療法学科
授業形式等	講義 選択 1単位

◆担当教員

松本 祐二(富士吉田教育部 兼任講師)
丸山 典子(富士吉田教育部 兼任講師)

◆学修成果

音楽を意図的・計画的に使用する療法的な音楽活動の技法を学ぶことにより、音楽が人に与える具体的な有用性を理解する。

◆学修到達目標

1.	音楽療法の定義を理解する。
2.	音楽療法の歴史を理解する。
3.	音楽と心的回復の関係を理解する。
4.	障がいを持つ人への音楽提示に関する注意点を理解する。
5.	音楽の使い方に関して目的を持って計画を立てることの意義を理解する。
6.	療法的音楽活動について理解する。
7.	音楽療法で使用される楽器の基本的操作法の要点を理解する。
8.	楽器を使った、自己表現の要点を理解する。
9.	楽器を使った、アンサンブルの要点を理解する。
10.	音楽が人に与える具体的な有用性について理解する。
11.	療法的音楽活動に有用な代表的楽器を列举できる。

12.	音楽療法に使用される理論を理解する。
13.	療法的音楽活動を学ぶために必要な、障がいについての基本事項を理解する。

◆アクティブ・ラーニング

1.	第7回及び第9回の授業に於いて、療法的音楽活動に則した、簡易演奏実技の課題を課す。課題症例に対し、音楽療法の技術的理論を用い、提示された音源（課題曲）に各自で音（演奏）を付加する形式（録音又は録画）で、楽曲を完成させる。
----	--

◆評価方法

出席率は、評価には含めない。

課題評価を100%とする。

合格点に達しなかった者に対しては再試験を行う。再試験の内容（試験形式又はレポート形式）は当事者に連絡をする。

【課題】

各回の授業に対して課題を出す。各回10%とする。

課題の評価項目は以下の通りである。

- 1)授業内容の重点項目を理解している。
- 2)内容に不足がない。（明示された全ての課題に回答をしている。）
- 3)文章表現に著しい問題点（誤字・脱字など）がない。
- 4)提出は授業翌日17時までとする。（課題により提出期限が変更になる場合もある。）
- 5)提出が遅れた場合、その課題に対し5%のマイナス評価をする。但し、受付は次回授業開始日の前日までとし、それ以降は受け付けない。（マイナス評価及び課題受理期日は、正当な理由がある場合を除くので必ず申し出ること。）
- 6)他者のものを盗用、盗作などした場合、その課題は無効とする。

【簡易演奏実技課題】

第7回及び第9回の課題で、簡易演奏実技課題を課す。授業内容で示す理論や方法を踏まえて、熟考し準備されているかどうかを評価対象とする。

尚、楽器演奏技術の優劣を評価対象とするものではない。

（2）フィードバック

評価方法：課題評価。

合格点；60点以上

最終評価点：各課題の合計とする。但し、第7回又は第9回の課題を提出しなかった場合、最終評価点から30%のマイナスとする。

フィードバック：疑義は書面で事務課を通じて申し込むこと。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	備考
------	-----------	----

教員・指導陣紹介 Faculty Member

大学案内
コース
指導陣紹介
入試案内
キャリアセンター
コンサート情報
資料請求

> OPEN CAMPUS 2021

受験生サイト

洗足音大のトビラ

検索	アクセス	Language
----	------	----------

HOME

指導陣検索 Faculty Member Search

管楽器

Wind Instruments Course

打楽器

Percussion Instruments Course

弦楽器

String Instruments Course

ピアノ

Piano Course

オルガン・チェンバロ

Organ/Harpsichord

声楽

Vocal Music Course

音楽教育

Music Education Course

現代邦楽

Japanese Traditional Music Course

ワールドミュージック

World Music Course

作曲

Composition Course

音楽・音響デザイン

Music Design Course

音楽環境創造

Musical Creativity and the Environment Course

ジャズ

Jazz Course

ロック&ポップス

Rock & Pops Course

電子オルガン

Electronic Organ Course

ミュージカル

Musical Theater Course

バレエ

Classical Ballet Course

ダンス

Dance Course

声優アニメソング

Voice Actor/Animation Song Course

指揮

Conducting

音楽学

Musicology

一般科目

General Subjects

松本 祐二

Yuji Matsumoto

打楽器



現在の活動

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団打楽器奏者。シリウス音楽院ドラム科講師。日本音響学会会員。

略歴

1988年4月洗足学園短期大学入学。在学中よりドラムセットを中心として演奏活動を開始。90年3月同短大を卒業後、岡田知之打楽器合奏団に所属。91年から93年にかけて、ドイツ、ブルガリア、シンガポール等世界各地での打楽器アンサンブルツアーに参加。94年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に打楽器奏者として入団。

指導方針

日頃の演奏活動より得た最新の情報を提供する。作曲家と演奏者及び聴衆の心理面等からに、この研究方法や、科学的、物理的分析による打楽器の研究方法を習得してもらうことを教育指導方針とする。

昭大発 1241 号

令和3年3月30日

洗足学園音楽大学

学長 万代 晋也 殿

昭和大学リカレントカレッジ

プリンシパル 小川 良雄

昭和大学リカレントカレッジ入学式における講師派遣について

拝啓 早春の候、貴学におかれましてはこのコロナ禍にあっても益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、この度社会人の学び直しを目的としたリカレント教育を本学でも取り組むことになり、令和3年4月に昭和大学リカレントカレッジを開校する運びとなりました。

つきましては、下記に執り行われる入学式に先立ち、貴学教授 荒 庸子 先生にご登壇いただきたく派遣について、ご高配を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|-------|---|
| 1. 日時 | 令和3年4月3日（土） 14:55～ |
| 2. 場所 | 昭和大学上條記念館 上條記念ホール |
| 3. 内容 | 令和3年度春期 昭和大学リカレントカレッジ入学式
開式前の演奏（約5分） |

以上

◆本件お問い合わせ◆

昭和大学リカレントカレッジ事務室

担 当 小林 彩香

〒142-8555

東京都品川区旗の台1-5-8

電 話 03-3784-8143

E-Mail recurrent@ofc.showa-u.ac.jp

昭大発 538 号
令和3年8月30日

洗足学園音楽大学
学長 万代 晋也 殿

昭和大学リカレントカレッジ
プリンシパル 小川 良雄

昭和大学リカレントカレッジ入学式における講師派遣について

拝啓 早春の候、貴学におかれましてはこのコロナ禍にあっても益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、令和3年度昭和大学リカレントカレッジ秋期入学式を挙行する運びとなりました。

つきましては、下記に執り行われる入学式に先立ち、貴学教授 荒 庸子 先生にご登壇いただきたく派遣について、ご高配を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|-------|--|
| 1. 日時 | 令和3年9月25日（土） 16:20～ |
| 2. 場所 | 昭和大学上條記念館 上條記念ホール |
| 3. 内容 | 令和3年度昭和大学リカレントカレッジ秋期入学式
開式前の演奏（約5分） |

以上

◆本件お問い合わせ◆

昭和大学リカレントカレッジ事務室

担 当 小林 彩香

〒142-8555

東京都品川区旗の台1-5-8

電 話 03-3784-8143

E-Mail recurrent@ofc.showa-u.ac.jp

首都圏ニュース 神奈川

二セ電話詐欺 ミュージカルで被害防止 洗足学園音楽大生が高津署で一日警察官

2022年1月8日 07時16分



東京新聞

購読・ためしよみ

電子版

Wプラン【新聞+電子版】

購読 電子版

ログイン



高津署の鈴木署長（左）から一日警察官を委嘱された松崎さん（中）と、創作ミュージカルの曲をつくった篠原教授＝高津署で

一月十日の「一〇番の日」を前に、川崎市高津区の洗足学園音楽大ミュージカルコース三年の松崎奈々葉（ななは）さん（21）が七日、高津署から一日警察官を委嘱された。松崎さんらが出演して二セ電話詐欺に注意を呼び掛けるミュージカル動画が十日、JR武蔵溝ノ口駅前の大型スクリーンで上映される。

「ミュージカルで訴えれば地域住民に響き、被害防止につながる」と高津署が二〇一七年、同大にミュージカル公演を依頼。一九年から毎年、同駅前の通路などで、学生らが創作ミュージカルを公演してきた。

新型コロナウイルスの影響で昨年はミュージカルの動画をYouTubeで配信。今回は同駅前の大型スクリーンで十日午前十時～午後十時まで、三十秒の創作動画を十五分間隔で放映する。

同コースの篠原真教授が作曲した音楽に合わせて、選抜された学生十一人が出演。松崎さんは女性警察官役で制服姿で歌って踊り、特殊詐欺の被害防止などを訴えている。

企画特集

- 東京自遊大学すこやかライフ学科
おやすみ前にストレッチでリラックス
実践した方に修了証書贈呈！


- 東京から飛行機で90分！
萩・石見空港からはじまる旅
島根・山口のおすすめスポット



👑 ニュースランキング もっと見る →

3日間 1週間 1カ月

- 1

ウクライナ最大のザボロジエ原発をロシア軍が攻撃、火災発生
周辺の放射線量に変化なし

国際
- 2

＜新型コロナ＞「第6波収束前に第7波に入る可能性」感染高止まりで見えぬ出口…

政治
- 3

＜新型コロナ・4日＞東京都で新たに1万517人の感染確認、27人死亡

東京

七日はかわさきFMに生出演して一〇番の適切なかけ方や二セ電話による特殊詐欺の被害防止などの広報活動をした松崎さん。舞台女優を目指しているといい「動画を見て、一人でも多くの方が気を付けようと思ってくれたらうれしい。ミュージカルを通して地域貢献する貴重な経験をさせていただきました」と喜んでいた。（安田栄治）

関連キーワード

神奈川



関連記事ピックアップ

スーパークレイジー君が涙「ただ働きで良いから...」 戸田市議当選… (2022年3月4日)

40歳で医学部に入学、3児を育てながら医師に 何歳になっても、何度で… (2022年2月7日)

ブーチン氏は正気？狂気を装っているのか 米情報機関がロシア大統領… (2022年3月3日)

発達障害の親子2000人を支えてきた指導員が語る、「しつけ」ではな… AD (ハフポスト) Recommended by

<新型コロナ・1日> 東京都で新たに11813人感染、32人死亡 (2022年3月1日)

三浦瑠璃から申し込んで「カップル」に 9歳、30センチ差の「りくり… (2022年2月7日)

誰もがおしゃれを楽しめる社会へ 業界を超えた知見が集まり、乾癬患者… AD (ハフポスト)

「日本で働いていても、いつも世界と繋がっている」世界200の拠点と… AD (ハフポスト)

4

<新型コロナ・5日> 東京都で新たに1万806人の感染を確認、30人死亡
東京

5

<新型コロナ・6日> 東京都で新たに9289人の感染を確認、12人死亡
東京



イベント・出版情報

ミロ展—日本を夢みて
国内20年ぶりの大規模展2月11日～4月17日
日Bunkamuraザ・ミュージアムで開催

東京マラソン2021
2022年3月6日（日） 東京都庁～東京駅前・行幸通り

第79回全国舞踊コンクール
国内最大規模の舞踊コンクール。3月24日～4月5日、めぐろパーシモンホール

ニュース深掘り講座～オンライン～
論説委員、記者がニュースを徹底解説。1/20、2/17、3/18、全3回

建部凌彦展
江戸中期を生きた奇才、初の本格的な展覧会。3月12日から板橋区立美術館で開催

<東京新聞の本>
かんたん BEST 30 ツボ
目白鍼灸院院長・柳本真弓 著

<東京新聞の本>
半藤一利 語りつくした戦争と平和
阪正康 監修

おすすめ情報

広告

★風の散歩道レモンケーキ&紅茶 ローズアンドエム【47CLUB】

広告

下町のカフェから話題のスポットまで 都心がたのしい！ 東京都電さん

神奈川の新作

記事一覧 →

<かながわ未来人> 靴と思い出 修復する 最年少の「横浜マイスター」 「ハドソン靴店」2代目店主・村上壘（むらかみ・るい）さん（39）

横浜の古参に挙げられる靴修理店「ハドソン靴店」（横浜市神奈川区）の二代目店主。他店で断られた…
3月7日

イチ押しナマズ 投票してね カワスイで「総選挙」 国内外55種の争い

J R川崎駅前にある「カワスイ 川崎水族館」（川崎区）が、水族館に展示されている全五十五種類のナマズの…
3月7日

街のパン屋守りたい 食品ロスや後継ぎ問

横浜土産に181点 市長賞のホテルニューグランド「レトルトシリーズ」 など 食品や雑貨認定

横浜の魅力を伝える土産の地域ブランド「ヨコハマ・グッズ横濱001（ゼロゼロワン）」の第十九期…
3月7日

<新型コロナ> 神奈川県で新たに5393人感染 2人死亡

神奈川県内で6日、新型コロナウイルスに感染した90代男女2人の死亡と、新たに5393人の感…
3月6日

ウクライナへ思い寄せ 小田原城天守閣、国-学生確保(資料)-106-

題…横浜の企業が挑戦	高島屋の「ベーカリースクエア」	旗色に照らす
ウクライナへのロシアの軍事侵攻に抗議し、小田原城天守閣は四日夜、ウクライナ国旗の青＝写真（上…		
3月6日		



<東京新聞の本>
#寂聴さん 秘書がつぶやく2人のヒミツ
瀬戸内寂聴秘書・瀬尾まなほ 著

振りきった、生ききった 「一発長打の大島くん」の負くっか人生
大島康徳 著

月に3冊、読んでみる？
酒井順子 著

PRイチオシ情報



都電サポーターズ紹介ページ開設
サポーターズの取り組みをはじめとして様々な角度から、魅力を発信します！



広告賞読者審査員募集
読者が選ぶ東京新聞広告賞
応募締め切り3月25日



いまこそ振り返りたい昭和の記憶
昭和30～40年代の懐かしくほっこりできる写真館



360度カメラで老後の住まい見学
まずは気軽にWEB見学から。
施設内を自由に見て暮らしをイメージ



シャンシャンが家にくる日
動物園にいけなくても
紙面をつなぎ合わせると…



大学、どう決める？
のびのびと、じっくりと。新たな大学との出会いはこちらから



こどもブックワールド
新しい絵本との出会いはここから。絵本のプレゼントもあります



東京メッセージボード T-Voice!
T-Voice!がリニューアル！
あなたの想いが新聞紙面に。



豆！豆！料理コンテスト
自慢のアイデア豆料理がたくさん！
レシピ集を公開中！



東京新聞 映画試写会
気になるあの映画を一足早く。ご応募はこちらから



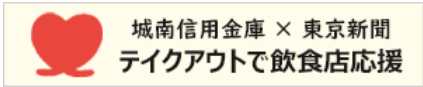
かわさき・東京新聞TODAY
川崎で発行しているフリーペーパー
地域と暮らしの情報をお届けします！

【公式】三井の賃貸
レジデンス

[PR] 三井不動産レジデンシャル

都心賃貸マンションならパークアクシス
で。駅近・新築など、おす
エック

詳しくはこちら



- ▶ 大図解
- ▶ 旅行
- ▶ 記事データベース
- ▶ スマートフォン向け情報サービス
- ▶ 東京新聞フォーラム
- ▶ トーチュウF1EXPRESS（有料サイト）

東京新聞から	リンク	サイトのご利用について
会社案内	いっしょに読もう！新聞コンクール・NIE月間	サイトポリシー
採用情報	デモクラTV 熟読！東京新聞	サイトマップ
関連企業	新聞科学研究所	当サイトへのリンクについて
新聞購読申込	47ニュース	
ウェブ広告掲載	中日ドラゴンズ公式ファンクラブ	
新聞広告掲載		
新聞折込		
東京新聞社会事業団		
東京新聞奨学会		
中日産業技術賞		

- 個人情報
- 著作権
- ご質問・お問い合わせ

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.

2019年度 洗足学園音楽大学 教授会議事録（抄録）

1. 日 時 2019年4月4日（木）9：00～10：00

2. 場 所 本部大会議室

3. 出席者 63名

万代 晋也	前田 建一郎	小嶋 貴文	吉武 雅子
柳澤 涼子	渡辺 俊幸	前田 康德	伊藤 圭一
山下 康介	山田 武彦	久行 敏彦	三瓶 弥生
門倉 美香	清水 将仁	渡部 亨	菅原 潤
佐藤 大祐	松本 健司	池上 政人	岩本 伸一
佛坂 咲千生	小田桐 寛之	水野 佐知香	荒 庸子
石井 喜久子	神谷 百子	赤塚 博美	原 朋直
松尾 祐孝	前野 知常	坂井 紀雄	明石 昌夫
斉藤 光浩	塩田 美奈子	篠原 真	三橋 千鶴
山石ホール	安達 悦子	江原 陽子	森田 順平
堀江 美都子	前田 清実	大江 千佳子	佐藤 昌弘
金井 公美子	吉田 真理子	伊藤 民子	伊藤 康英
清水 昭夫	森 威功	鳥羽瀬 宗一郎	梶木 良子
岩花 秀文	大和田 雅洋	深石 宗太郎	小林 すぎ野
高橋利光	和田 哲監	マタ ストライカー	田野 邦彦
井口 美穂	田渕 哲也	針谷 繁久	

4. 欠席者 5名

辻 功	蟻正 行義	江崎 昌子	次田 心平
奥田 さやか			

5. 議 題

『新年度を迎えて』

万代晋也学長

（1）報告事項

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ① 被災地支援委員会報告 | 石井喜久子被災地支援委員長 |
| ② 受験ステーション“クロスアーツ”2019年度入試実績 | 三瓶弥生クロスアーツ校長 |
| ③ 2019年度海外教員招聘制度について | 前田雄二郎学務部長 |
| ④ 休学・復学・退学について | 小嶋貴文学部長 |

（2）その他

- ① 教職員親睦会のお知らせ
- ② 定例報告について
- ③ 教授会用 iPad の更新について

針谷繁久事務局長
針谷繁久事務局長
針谷繁久事務局長

6. 議 長 万代晋也学長

7. 議事経過及び結果

議事に先立ち、小嶋学部長より新任・昇格教員についての紹介と、万代晋也学長より、「新年度を迎えて」と題し、ご発言があった。

「新任教員について」

新たに教授会メンバーとして、山下康介教授、前田清実教授を専任教員としてお迎えする。また、梶木良子准教授が昇格されたことをご報告する。

以下論旨

「新年度を迎えて」

①募集結果について

－省略－

②国際交流・グローバル化・留学生獲得について

世の中のグローバル化は大きな潮流となっており、これからますます進んでいくことが予想される。グローバル化=Globe(地球)とは、国や地域など、縦割りの境目・国境を越え、例えば、環境の問題、貧困の問題、戦争や平和の問題、あらゆるものを地球規模で、人類の視点で物事を考えていくことだと思う。1960年代からこういう考え方が出て来たが、その考え方が今や世界的な規模になってきている。

ところが、ここ 1、2 年逆に国境や境目を意識させられた大きなことが幾つかある。日本の周りで言うと、例えば「尖閣諸島」の問題で中国と微妙な関係になっている。日韓の関係も同様に「竹島」問題で国境を意識させられている。欧米に目を転じると、米国トランプ大統領の「自国第一主義」で、メキシコとの国境に壁を作るなどの政策があり、経済で言えば、自由貿易で関税を廃止して、保護主義ではなく自由主義にすること、これもグローバル化の流れだと思われるが、これにもトランプ大統領は疑問を投じている。英国の EU 離脱についても、アイルランドとの国境問題が絡んでいる。

このように政治や経済の世界では一部そういうところはあるかもしれないが、大きな流れの中にたまたま岩があつてぶつかっているだけで、流れそのものは変わらないと思っている。例えば日韓問題では、政治的には依然としてぎくしゃくしているところがあると思うが、文化や旅行の面で考えたら、民間の交流は充実・拡大し、もっと活発になっている。世界的に見ても日本は、短期だけではなく外国からの旅行者が増え、日本文化に対する理解も広がり、グローバル化もますます拡大することが予想される。

金融の世界でも FinTech（フィンテック）など、金融サービスと情報技術を結びつけたさまざまな革新的な動きが急速に進んでいる。IT そのものが国境を越えて人類の為に使われている。米国の会社であっても、どこに本社を置いても変わらない。例えばシンガポールや香港に本社を置いても問題ない。本社の所在は関係なく、世界規模で活動を起こしている。こういうところでもグローバル化の流れは進んでいる。

本学に於いても、理事長はいつも「国際化というのは、数学の『公理 (axiom)』のようなものだ。」と仰っている。例えば、2 点を結ぶ直線は一本しかない。これは数学の基礎となっているが、これを前提に進む。「好む好まざるに関わらず」などということもあるが、国際化をしていく、ということである。洗足の現在を考えると、短大、中高、小学校を含め、学園全体で見ても、外に目が向いてきている。大学でも、各コースで短期留学（研修旅行）を活発に行い、海外招聘教員の数も増えている。

然しながら、留学生の獲得に目を転じると、国の政策では、留学生 30 万人計画というのが 20 年前くらいにあったが、洗足は自然体であり、特に積極的には取り組んでこなかった。ところが、ここ数年で留学生が急増したため、意識して考えるようになった。

事務局が行った調査によると、世間の大学は幾つかのパターンに分かれる。①意識して意図的に留学生を増やしている大学。②逆に、意識して留学生を受け入れない大学もある。また、③本学のように自然体で受け入れている大学もあり、留学生が入学を希望したら受け入れるが、特に積極的に留学生を獲得するための募集活動を行っているわけではない。①意図的に留学生を増やしている大学にも更に 2 種類あり、真逆の政策を採っている。パターン A は、国際化・グローバル化を意識し、日本人の学生も含めて国際化を進めるという戦略的な政策の下に、留学生を獲得していく大学。パターン B は、日本人学生が集まらないから、端的に言うと、定員未充足だから日本人の代わりに留学生を受け入れて経営していこう、という大学。他にもあるのかもしれないが、私の解釈では大きく分けてこのような種類がある。

本学は自然体できたが、今後どうするのか、理事長が方針を決定した。私も、理事長のお考えに 100% 同感するが、積極的に留学生を受け入れていく。今年度の入学者数 580 名は開学以来の数字であり、定員増してまでも学生を受け入れている状態なので、パターン B 「定員未充足で日本人の代わりに留学生を受け入れる」のではなく、①でパターン A 「日本人の学生も含めて国際化を進めるという戦略的な政策の下に、留学生を獲得していく」という方針である。他音大で留学生 0 という大学もあり、それはそういう運営方針であると思われるが、本学は、10 年先・20 年先を見据えて、国際化の道を選択した。18 年後には、18 歳人口は現在の 110 万人から、80 万人に減ってしまう。ピークの際は 205 万人、ベビーブーム／団塊の世代と言われた頃には 250 万人いた受験生が 80 万人に減ってしまう。明確な数字が見えている中で、減ってしまってから対策を考えるのか。理事長はよく、「晴れた時に雨に備えて屋根を直す」と仰っている。世の中でも、井戸が枯れる前に新しい井戸を掘る、と言う。大きなグローバル化の潮流の中で、一人々々が国際化を求められる時代になってきている。本学を選んでくれる若者の為にもグローバル化は避けられないし、寧ろ積極的に留学生を受け入れていく。

追い風も吹いていると思う。日本文化、クールジャパンの世界的な認知度の広がり。何でこんなに外国人留学生が増えたのかと言うと、本学にはアニメソングコースがあり、音楽・音響デザインコースのゲーム音楽も含めて、やはり日本のそういう文化・音楽に憧れて日本で勉強したいという学生が増えているからだと考える。アニメは日本が本家本元であり、そこで学びたい学生が沢山いるのだと推察する。

クラシックは欧米が本家かもしれないが、留学は勉強するだけではなく、その留学先でいろいろな文化に触れるという事も加味される。日本の音楽だけではない、いろいろな文化を安全な環境で学べる、という、非常に魅力的な留学先なのだと思う。日本人に魅力を感じてもらえない、選んでもらえないような大学が、留学生に選んでもらえる筈がない。我々は今まで行ってきた教育研究環境に自信を持って、更にそれを磨くためにも、留学生を受け入れていく、そういった道を歩んで行く、新しい年になると思う。足元をしっかりと固め、まだまだ改善が必要なことも沢山あるが、課題をひとつひとつ改善しつつ、茨の道かもしれないが新しい道に踏み出していく。

本年もご協力をお願い申し上げます。

(1) 報告事項

① 被災地支援委員会報告（石井喜久子被災地支援委員長）

－省略－

② 受験ステーション“クロスアーツ”2019年度入試実績（三瓶弥生クロスアーツ校長）

－省略－

③ 2019年度海外教員招聘制度について（前田雄二郎学務部長）

別紙に基づき、今年度も海外招聘制度を継続することが報告された。来日している優秀な指導者を大学に招聘希望する教員は、Google フォームにて申請することが要請された。

なお、注意点として、以下の3点が補足された。

- ・実施日は2020年3月第1週目まで
- ・実施場所は、ご希望を伺った上で事務局にて予約。
- ・実施後、HP掲載の為、速やかに実施報告書(自由書式・写真付き)提出のこと。

④ 休学、復学、退学について（小嶋貴文学部長）

－省略－

(2) その他

① 教職員親睦会のお知らせ（針谷繁久事務局長）

－省略－

② 定例報告について（針谷繁久事務局長）

－省略－

③ 教授会用 iPad の更新について（針谷繁久事務局長）

－省略－

* 次回会議予定

2019年5月9日（木） 9：00～ 教授会

於：本部大会議室

以上